

令和 7 年度

庄和消防署大規模改修工事

設計図

図 面 番 号	内 容	《 意 匠 》	図 面 番 号	内 容	《 意 匠 》	図 面 番 号	内 容	《 意 匠 》	図 面 番 号	内 容	《 電 気 》	図 面 番 号	内 容	《 機 械 》
A — 00	表紙、図面表		A — 53	男性仮眠室平面詳細図、展開図（3）	（改修前・後）	A — 106	建具表（11）	（改修前・後）	E — 09	動力分電盤（改修前・後）		M — 01	機械設備	特記仕様書（1）
A — 01	特記仕様書（1）		A — 54	女性仮眠室平面詳細図、展開図（1）	（改修前・後）	A — 107	オーバースライド・シャッター詳細図（1）	（改修後）	E — 10	電灯分電盤 結線図（1）	（改修前・後）	M — 02	機械設備	特記仕様書（2）
A — 02	特記仕様書（2）		A — 55	女性仮眠室平面詳細図、展開図（2）	（改修前・後）	A — 108	オーバースライド・シャッター詳細図（2）	（改修後）	E — 11	電灯分電盤 結線図（2）	（改修前・後）	M — 03	欠番	
A — 03	特記仕様書（3）		A — 56	1階便所平面詳細図、展開図	（改修前）	A — 109	屋上防水詳細図（1）	（改修前・後）	E — 12	電灯分電盤 結線図（3）	（改修前・後）	M — 04	欠番	
A — 04	特記仕様書（4）		A — 57	1階便所平面詳細図、展開図	（改修後）	A — 110	屋上防水詳細図（2）	（改修前・後）	E — 13	電灯分電盤 結線図（4）	（改修前・後）	M — 05	衛生器具設備	器具表（改修前）
A — 05	特記仕様書（5）		A — 58	2階便所平面詳細図、展開図	（改修前）	A — 111	屋外階段詳細図	（改修前）	E — 14	幹線・動力設備 1階平面図（改修前）		M — 06	衛生器具設備	器具表 機器表（改修後）
A — 06	特記仕様書（6）		A — 59	2階便所平面詳細図、展開図	（改修後）	A — 112	屋外階段詳細図	（改修後）	E — 15	幹線・動力設備 1階平面図（改修後）		M — 07	給排水衛生設備	系統図（改修後）
A — 07	設計概要、案内図		A — 60	便所断面詳細図	（改修前・後）	A — 113	サインキープラン・詳細図	（改修前）	E — 16	幹線・動力設備 2階平面図（改修前）		M — 08	給排水衛生設備	1階平面図（改修前）
A — 08	配置図		A — 61	展開図（1）	（改修前）	A — 114	サインキープラン・詳細図	（改修後）	E — 17	幹線・動力設備 2階平面図（改修後）		M — 09	給排水衛生設備	1階平面図（改修後）
A — 09	床面積求積図		A — 62	展開図（1）	（改修後）	A — 115	家具キープラン・詳細図	（改修前）	E — 18	幹線・動力設備 3階平面図（改修前）		M — 10	給排水衛生設備	2階平面図（改修後）
A — 10	外部仕上表（1）	（改修前・後）	A — 63	展開図（2）	（改修前）	A — 116	家具キープラン・詳細図	（改修後）	E — 19	幹線・動力設備 3階平面図（改修後）		M — 11	給排水衛生設備	3階平面図（改修前後）
A — 11	外部仕上表（2）	（改修前・後）	A — 64	展開図（2）	（改修後）	A — 117	棚、壁掛けキープラン・詳細図	（改修前）	E — 20	幹線・動力設備 R階平面図（改修前・後）		M — 12	給水設備	R階平面図（改修前後）
A — 12	内部仕上表（1）	（改修前・後）	A — 65	展開図（3）	（改修前）	A — 118	棚、壁掛けキープラン・詳細図	（改修後）	E — 21	照明器具姿図（改修前）		M — 13	給排水衛生設備	1階平面詳細図（改修前）
A — 13	内部仕上表（2）	（改修前・後）	A — 66	展開図（3）	（改修後）	A — 119	カーテンボックス等キープラン・詳細図	（改修前）	E — 22	照明器具姿図（改修後）		M — 14	給排水衛生設備	1階平面詳細図（改修後）
A — 14	1階平面図	（改修前）	A — 67	展開図（4）	（改修前）	A — 120	カーテンボックス等キープラン・詳細図	（改修後）	E — 23	電灯設備 1階平面図（改修前）		M — 15	給排水衛生設備	2階平面詳細図（改修前）
A — 15	1階平面図	（改修後）	A — 68	展開図（4）	（改修後）	A — 121	雑詳細図（1）		E — 24	電灯設備 1階平面図（改修後）		M — 16	給排水衛生設備	2階平面詳細図（改修後）
A — 16	2階平面図	（改修前）	A — 69	展開図（5）	（改修前）	A — 122	雑詳細図（2）		E — 25	電灯設備 2階平面図（改修前）		M — 17	厨房機器設備	機器表（改修後）
A — 17	2階平面図	（改修後）	A — 70	展開図（5）	（改修後）	A — 123	雑詳細図（3）		E — 26	電灯設備 2階平面図（改修後）		M — 18	受水槽参考図	
A — 18	3階平面図	（改修前）	A — 71	展開図（6）	（改修前）	A — 124	雑詳細図（4）		E — 27	電灯設備 3階平面図（改修前）		M — 19	空気調和設備	機器表（改修前）
A — 19	3階平面図	（改修後）	A — 72	展開図（6）	（改修後）	A — 125	外構図	（改修前）	E — 28	電灯設備 3階平面図（改修後）		M — 20	空気調和設備	機器表（改修後）
A — 20	R階平面図	（改修前・後）	A — 73	展開図（7）	（改修前）	A — 126	外構図	（改修後）	E — 29	電灯コンセント設備 1階 便所平面詳細図（改修前・後）		M — 21	空気調和設備	1階平面図（改修前）
A — 21	立面図（1）	（改修前）	A — 74	展開図（7）	（改修後）	A — 127	外構詳細図（1）		E — 30	電灯コンセント設備 2階 便所平面詳細図（改修前・後）		M — 22	空気調和設備	1階平面図（改修後）
A — 22	立面図（1）	（改修後）	A — 75	展開図（8）	（改修前）	A — 128	外構詳細図（2）		E — 31	電灯コンセント設備 仮眠室平面詳細図(1)（改修前・後）		M — 23	空気調和設備	2階平面図（改修前）
A — 23	立面図（2）	（改修前）	A — 76	展開図（8）	（改修後）	A — 129	外構詳細図（3）		E — 32	電灯コンセント設備 仮眠室平面詳細図(2)（改修前・後）		M — 24	空気調和設備	2階平面図（改修後）
A — 24	立面図（2）	（改修後）	A — 77	展開図（9）	（改修前）	A — 130	消防有窓略算定表		E — 33	コンセント設備 1階平面図（改修前）		M — 25	空気調和設備	3階平面図（改修前）
A — 25	立面図（3）	（改修前）	A — 78	展開図（9）	（改修後）	A — 131	外部仮設計画図（1）（参考図）		E — 34	コンセント設備 1階平面図（改修後）		M — 26	空気調和設備	3階平面図（改修後）
A — 26	立面図（3）	（改修後）	A — 79	展開図（10）	（改修前）	A — 132	外部仮設計画図（2）（参考図）		E — 35	コンセント設備 2階平面図（改修前）		M — 27	換気設備	機器表（改修前）
A — 27	立面図（4）	（改修前）	A — 80	展開図（10）	（改修後）	A — 133	内部仮設計画図（1）（参考図）		E — 36	コンセント設備 2階平面図（改修後）		M — 28	換気設備	機器表（改修後）
A — 28	立面図（4）	（改修後）	A — 81	展開図（11）	（改修前）	A — 134	内部仮設計画図（2）（参考図）		E — 37	コンセント設備 3階平面図（改修前）		M — 29	換気設備	1階平面図（改修前）
A — 29	立面図（5）	（改修前）	A — 82	展開図（11）	（改修後）	A — 135	外構仮設計画図（1）（参考図）		E — 38	コンセント設備 3階平面図（改修後）		M — 30	換気設備	1階平面図（改修後）
A — 30	立面図（5）	（改修後）	A — 83	展開図（12）	（改修前）	A — 136	外構仮設計画図（2）（参考図）		E — 39	弱電設備 系統図（改修前・後）		M — 31	換気設備	2階平面図（改修前）
A — 31	断面図	（改修前）	A — 84	展開図（12）	（改修後）	A — 137	参考工程表		E — 40	弱電設備 1階平面図（改修前）		M — 32	換気設備	2階平面図（改修後）
A — 32	断面図	（改修後）	A — 85	展開図（13）	（改修前）				E — 41	弱電設備 1階平面図（改修後）		M — 33	換気設備	3階平面図（改修前）
A — 33	本棟 矩計図	（改修前）	A — 86	展開図（13）	（改修後）				E — 42	弱電設備 2階平面図（改修前）		M — 34	換気設備	3階平面図（改修後）
A — 34	本棟 矩計図	（改修後）	A — 87	1階天井伏図	（改修前）				E — 43	弱電設備 2階平面図（改修後）		M — 35	仮設給排水設備	平面図（仮設）
A — 35	増築棟 矩計図	（改修前・後）	A — 88	1階天井伏図	（改修後）				E — 44	弱電設備 3階平面図（改修前）				
A — 36	本棟 1階平面詳細図（1）	（改修前）	A — 89	2、3階天井伏図	（改修前）				E — 45	弱電設備 3階平面図（改修後）				
A — 37	本棟 1階平面詳細図（1）	（改修後）	A — 90	2、3階天井伏図	（改修後）				E — 46	弱電設備 R階平面図（改修前・後）				
A — 38	本棟 1階平面詳細図（2）	（改修前）	A — 91	1階建具キープラン	（改修前）				E — 47	拡声設備 系統図・機器姿図（改修前・後）				
A — 39	本棟 1階平面詳細図（2）	（改修後）	A — 92	1階建具キープラン	（改修後）				E — 48	拡声設備 1階平面図（改修前）				
A — 40	本棟 2階平面詳細図（1）	（改修前）	A — 93	2階建具キープラン	（改修前）				E — 49	拡声設備 1階平面図（改修後）				
A — 41	本棟 2階平面詳細図（1）	（改修後）	A — 94	2階建具キープラン	（改修後）				E — 50	拡声設備 2階平面図（改修前）				
A — 42	本棟 2階平面詳細図（2）	（改修前）	A — 95	3階建具キープラン	（改修前・後）				E — 51	拡声設備 2階平面図（改修後）				
A — 43	本棟 2階平面詳細図（2）	（改修後）	A — 96	建具表（1）	（改修前・後）				E — 52	拡声設備 3階平面図（改修前）				
A — 44	本棟 3階平面詳細図	（改修前）	A — 97	建具表（2）	（改修前・後）	図 面 番 号	内 容	《 電 気 》	E — 53	拡声設備 3階平面図（改修後）				
A — 45	本棟 3階平面詳細図	（改修後）	A — 98	建具表（3）	（改修前・後）	E — 01	電気設備工事 特記仕様書（1）		E — 54	火災報知設備 凡例・注記・系統図（改修前・後）				
A — 46	本棟 屋根伏図	（改修前・後）	A — 99	建具表（4）	（改修前・後）	E — 02	屋外電気設備 平面図（改修前）		E — 55	火災報知設備 1階平面図（改修前）				
A — 47	増築棟 平面詳細図	（改修前）	A — 100	建具表（5）	（改修前・後）	E — 03	屋外電気設備 平面図（改修後）		E — 56	火災報知設備 1階平面図（改修後）				
A — 48	増築棟 平面詳細図	（改修後）	A — 101	建具表（6）	（改修前・後）	E — 04	受変電設備 単線結線図（改修前）		E — 57	火災報知設備 2階平面図（改修前）				
A — 49	増築棟 屋根伏図	（改修前）	A — 102	建具表（7）	（改修前・後）	E — 05	受変電設備 単線結線図（改修後）		E — 58	火災報知設備 2階平面図（改修後）				
A — 50	増築棟 屋根伏図	（改修後）	A — 103	建具表（8）	（改修前・後）	E — 06	発電機設備 仕様書・機器姿図（改修後）		E — 59	火災報知設備 3階平面図（改修前）				
A — 51	男性仮眠室平面詳細図、展開図（1）	（改修前・後）	A — 104	建具表（9）	（改修前・後）	E — 07	発電機設備 計算書（改修後）		E — 60	火災報知設備 3階平面図（改修後）				
A — 52	男性仮眠室平面詳細図、展開図（2）	（改修前・後）	A — 105	建具表（10）	（改修前・後）	E — 08	幹線動力設備 系統図（改修前・後）							

春日部市

消防本部

総務課

※この図面は、A3判で印刷してください。

[illegible]

[illegible]

ユニット及びその他工事

ST

②

A 耐震スリット

方向	幅(mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
・垂直	・25	※完全（全貫通型）	・耐火型	・有り	
・水平	・	・非耐火型	・非耐火型	・無し	

目地	内壁		外壁		
目地材	・シーリング材（見え掛かり部のみ）		・シーリング材（見え掛かり部のみ） ・シーリング材（内外とも）		
目地寸法 (幅mm×深さmm)	・スリット幅×深さ10		・スリット幅×深さ10		
目地材の材質は標準仕様書表9.7.11による。					

形式	・差込式	・据置式	・壁張り式
施工箇所	・図示	・	・

材質	階区分	建築物間の クリアランス(mm)	変位追従性(mm)	耐火性能	断熱性能	備考
・7<2mm製	()階～()階	・50	(避難経路の床等)	・有り()	・有り()	
・ステンレス製	()階～()階	・100	・以上	・無し	・無し	
		・150	(その他)	・無し	・無し	
		・	・以上			

外部は防水型とする。
エキスパンションジョイントカバーには、脱落防止措置を講ずる。

材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考
・アルミニウム合金製	・テーパー式		・ハンドル式	・埋込式	
	・同一断面式		・ロープ式	・ベース式	
				・バンド式	

材種 ・ステンレス製（SUS304） ・

形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
・上下式鎖内蔵式	・標準品	・ステンレス製	・
・	・スプリング式	・	・
・			

フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス
①樹脂塗装メッシュフェンス
②鋼管フェンス ・アルミフェンス
高さ ③図示 ・

コンクリートの設計基準強度
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³ を満足する調合強度
・図示
配筋
※配筋を定めた計算書を監督員に提出する。 ・図示
取付け方法
※図示 ・

照明器具 ※有り ④無し
施設 ※有り ⑤無し
製造所 ()

⑥ 屋外掲示板

⑦ 間知石及びコンクリート間知ブロック積み

⑧ 屋外掲示板

排水工事（建築工事）

ST

1 屋外雨水排水

2 鉄鉄製ふた

3 グレーチング

4 街きょ、縁石、側溝

⑤ 埋戻し

材料

(21.2.1、2) (表21.2.1、2)

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（1種）	・B形管	※図示	・
・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP		※図示	・
	・VU		※図示	・
	・RF-VP ⑥		※図示	・
	・RS-VU ⑥		※図示	・

基床の厚さ及び種類 ・図示 ・
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 ・ゴム輪
側溝の形状及び寸法 ・図示 ・
排水樹、ふたの種類 ・図示 ・
砂地業に用いる材料（標準仕様書4.6.2(2)）
・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂
砂利地業に用いる材料（標準仕様書4.6.2(1)）
・再生クラッシャーラン ⑦ ・切込砂利 ・切込砕石
現場打ちの場合のコンクリート材料
種類 ※普通コンクリート
設計基準強度 ※18N/mm²
スランプ(cm) ※15又は18
現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295 ・
排水樹が現場打ちの場合の足掛け金物
※標準仕様書21.2.2(6) (注)
・ステンレス製 ・鋼製 ・合成樹脂被覆加工されたもの
凍上抑制層の厚さ ・図示 ・
凍上抑制層に用いる材料
(砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない

鉄鉄製マンホールふた (21.2.1)

種類	適用荷重	鍵	備考
・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉形（テーパー・パッキン式） ・中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は、 (公社)空気調和衛生工 学会SHASE-S2091による。

・

・鋼製 (21.2.1)

形式	用途	適用荷重	マンホール ピッチ	蓋鉛めつき (付着量)	上面形状
・受枠付き、 ボルト固定	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・樹ふた ・U字溝用	・歩行用	・細目	・（ ）	・凹凸形 ・
		・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 ・細目	・（ ）	・平形 ・

・ステンレス製

形式	用途	適用荷重	マンホール ピッチ	蓋鉛めつき (付着量)	上面形状
・受枠付き、 ボルト固定	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・樹ふた ・U字溝用	・歩行用	・	―	・凹凸形 ・
		・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・	―	・平形 ・

(21.3.1、2) (表21.3.1)

種類	形状、寸法
・縁石	・図示 ・
・L形側溝	・図示 ・
・U形側溝	・図示 ・
・U形側溝ふた	・図示 ・
・	・図示 ・

砂地業に用いる材料
・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂
砂利地業に用いる材料
・再生クラッシャーラン ⑧ ・切込砂利 ・切込砕石
砂利地業の厚さ ※100(mm) ・図示
現場打ちの場合のコンクリート材料
種類 ※普通コンクリート
設計基準強度 ※18N/mm²
スランプ(cm) ※15又は18
現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295 ・
凍上抑制層に用いる材料
(砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない

・B種
⑨「a 土工事」による (21.2.1)

舗装工事

ST

1 路床

② 路盤

③ アスファルト舗装

4 コンクリート舗装

5 カラー舗装

6 透水性舗装

7 半たわみ性舗装

8 弾性舗装

9 ブロック系舗装

⑩ 砂利敷き

11 路面標示用塗料

路床の材料

(22.2.2、3、5) (表22.2.1)

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ⑨	・図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャーラン ⑨ ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂（標準仕様書表21.2.2による） ・	・図示 ・
・フィルター層	・標準仕様書22.2.3(3)による ・	・図示 ・

(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない

・路床安定処理
安定処理の方法 ・安定処理工法 ・置き換え工法
添加材料による安定処理
種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ⑩
・フライアッシュセメントB種
・生石灰 (・特号 ・1号) ・消石灰 (・特号 ・1号)
添加量 ・ kg/m³ (CBR ・3以上 ・)

・不織布（ジオテキスタイル）
単位面積質量 ・60g/m²以上 ・
厚さ(mm) ・0.5～1.0
引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・
透水係数 ・1.5×10⁻³cm/sec以上 ・

試験
路床土の支持力比（CBR）試験 ・行う（ 箇所） ・行わない
現場CBR試験 ・行う（ 箇所） ・行わない
安定処理土のCBR試験 ・行う ・行わない
路床締固め度の試験 ・行う（ 箇所） ・行わない
六価クロム溶出試験 ・行う ・行わない

路盤及び厚さ ⑪図示 ・ (22.2.2、3) (表22.3.1)
路盤材料（標準仕様書表22.3.1による種別）
種 別
・クラッシャーラン
⑫粒度調整砕石
再生材
・再生クラッシャーラン ⑬
・再生粒度調整砕石 ⑬
鉄鋼スラグ
・クラッシャーラン鉄鋼スラグ ⑭
・粒度調整鉄鋼スラグ ⑭
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ ⑭

アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 ・ (22.4.2～4、6) (表22.4.1、4)
材料及び種類
アスファルト ・再生アスファルト ⑮
(標準仕様書表22.4.1による種類： ・60～80 ・80～100)
・ストレータアスファルト
骨材
・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 ⑯
加熱アスファルト混合物等の種類
・密粒度アスファルト混合物（13）
・細粒度アスファルト混合物（13）
・密粒度アスファルト混合物（13F）
試験
アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
舗装の平坦性
※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・

構成及び厚さ (22.5.2～4) (表22.5.1～3)
舗装の種類 部位 構成 厚さ(mm)
コンクリート舗装 ・車路、駐車場 ※図示 ・図示
・歩行者用通路 ※図示 ※70 ・

材料
コンクリート
※普通コンクリート 標準仕様書表22.5.1による ・
・以下による
コンクリートの種類 ・
設計基準強度(N/mm²) ※8 ・
所定のスランプ(cm) ※8 ・
粗骨材の最大寸法(mm) ・
早強ポルトランドセメント ※使用する ・使用しない
注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ
目地
種類 ※標準仕様書表22.5.3による ・
間隔 ※標準仕様書表22.5.3による ・ m程度ごと
構造 ※標準仕様書表22.5.1による ・図示
舗装の平坦性
※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・

「9 環境配慮改修工事」による

種別 (22.9.2) (表22.9.1)
・A種（施工範囲：・図示 ・通路 ・）
・B種（施工範囲：・図示 ・建物周囲他 ・）

路面標示用塗料は JIS K 5665 による。
種類 施工 適用 色 幅(mm) 塗布厚さ(mm)
・1種 ⑰ 常温 液状 ・白 ・150 ・1.0
・2種 ⑰ 加熱 ・ ・100 ・
※3種1号 熔融 粉体状
⑱ 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

植栽及び屋上緑化工事

ST

設計年月日

2025. 06

春日部市
消防本部 総務課

縮 尺

A1-1:-
A3-1:-

工 事 名 称

庄和消防署大規模改修工事

図 面 名 称

特記仕様書（5）

図面番号

A-05

[illegible]

設 計 概 要	
計 画 地	春日部市金崎9 1 4 番地 1
工事種別	大規模改修工事
敷地概要	
敷地面積	4, 2 1 1. 2 7㎡
都市計画区域	市街化調整区域
防火地域	指定なし
地域地区等	指定なし
施設概要	
施設名称	庄和消防署
用 途	消防署

建 築 物 概 要				
棟 名 称	延べ面積	階 数	構 造	備 考
本 棟	1,255.06㎡	地上 3 階	鉄筋コンクリート造	－
増 築 棟	286.78㎡	地上 1 階	鉄 骨 造	－
車 庫 棟	56.10㎡	地上 1 階	鉄 骨 造	工事対象外
訓 練 塔	55.44㎡	地上 2 階	鉄 骨 造	工事対象外
倉 庫	12.96㎡	地上 1 階	鉄 骨 造	工事対象外
合 計	1,666.34㎡	－	－	－

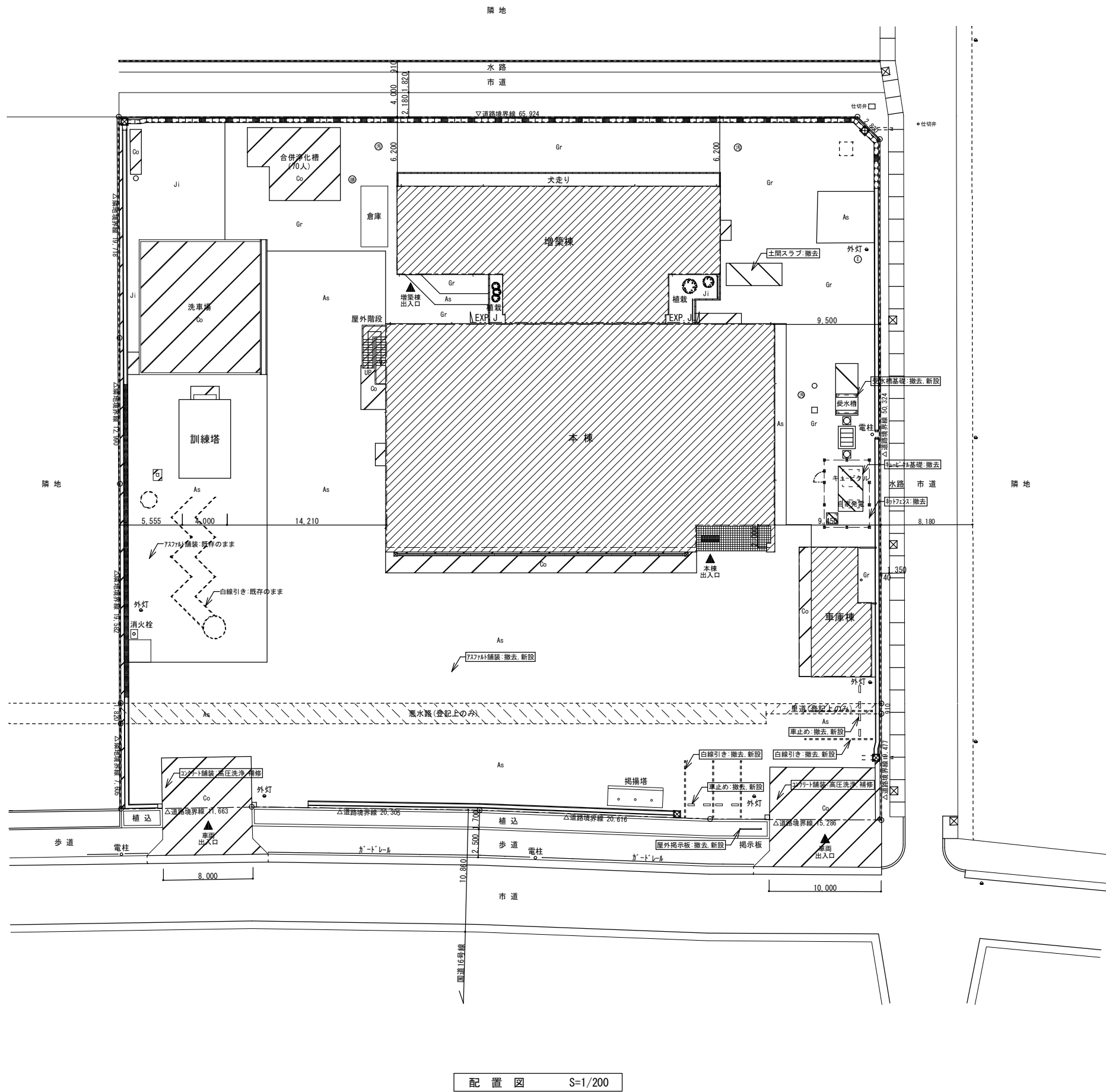
〈参考〉平成27年度 アスベスト含有分析調査結果			
位 置	部 位	仕 上 材	結 果
本棟	天井	岩綿吸音板	7ｽﾍﾞｽﾄ検出(クリソタイル)
本棟	天井	石膏ボード	無検出
本棟	天井	フレキシブルボード	7ｽﾍﾞｽﾄ検出(クリソタイル)
本棟	床	ビニル床タイル	7ｽﾍﾞｽﾄ検出(クリソタイル)

〈参考〉令和6年度 アスベスト含有分析調査結果			
位 置	部 位	仕 上 材	結 果
本棟 1階 ポーチ	床	磁器タイル、モルタル下地	無検出
本棟 1階 外壁	外 壁	アクリルリシン吹付	無検出
本棟 1階 廊下	巾 木	ソフト巾木(濃茶)	7ｽﾍﾞｽﾄ検出(クリソタイル) ※2層目接着剤に含有
本棟 1階 玄関	巾 木	人造石研出	無検出
本棟 1階 応接室	壁	モルタル金ゴテ ｴﾍﾟｯﾌﾟ塗	7ｽﾍﾞｽﾄ検出(クリソタイル) ※3層目セメント系材料(灰)に含有
本棟 1階 男子便所	床	モザイクタイル、モルタル下地	無検出
本棟 1階 機械室	壁	防水モルタル金ゴテ押え ｴﾍﾟｯﾌﾟ塗	7ｽﾍﾞｽﾄ検出(クリソタイル) ※2層目セメント系材料(灰)に含有
本棟 1階 機械倉庫	天井	木毛セメント板、白セメント吹付	無検出
本棟 1階 車庫	壁	モルタル金ゴテ押え ｴﾍﾟｯﾌﾟ塗	7ｽﾍﾞｽﾄ検出(クリソタイル) ※2層目セメント系材料(灰)に含有
本棟 1階 休憩室	壁	クロス、石膏ボード下地	無検出
本棟 1階 休憩室	天井	木目調化粧石膏ボード	無検出
増築棟 廊下3	床	ビニル床タイル	無検出
増築棟 廊下3	巾 木	ソフト巾木(濃茶)	7ｽﾍﾞｽﾄ検出(クリソタイル) ※3層目接着剤に含有
増築棟 廊下3	壁	クロス、石膏ボード下地	無検出
増築棟 廊下3	天井	岩綿吸音板、石膏ボード捨張	無検出
増築棟 炊事室	床	ビニル床シート(ベージュ)	無検出
増築棟 炊事室	壁	ケイカル板、石膏ボード下地	7ｽﾍﾞｽﾄ検出(クリソタイル) ※2層目繊維状材料(ワケイト)含有
増築棟 休憩室	床	ビニル床タイル(青)	7ｽﾍﾞｽﾄ検出(クリソタイル) ※3層目接着剤に含有
増築棟 風除室	床	磁器タイル、モルタル下地	無検出
増築棟 風除室	巾 木	モルタル金ゴテ ｴﾍﾟｯﾌﾟ塗	無検出
増築棟 外壁	外 壁	ＡＬＣ版、吹付タイル	無検出
増築棟 ポーチ	天井	防火サイディング、アクリルリシン吹付	無検出
増築棟 仮眠室	壁	断熱材	無検出
本棟 2階 事務室	床	ビニル床タイル(ベージュ)	7ｽﾍﾞｽﾄ検出(クリソタイル) ※2層目非繊維状材料に含有
本棟 屋上防水	平 場	ウレタン塗膜防水、防水モルタル	無検出
増築棟 屋上防水	平 場	シート防水(ブチルゴム系)	無検出
訓練塔	床	モルタル金ゴテ	無検出
車庫棟	床	モルタル金ゴテ	無検出
車庫棟	天井	折板断熱材	無検出
本棟 1階 機械室 煙道	配 管	フランジパッキン	7ｽﾍﾞｽﾄ検出(クリソタイル) ※本体に含有



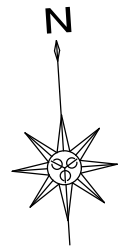
案 内 図 S=1/4,000

	設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮 尺	工 事 名 称	図 面 名 称	図面番号
	2025. 06		A1-1:4,000 A3-1:8,000	庄和消防署大規模改修工事	設計概要、案内図	A-07



- 仮設計画 特記事項
- ・仮設計画は参考図とする。適宜、監督員と協議する。
 - ・工事開始前に、消防本部・監督員と協議を行い、施設の運営や行事に関しては協力すること。
 - ・工事車両の台数・位置について、事前に消防本部と打合せを行うこと。
 - ・工事車両の搬出入時は、必要に応じ適宜、交通誘導員を配置し安全を図ること。
 - ・工事期間中も、工事範囲外の建物および訓練施設を消防隊員が使用するので、工事範囲内・外の区別を徹底し、安全に十分配慮すること。
 - ・立入禁止区域および安全対策等について、適宜掲示を行うこと。
 - ・建物内および工事範囲以外の部分に、粉塵等が入り込まない様に十分に養生をすること。
 - ・外壁塗装工事の際に、塗装面の開口部を室内側から養生テープ等で目張りを行うこと。
 - ・工事期間中の騒音対策には注意を払うこと。
 - ・搬出入路、工事車両駐車場等について、工事完了後現況に回復すること。
 - ・床養生および清掃をおこなうこと。
 - ・工事完了後、建物周りの整理整頓をおこなうこと。

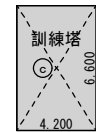
- 凡 例
- 今回工事内容を示す
 - 改修工事対象建築物を示す
 - As = 既存アスファルト舗装 範囲を示す
 - Co = 既存コンクリート舗装 範囲を示す
 - Gr = 既存砂利敷き 範囲を示す
 - Ji = 既存地面し 範囲を示す



配置図 S=1/200

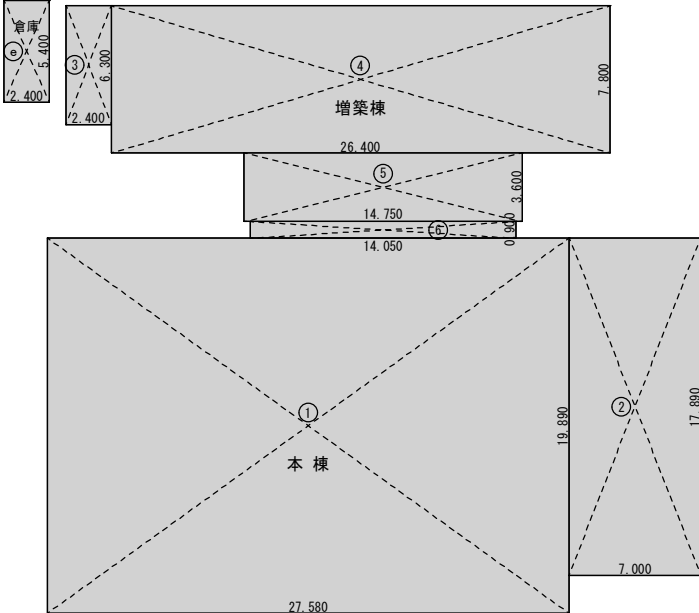
		設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮 尺	工 事 名 称	図 面 名 称	図面番号
		2025. 06		A1-1:200	庄和消防署大規模改修工事	配置図	A－０８

倉庫 床面積求積表		
記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
㊸	2.400 × 5.400	12.960000
床面積 計		12.960000
延べ面積		12.96

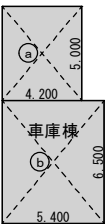


訓練塔 床面積求積表		
記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
㊸	4.200 × 6.600	27.720000
床面積 計		27.720000
1階 床面積		27.72

増築棟 床面積求積表		
記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
③	2.400 × 6.300	15.120000
④	26.400 × 7.800	205.920000
⑤	14.750 × 3.600	53.100000
⑥	14.050 × 0.900	12.645000
床面積 計		286.785000
1階 床面積		286.78

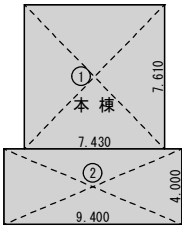


本棟 床面積求積表		
記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
①	27.580 × 19.890	548.566200
②	7.000 × 17.890	125.230000
床面積 計		673.796200
1階 床面積		673.79



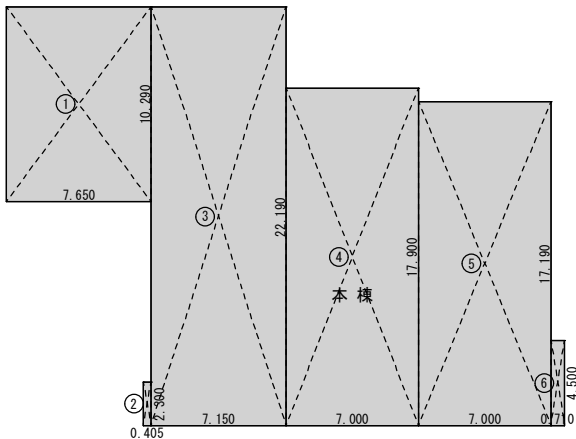
車庫棟 床面積求積表		
記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
㊹	4.200 × 5.000	21.000000
㊺	5.400 × 6.500	35.100000
床面積 計		56.100000
延べ面積		56.10

1階 床面積求積図 S=1/200



本棟 床面積求積表		
記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
①	7.430 × 7.610	56.542300
②	9.400 × 4.000	37.600000
床面積 計		94.142300
3階 床面積		94.14

3階 床面積求積図 S=1/200



本棟 床面積求積表		
記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
①	7.650 × 10.290	78.718500
②	0.405 × 2.300	0.931500
③	7.150 × 22.190	158.658500
④	7.000 × 17.900	125.300000
⑤	7.000 × 17.190	120.330000
⑥	0.710 × 4.500	3.195000
床面積 計		487.133500
2階 床面積		487.13

2階 床面積求積図 S=1/200

延べ面積求積表

棟名称	本棟	増築棟	車庫棟	訓練塔	倉庫	計
3階床面積	94.14㎡	—	—	—	—	94.14㎡
2階床面積	487.13㎡	—	—	27.72㎡	—	514.85㎡
1階床面積	673.79㎡	286.78㎡	56.10㎡	27.72㎡	12.96㎡	1,057.35㎡
延べ面積 計	1,255.06㎡	286.78㎡	56.10㎡	55.44㎡	12.96㎡	1,666.34㎡

本 棟 外 部 仕 上 表				※特記なき限り使用材料は、すべてF☆☆☆☆品及び環境対応品を使用する。 ※本工事に使用する建材で下地材、仕上材を問わず健康に影響を及ぼす恐れのあるものは使用しない。				※既存ウレタン塗膜防水層の「脆弱部」は面積の内10％程度とし、ケレン等により撤去の後、仮防水を行った上、ウレタン防水厚塗り で補修・段差調整を行う。 ※新設塗膜防水はウレタン塗膜防水 X-2工法 とする。				※既存の外壁仕上材は、可とう形改修塗材 R E（下地調整塗材）、超耐候無機複合フッ素樹脂塗（上塗材）である。 ※新設の外壁仕上材は、可とう形改修塗材 R E（弾性タイプ、平滑仕上げ）、上塗フッ素（弾性タイプ）とする。 ※外壁廻りの既設配管は、全て塗装すること。（SUS製を除く）			
棟	部 位		既 存 仕 上		撤 去 ・ 下 地 処 理		改 修 後 （ 新 設 ） 仕 上								
本 棟	屋上1～5	笠 木	防水モルタル金ゴテ、ウレタン塗膜防水 X-2工法		高圧水洗(9.8～14.7Mpa)・清掃の上、下地用プライマー塗布し、塗膜防水 ※脆弱部はケレン等により撤去し、ウレタン防水厚塗り で補修を行う。		プライマー処理の上、ウレタン塗膜防水 X-2工法 新設								
		防水(平場)	ウレタン塗膜防水(脱気工法)、t=25防水モルタル金ゴテ押え、t=60シンダーコンクリート、アスファルト防水(3層)、t=20均しモルタル		高圧水洗(9.8～14.7Mpa)・清掃の上、下地用プライマー塗布し、塗膜防水 ※脆弱部はケレン等により撤去し、ウレタン防水厚塗り で補修を行う。		プライマー処理の上、ウレタン塗膜防水 X-2工法 新設								
		防水(立上り)	防水押えレンガ積、防水モルタル金ゴテ、ウレタン塗膜防水 X-2工法		高圧水洗(9.8～14.7Mpa)・清掃の上、下地用プライマー塗布し、塗膜防水 ※脆弱部はケレン等により撤去し、ウレタン防水厚塗り で補修を行う。		プライマー処理の上、ウレタン塗膜防水 X-2工法 新設								
		脱 気 筒	ステンレス製		既存のまま		－								
		丸 環	スチール製 φ100@2,000		下地調整の上、錆止め、塗替		下地調整の上、錆止め、D P 塗								
		ド レ ン	鋳鉄製 横引きルーフトレンφ100		撤去（ドレン周りの研りモルタル補修共）		改修ドレンφ100（周囲ウレタンシール）新設								
		飾 り 樹	塩ビ製 角マス中型(VP100用)		撤去		塩ビ製 角マス中型(VP100用) エキスパンドメタル蓋付 新設								
		縦 樋	VPカラーパイプφ100（SUS製支持金物）	養生管：白ガス管(SGP)φ125 下部H=1,000（SUS製支持金物）	撤去（支持金物共）	養生管：撤去（支持金物共）	カラー硬質塩ビ管φ100（SUS製支持金物）		養生管：鋼管φ125、錆止め、D P 塗 下部H=1,200（SUS製支持金物）						
	屋上手摺	手 摺 1	手摺・支柱：スチール製 φ34 D P 塗	手摺子：φ22 D P 塗	基礎：コンクリートブロック 200×200×200 ウレタン塗膜防水	下地調整の上、錆止め、塗替		下地調整の上、錆止め、D P 塗		基礎：プライマー処理の上、ウレタン塗膜防水 X-2工法 新設					
		手 摺 2	手摺：スチール製 φ34 D P 塗	腕木：φ22 D P 塗	下地調整の上、錆止め、塗替		下地調整の上、錆止め、D P 塗								
軒	裏	モルタル刷毛引き、可とう形改修塗材 R E、超耐候無機複合フッ素樹脂塗		高圧水洗(9.8～14.7Mpa)・清掃の上、亀裂・爆裂等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。		下地調整の上、可とう形改修塗材 R E 上塗フッ素									
	天	車庫出入口	t=6フレキシブルボード目透し張 AEP-R塗、LGS下地		下地調整の上、塗替		下地調整の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗								
	ポ ー チ	t=1.0アルミスバンドレル張、LGS下地		クリーニング（洗浄液を散布し、腐食錆・汚れを除去後、水洗い、拭取りの上、保護クリアー塗）		－									
庇	防 水	防水モルタル金ゴテ、ウレタン塗膜防水 X-2工法		高圧水洗(9.8～14.7Mpa)・清掃の上、下地用プライマー塗布し、塗膜防水 ※脆弱部はケレン等により撤去し、ウレタン防水厚塗り で補修を行う。		プライマー処理の上、ウレタン塗膜防水 X-2工法 新設									
	鼻 先	モルタル刷毛引き、可とう形改修塗材 R E、超耐候無機複合フッ素樹脂塗		高圧水洗(9.8～14.7Mpa)・清掃の上、亀裂・浮き等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。		下地調整の上、可とう形改修塗材 R E 上塗フッ素									
	上 裏	モルタル刷毛引き、可とう形改修塗材 R E、超耐候無機複合フッ素樹脂塗		高圧水洗(9.8～14.7Mpa)・清掃の上、亀裂・爆裂等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。		下地調整の上、可とう形改修塗材 R E 上塗フッ素									
外 壁	一 般 部	モルタル刷毛引き、可とう形改修塗材 R E、超耐候無機複合フッ素樹脂塗		高圧水洗(9.8～14.7Mpa)・清掃の上、亀裂・浮き等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。		下地調整の上、可とう形改修塗材 R E 上塗フッ素									
	北側一部	t=100 A L C 版(ロッキング工法)、超耐候無機複合フッ素樹脂塗		高圧水洗(9.8～14.7Mpa)・清掃の上、下地調整		下地調整の上、可とう形改修塗材 R E 上塗フッ素									
	ポ ー チ	モルタル下地、レンガタイル張		撤去		モルタル下地、レンガタイル張 新設									
開 口 部	腰 窓	アルミサッシ		カバー工法撤去 一部 はつり撤去(枠共) 建具廻りシーリング撤去		カバー工法新設 一部 新設(枠共) 建具廻りシーリング新設									
	掃 出 し	スチールドア		下地調整の上 錆止め 塗替(枠共)、建具点検調整 一部 カバー工法撤去 一部 はつり撤去(枠共) 建具廻りシーリング撤去		下地調整の上、錆止め、S O P 塗(枠共) 一部 カバー工法新設 一部 開口閉塞 建具廻りシーリング新設									
	車庫出入口	アルミ製 オーバースライダーシャッター		撤去		アルミ製 オーバースライダーシャッター 新設									
外 巾 木	モルタル刷毛引き、可とう形改修塗材 R E、超耐候無機複合フッ素樹脂塗		高圧水洗(9.8～14.7Mpa)・清掃の上、亀裂・浮き等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。		下地調整の上、可とう形改修塗材 R E 上塗フッ素										
	ポ ー チ 床	モルタル下地、108角磁器クリンカータイル貼 一部：108角磁器質タイル貼		水洗い清掃		－									
出 入 口 土 間	コンクリート金ゴテ押え		水洗い清掃 ※脆弱部は撤去し、欠損部分をカチオン樹脂モルタルで補修を行う。		－										
	屋 外 階 段	踊り場	防水モルタル金ゴテ押え		撤去		モルタル金ゴテ押え、ウレタン塗膜防水 X-2工法 防滑仕上げ 新設								
踏面・蹴上		防水モルタル金ゴテ押え 段鼻：ノンスリップタイル貼 W=60		撤去 段鼻：撤去		モルタル金ゴテ押え、ウレタン塗膜防水 X-2工法 防滑仕上げ 新設 段鼻：SUS製ノスリッ 金物(ゴム入) W=35									
ボーダー		t=30テラゾブロック		撤去		モルタル金ゴテ押え、ウレタン塗膜防水 X-2工法 新設									
ささら		防水モルタル金ゴテ押え		撤去		モルタル金ゴテ押え、ウレタン塗膜防水 X-2工法 新設									
手 摺		手摺：スチール製 φ34 D P 塗	支柱・下弦材：スチール製 φ27 D P 塗	撤去		手摺：ステンレス製 φ34 新設		支柱・下弦材：ステンレス製 φ27	手摺子：ステンレス製 φ19						
上 裏		モルタル刷毛引き、可とう形改修塗材 R E、超耐候無機複合フッ素樹脂塗		高圧水洗(9.8～14.7Mpa)・塗膜剥離剤塗布の上、亀裂・爆裂等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。		下地調整C－2の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗									
土 間		コンクリート金ゴテ押え		水洗い清掃 ※脆弱部は撤去し、欠損部分をカチオン樹脂モルタルで補修を行う。		－									
取 付 物		タラップ	スチール製 D P 塗		下地調整の上、錆止め、塗替		下地調整の上、錆止め、D P 塗								
	車庫コーナープロテクター	樹脂製 65×65×16		撤去		樹脂製 65×65×16 新設									
	屋外掲示板	アルミ製(W1980×H1860×D80)		撤去		アルミ製(W1312×H1800×D70) 新設									

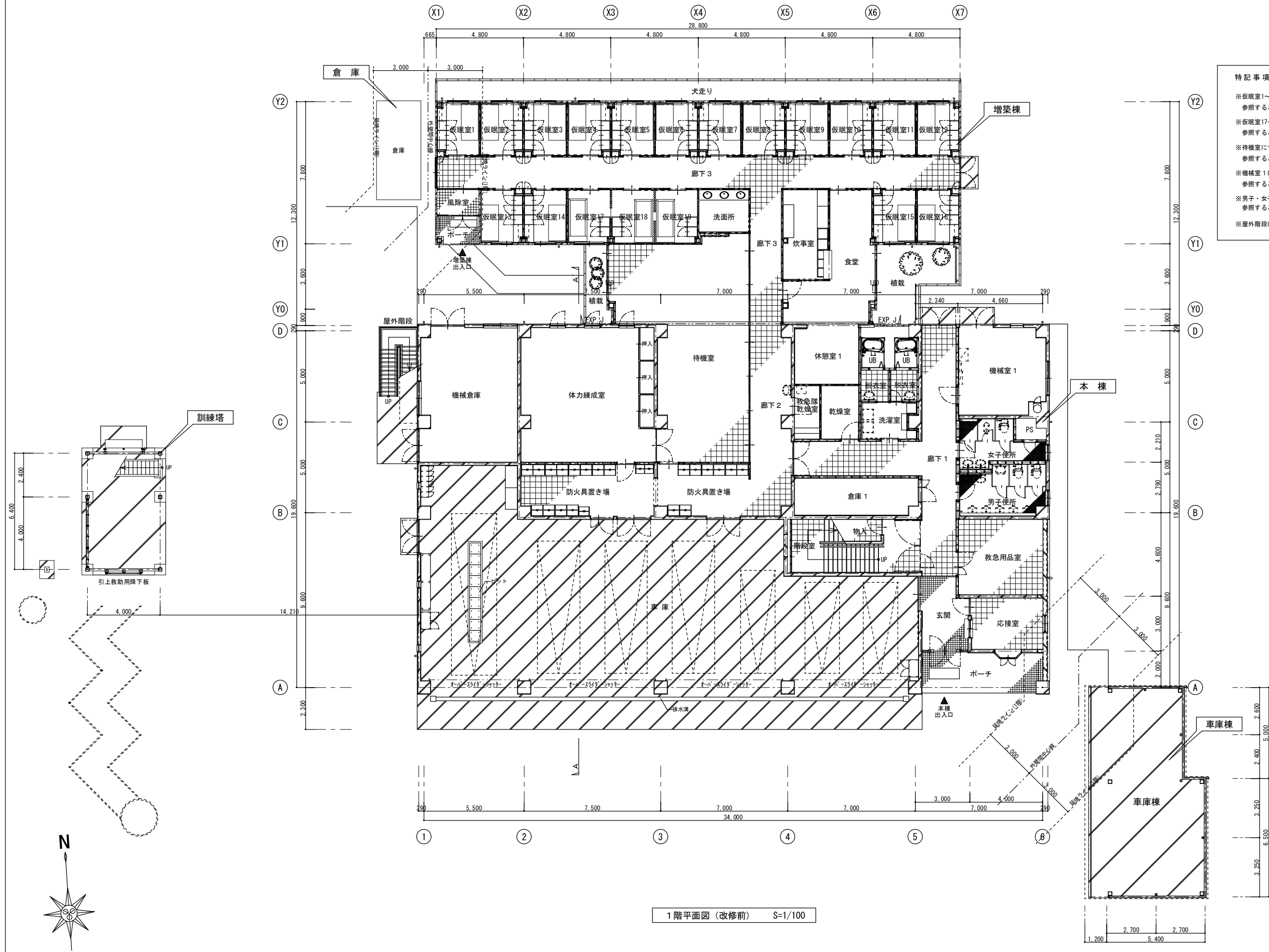
記 号	材 種 名 称
P B	せっこうボード
G W	グラスウール（断熱材、吸音材）
R W	ロックウール（吸音材）
L G S	軽量鉄骨
A L C	オートクレープ養生した軽量気泡コンクリート
S t、S U S	スチール、ステンレス
P L、F B	プレート、フラットバー
O P	オイルペイント
S O P	合成樹脂調合ペイント
E P	エマルションペイント
A E P	アクリル樹脂エマルションペイント
A E P-R	反応硬化形低VOC水性塗料
P U	ポリウレタン樹脂塗装（3分ツヤ消し）
O S V	木部 オイルステインワニス
O S C L	木部 オイルステインクリア
U C	ウレタンクリア
2－U E	2液形ポリウレタンエナメル
D P	耐候性塗料
F P	フタル酸エナメル樹脂塗装

材 種 名 称	認定番号
岩綿吸音板厚12.0(不燃)	・・・NM-8599
石膏ボード厚9.5(準不燃)	・・・QM-9828
石膏ボード厚12.5(不燃)	・・・NM-8619
耐水石膏ボード厚9.5(準不燃)	・・・QM-9826
耐水石膏ボード厚12.5(不燃)	・・・NM-8639
化粧石膏ボード厚9.5(準不燃)	・・・QM-0524
化粧石膏ボード厚9.5(不燃)	・・・NM-1864
化粧石膏吸音ボード厚9.5(不燃)	・・・NM-0879
強化石膏ボード厚21(不燃)	・・・NM-8615
ケイカル板厚6.0(不燃)	・・・NM-3522
化粧ケイカル板厚6.0(不燃)	・・・NM-4227
ビニルクロス（準不燃）	・・・QM-0803
ビニルクロス（不燃）	・・・NM-3991
グラスウールガラスクロス（不燃）	・・・NM-8606

	設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮 尺	工 事 名 称	図 面 名 称	図面番号
	2025.06		A1-1:－ A3-1:－	庄和消防署大規模改修工事	外部仕上表（1）（改修前・後）	A－1 0

増 築 棟 ・ 車 庫 棟 ・ 訓 練 塔					外 部 仕 上 表					※新設塩ビシート防水機械固定工法は、S-M2対応とする。 ※新設塩ビシート防水接着工法は、S-F2対応とする。					凡 例	
棟	部 位		既 存 仕 上		撤 去 ・ 下 地 処 理		改 修 後 （ 新 設 ） 仕 上					記 号	材 種 名 称			
増 築 棟	屋上防水 （屋上6）	笠 木	カラーアルミ製 W=150		取外し、クリーニング、再取付		再取付					P B	せっこうボード			
		防水（平場）	デッキプレートの上、t=120軽量コンクリート金ゴテ押え、t=1.2シート防水 （一部、塗膜防水）		高圧水洗（9.8～14.7Mpa）・清掃の上、シート防水 ※シート端部に塩ビ被服銅板を設置する。		塩ビシート防水 機械固定工法 高反射保護塗 新設 ヘリサイン：新設					G W	グラスウール（断熱材、吸音材）			
		防水（立上り）	t=100A L C版（一部、軽量コンクリート金ゴテ押え）、t=1.2シート防水		既存シート防水撤去、樹脂モルタル塗布の上、シート防水		塩ビシート防水 接着工法 高反射保護塗 新設					R W	ロックウール（吸音材）			
		ド レ ン	鋳鉄製 横引きルーフドレンφ100		撤去（ドレン周りの研りモルタル補修共）		改修ドレンφ100（周囲ウレタンシール）新設					L G S	軽量鉄骨			
		縦 樋	白ガス管（SGP）φ100（SUS支持金物共）		撤去（支持金物共）		カラー硬質塩ビ管φ100（SUS製支持金物）					A L C	オートクレープ養生した軽量気泡コンクリート			
	庇	平 場	t=9耐水合板下地、アスファルトルーフィング22kg、t=0.5ガルバリウム鋼板張		下地調整の上、塗装		下地調整の上、フッ素樹脂塗					S t、S U S	スチール、ステンレス			
		上 裏	t=9耐水合板下地、t=0.5ガルバリウム鋼板張		下地調整の上、塗装		下地調整の上、フッ素樹脂塗					P L、F B	プレート、フラットバー			
	軒 天		t=12防火サイディング張 アクリルリシン吹付		下地調整の上、塗替		下地調整の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗					O P	オイルペイント			
	外 壁		t=100A L C版 吹付タイル		高圧水洗（9.8～14.7Mpa）・清掃の上、下地調整		下地調整の上、防水形複層塗材E					S O P	合成樹脂調合ペイント			
	開 口 部	一 般 部	アルミサッシ		クリーニング（ガラス共）、建具点検調整、建具廻りシーリング撤去		建具廻りシーリング新設					E P	エマルションペイント			
		掃 出 し	アルミドア		クリーニング（ガラス共）、建具点検調整、建具廻りシーリング撤去		建具廻りシーリング新設					A E P	アクリル樹脂エマルションペイント			
	外 巾 木		コンクリート打放し補修		高圧水洗（9.8～14.7Mpa）・清掃の上、亀裂等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。		下地調整の上、樹脂モルタルノロ引き					A E P-R	反応硬化形低VOC水性塗料			
	犬 走 り		t=30砂利敷き（3分） 緑石：コンクリートブロック100×100×600		既存のまま 緑石：既存のまま		－					P U	ポリウレタン樹脂塗装（3分ツヤ消し）			
	ポ ー チ 床		100角磁器質タイル貼		水洗い清掃		－					O S V	木部 オイルステインワニス			
	出 入 口 土 間		コンクリート金ゴテ押え		水洗い清掃		－					O S C L	木部 オイルステインクリア			
取 付 物	E X P . J	屋根カバー：アルミ製 W=300 外壁カバー：アルミ製 W=200		クリーニング		－					U C	ウレタンクリア				
	トップライト	アルミ製（排煙装置付）		クリーニング（ガラス共）、建具点検調整、建具廻りシーリング撤去		建具廻りシーリング新設					2 - U E	2液形ポリウレタンエナメル				
車 庫 棟	勾配屋根	屋 根	折板屋根 山高H=85 折板裏面：厚4発砲ポリエチレンシート張		既存のまま		－					D P	耐候性塗料			
		軒 樋	塩ビ製W120（SUS支持金物共）		既存のまま		－					F P	フタル酸エナメル樹脂塗装			
		縦 樋	塩ビ製φ75（SUS支持金物共）		既存のまま		－									
	柱 ・ 梁		鉄骨現し FP塗		既存のまま		－									
	外 壁		t=0.35カラー角波板鉄板張 ケラバ・水切金物：カラー鉄板加工		既存のまま		－									
外 巾 木		コンクリート打放し		既存のまま		－										
床		コンクリート金ゴテ仕上げ		既存のまま		－										
訓 練 塔	柱 ・ 梁		鉄骨現し DP塗		既存のまま		－									
	外 壁		t=18押出成形セメント板張 フッ素樹脂塗 胴縁：C-100×50×3.2@600 DP塗		既存のまま		－									
	手 摺		上弦材・支柱：スチール製 φ42.7 DP塗 下弦材：スチール製 φ34 DP塗 手摺子：スチール製 φ27.2 DP塗		既存のまま		－									
	床	2、R 階	t=4.5チェッカープレート（溶融亜鉛めっき鋼板）		既存のまま		－									
		1 階	コンクリート金ゴテ押え 配筋：D10@200（S）		既存のまま		－									
	階 段	手 摺	上弦材・支柱：スチール製 φ42.7 DP塗 下弦材：スチール製 φ34 DP塗 手摺子：スチール製 φ27.2 DP塗		既存のまま		－									
		さ さら	スチールプレート DP塗		既存のまま		－									
		踏 み 面	t=4.5チェッカープレート（溶融亜鉛めっき鋼板）		既存のまま		－									
	柱 脚		コンクリート打放し仕上げ		既存のまま		－									
	取 付 物	引上救助用 降下板設備	引上救助用降下板		既存のまま		－									
電動式ホース リフター設備		電動式ホースリフター		既存のまま		－										
					設計年月日	春日部市 消防本部 総務課					縮 尺	工 事 名 称		図 面 名 称		図面番号
					2025. 06						A1-1：－ A3-1：－	庄和消防署大規模改修工事		外部仕上表（2）（改修前・後）		A－11

本 棟 内 部 仕 上 表										※【AS、LV3】は アスベスト含有建材レベル3(石綿含有成形板等、石綿含有仕上塗材)を示す。撤去する場合、レベル3の解体、除去作業および処分とする。 ※【一部AS、LV3】は 一部の範囲にアスベスト含有建材レベル3が残っている状態を示す。範囲については平面詳細図・展開図・天井伏図を参照すること。										※残置するアスベスト含有建材へ、孔開け等をする際は、アスベスト飛散防止対策（HEPAフィルター付ドリルの使用等）をおこなうこと。 ※出勤準備室、男性仮眠室16・17・21・22、女性仮眠室1・2は「排煙上無窓の居室」である。このため、壁・天井の仕上材と下地材は不燃材料とすること。									
階数	室 名		床		巾 木			壁（RC造下地）			壁（LGS下地）			天 井		天井高		備 考											
	→改修後室名		改修前	改修後	改修前	H	改修後	H	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後													
1	車 庫 → 車 庫	コンクリート金ゴテ押え (水勾配付) 清掃、補修	水洗い清掃、クラック等補修	—	人造石研出し 塗装	150	下地調整の上、上塗フッ素	150	t=25モルタル金ゴテ押え【AS、LV3】AEP塗 塗替	下地調整の上、AEP塗	—	—	コナリト打放し、白セメント吹付 塗替	下地調整の上、AEP塗	4.730	4.730	高温除菌洗浄洗濯機(13kg)：新設（設備工事） 防火衣特殊乾燥機(6セット)：新設（設備工事） コンクリート基礎：新設 消防ホース収納棚：新設 白線ライン：新設												
	応接室 → 救急消毒室	t=2.0ビニル床タイル貼【一部AS、LV3】撤去 モルタル金ゴテ押え 既存のまま	下地処理の上、t=2.0長尺塩ビシート貼新設	—	ソフト巾木【一部AS、LV3】 撤去	60	ソフト巾木 新設	60	t=25モルタル金ゴテ押え【一部AS、LV3】EP塗 塗替	下地調整の上、EP-G塗	—	—	ライニング壁： 厚3メラミン化粧板張(7&8ｼﾞｮｲﾝﾄ)新設 t=12.5耐水石膏ボード捨張 撤去	t=12岩綿吸音板張【一部AS、LV3】撤去 t=9.5石膏ボード捨張 撤去	一部、t=12岩綿吸音板張 EP塗 新設 t=9.5石膏ボード捨張 新設	2.700	2.700	ライニング：新設 物干し金物、物干しポール：新設 シンク、洗濯パン、洗濯機、給湯器：新設（設備工事）											
	救急用品室 → 救急用品室	t=2.0ビニル床タイル貼【一部AS、LV3】撤去 モルタル金ゴテ押え 既存のまま	下地処理の上、t=2.0長尺塩ビシート貼新設	—	ソフト巾木【一部AS、LV3】 撤去	60	ソフト巾木 新設	60	t=25モルタル金ゴテ押え【一部AS、LV3】EP塗 塗替	下地調整の上、EP-G塗	t=6ケイカル板張 EP塗 塗替 t=12.5石膏ボード捨張 既存のまま	下地調整の上、EP-G塗	t=12岩綿吸音板張【一部AS、LV3】塗装 t=9.5石膏ボード捨張 既存のまま LGS下地 既存のまま	下地調整の上、EP塗	2.700	2.700	—												
	男子・女子便所 → 男子・女子便所	25角モザイクタイル貼 既存のまま モルタル下地 既存のまま	下地処理の上、セルフレベリング、 t=2.0長尺塩ビシート貼（抗菌性・防汚性） 新設 一部：t=70軽量コンクリート 新設 一部：t=160土間コンクリート 新設	100角カラータイル張 撤去 一部：t=2.0 SUS巾木 撤去	100	ソフト巾木 新設	60	100角カラータイル張 撤去 モルタル下地 撤去	t=6化粧ケイカル板張(7&8ｼﾞｮｲﾝﾄ) 新設 t=12.5耐水石膏ボード捨張(GL工法) 新設	t=6化粧ケイカル板張(7&8ｼﾞｮｲﾝﾄ) 撤去 t=12.5耐水石膏ボード捨張 撤去	t=6化粧ケイカル板張(7&8ｼﾞｮｲﾝﾄ) 新設 t=12.5耐水石膏ボード捨張 新設	t=9.5化粧石膏ボード張 撤去 LGS下地 撤去	t=9.5化粧石膏ボード張 新設 LGS下地 新設	2.500	2.500	トイレブース：新設 ライニング：新設 耐食棚：新設													
	機械室1 → 女性仮眠室	防水モルタル金ゴテ押え【AS、LV3】 既存のまま 一部：防水モルタル金ゴテ押え【AS、LV3】 撤去	モルタル金ゴテ下地、 t=2.0長尺塩ビシート貼(木目調) 新設	防水モルタル金ゴテ押え 【AS、LV3】 既存のまま	150	ソフト巾木 新設	60	t=25防水モルタル金ゴテ押え【AS、LV3】AEP塗 既存のまま	ビニルクロス張 新設 t=12.5石膏ボード下地(GL工法) 新設 t=25発泡ウレタン吹付 新設	t=25ロックウールM6化粧吸音材張 撤去 t=9.5+12.5石膏ボード下地(両面) 新設 洗面室間：ビニルクロス張 新設 t=12.5石膏ボード下地 新設	仮眠室間：ビニルクロス張 新設 t=9.5+12.5石膏ボード下地(両面) 新設 洗面室間：ビニルクロス張 新設 t=12.5石膏ボード下地 新設	白セメント吹付 既存のまま t=15木毛セメント板打込 既存のまま	t=12岩綿吸音板張 新設 t=9.5石膏ボード捨張 新設 LGS下地 新設	4.730	2.400	ベッド：新設 クローゼット：新設 ロールスクリーン：新設 机、本棚：新設													
	→ 前室	—	下地処理の上、t=2.0長尺塩ビシート貼新設	—	ソフト巾木 新設	60	—	—	—	—	—	—	t=12岩綿吸音板張 新設 t=9.5石膏ボード捨張 新設	—	2.400	洗面化粧台：新設 化粧ポーチロッカー：新設 下足入：新設													
	→ 脱衣	—	t=2.5ビニル床タイル貼（450角、藤調）新設 t=12+12耐水合板、鋼製床下地 新設	—	ソフト巾木 新設	60	—	—	—	—	—	—	t=9石膏製バスパネル張 新設 防護シート、t=12耐水石膏ボード下地 新設	—	2.400	洗濯パン、洗濯機：新設（設備工事）													
	→ UB	—	下地処理および不陸調整の上、UR設置	—	—	—	—	—	t=100ALC板、鋼製下地 新設 (裏面t=25発泡ウレタン吹付)	—	—	—	—	—	—	—	—												
	物 入 → 物 入	t=2.0ビニル床タイル貼【AS、LV3】撤去 モルタル金ゴテ押え 既存のまま	下地処理の上、t=2.0長尺塩ビシート貼新設	ソフト巾木【AS、LV3】撤去	60	ソフト巾木 新設	60	t=25モルタル金ゴテ押え【AS、LV3】EP塗 塗替	下地調整の上、EP-G塗	—	—	—	上裏：モルタル刷毛引き【AS、LV3】EP塗 塗替	下地調整の上、EP塗	2.190 ～4.420	2.190 ～4.420	—												
	倉庫1 → 倉庫1	t=2.5ビニル床シート貼 撤去 モルタル金ゴテ押え 既存のまま	下地処理の上、t=2.0長尺塩ビシート貼新設	ソフト巾木 撤去	60	ソフト巾木 新設	60	t=25モルタル金ゴテ押え【AS、LV3】EP塗 塗替	下地調整の上、EP-G塗	t=6ケイカル板張 EP塗 塗替 t=12.5石膏ボード捨張 既存のまま	下地調整の上、EP-G塗	—	t=9.5化粧石膏ボード張 塗替 LGS下地 既存のまま	下地調整の上、EP塗	2.700	2.700	—												
	洗濯室 → 洗濯室	t=2.5ビニル床シート貼 撤去 モルタル金ゴテ押え 既存のまま	下地処理の上、t=2.0長尺塩ビシート貼新設	ソフト巾木 撤去	60	ソフト巾木 新設	60	t=6ケイカル板張 EP-G塗 既存のまま LGS下地 既存のまま	—	t=6ケイカル板張 EP-G塗 既存のまま	—	—	t=9.5化粧石膏ボード張 既存のまま LGS下地 既存のまま	—	2.400	2.400	—												
	脱衣室 → 脱衣室	t=2.5ビニル床タイル貼（450角、藤） 既存のまま モルタル金ゴテ押え 既存のまま	—	ソフト巾木 既存のまま	60	—	—	t=9バスパネル張 既存のまま LGS下地 既存のまま	—	t=9バスパネル張 既存のまま	—	—	t=9バスパネル張 既存のまま LGS下地 既存のまま	—	2.400	2.400	—												
	乾燥室 → 乾燥室	エポキシ樹脂系塗り床 塗替 モルタル金ゴテ押え 既存のまま	下地処理の上、エポキシ樹脂系塗り床	ソフト巾木 撤去	60	ソフト巾木 新設	60	—	t=6ケイカル板張 EP塗 撤去 t=12.5石膏ボード捨張 撤去	t=6化粧ケイカル板張(7&8ｼﾞｮｲﾝﾄ) 新設 t=12.5耐水石膏ボード捨張 新設	t=6化粧ケイカル板張(7&8ｼﾞｮｲﾝﾄ) 新設 t=12.5耐水石膏ボード捨張 新設	t=4フレキシブルボード張【一部AS、LV3】 撤去 t=9.5石膏ボード捨張 撤去 LGS下地 撤去	t=6化粧ケイカル板張(7&8ｼﾞｮｲﾝﾄ) 新設 t=9.5耐水石膏ボード捨張 新設 LGS下地 新設	2.500	2.500	除湿器：新設（設備工事） 物干し金物、物干しポール：新設													
	救急服乾燥室 → 乾燥室	エポキシ樹脂系塗り床 塗替 モルタル金ゴテ押え 既存のまま	下地処理の上、エポキシ樹脂系塗り床	ソフト巾木 撤去	60	ソフト巾木 新設	60	t=25モルタル金ゴテ押え【AS、LV3】EP塗 既存のまま	t=6化粧ケイカル板張(7&8ｼﾞｮｲﾝﾄ) 新設 t=12.5耐水石膏ボード捨張(GL工法) 新設	t=6ケイカル板張 EP塗 撤去 t=12.5石膏ボード捨張 撤去	t=6化粧ケイカル板張(7&8ｼﾞｮｲﾝﾄ) 新設 t=12.5耐水石膏ボード捨張 新設	t=4フレキシブルボード張【一部AS、LV3】 撤去 t=9.5石膏ボード捨張 撤去 LGS下地 撤去	t=6化粧ケイカル板張(7&8ｼﾞｮｲﾝﾄ) 新設 t=9.5耐水石膏ボード捨張 新設 LGS下地 新設	2.500	2.500	—													
	待機室 → 出勤準備室	t=2.0ビニル床タイル貼【AS、LV3】撤去 モルタル金ゴテ押え 既存のまま	下地処理の上、t=2.0長尺塩ビシート貼新設	ソフト巾木【AS、LV3】撤去	60	ソフト巾木 新設	60	t=25モルタル金ゴテ押え【AS、LV3】EP塗 塗替	下地調整の上、EP-G塗	t=12.5石膏ボード張 EP塗 撤去 モルタル刷毛引き、吹付タイル 既存のまま t=12.5石膏ボード下地 既存のまま	t=12.5石膏ボード張 EP-G塗 新設 ビニルクロス張 新設 —	t=12岩綿吸音板張【AS、LV3】撤去 t=9.5石膏ボード捨張 撤去 LGS下地 撤去	t=12岩綿吸音板張 新設 t=9.5石膏ボード捨張 新設 LGS下地 新設	2.700	2.700	—													
	→ 男性仮眠室20～22	—	下地処理の上、 t=2.0長尺塩ビシート貼(木目調) 新設	—	ソフト巾木 新設	60	—	—	—	—	—	—	t=12岩綿吸音板張 撤去 t=9.5石膏ボード捨張、LGS下地 撤去	—	2.400	ベッド：新設 クローゼット、クリーニング ロールスクリーン：新設 机：新設													
→ 廊下4	—	下地処理の上、t=2.0長尺塩ビシート貼新設	—	ソフト巾木 新設	60	—	—	—	—	—	—	—	t=12岩綿吸音板張 新設 t=9.5石膏ボード捨張 新設 LGS下地 新設	2.700	—	下足入：新設													
体力練成室 → 体力練成室1	t=2.5ビニル床シート貼 撤去 モルタル金ゴテ押え 既存のまま	下地処理の上、t=2.0長尺塩ビシート貼新設	ソフト巾木【AS、LV3】撤去	60	ソフト巾木 新設	60	t=25モルタル金ゴテ押え【AS、LV3】EP塗 塗替	下地調整の上、EP-G塗	t=6ケイカル板張 EP塗 塗替 t=12.5石膏ボード捨張 既存のまま	下地調整の上、EP-G塗	—	t=12岩綿吸音板張【一部AS、LV3】撤去 t=9.5石膏ボード捨張 撤去 LGS下地 既存のまま	t=12岩綿吸音板張 新設 t=9.5石膏ボード捨張 新設	2.700	2.700	—													
機械倉庫 → 機械倉庫	モルタル金ゴテ押え【AS、LV3】清掃、補修 既存のまま	水洗い清掃、クラック等補修	t=6金ゴテ押え【AS、LV3】 既存のまま	150	—	—	コンクリート打放し補修 既存のまま	—	—	—	—	t=15木毛セメント板打込 白セメント吹付 既存のまま	—	4.700	4.700	—													
防火具置き場 → 防火具置き場	t=2.0ビニル床タイル貼【AS、LV3】撤去 モルタル金ゴテ押え 既存のまま	下地処理の上、t=2.0長尺塩ビシート貼新設	ソフト巾木【AS、LV3】撤去	60	ソフト巾木 新設	60	t=25モルタル金ゴテ押え【AS、LV3】EP塗 塗替	下地調整の上、EP-G塗	t=6ケイカル板張 EP塗 塗替 t=12.5石膏ボード捨張 既存のまま	下地調整の上、EP-G塗	—	t=12岩綿吸音板張【一部AS、LV3】撤去 t=9.5石膏ボード捨張 撤去 LGS下地 既存のまま	t=12岩綿吸音板張 新設 t=9.5石膏ボード捨張 新設	2.700	2.700	防火衣ロッカー：新設													
玄 関 → 玄 関	108角磁器クлинカータイル貼 清掃 一部：108角磁器クリンカータイル貼 撤去	水洗い清掃 一部：モルタル下地(勾配付)、 108角磁器質タイル貼 新設	人造石研出し 塗装 一部：t=6角タイル張 撤去 一部：モルタル下地、レンガタイル張 撤去	150	下地調整の上、上塗フッ素 水洗い清掃	150	コンクリート打放し、可とう形改修塗材RE、 超耐候無機複合フッ素樹脂塗 塗替 一部：モルタル下地、レンガタイル張 新設	下地調整の上、可とう形改修塗材RE、 上塗フッ素 塗替 一部：モルタル下地、レンガタイル張 新設	—	—	—	t=9.5化粧石膏ボード張 塗装 LGS下地 既存のまま	下地調整の上、EP塗	2.730	2.730	—													
廊下1 → 廊下1	t=2.0ビニル床タイル貼【一部AS、LV3】撤去 モルタル金ゴテ押え 既存のまま	下地処理の上、t=2.0長尺塩ビシート貼新設	ソフト巾木【一部AS、LV3】 撤去	60	ソフト巾木 新設	60	t=25モルタル金ゴテ押え【AS、LV3】EP塗 塗替	下地調整の上、EP-G塗	t=6ケイカル板張 EP塗 塗替 t=12.5石膏ボード捨張 既存のまま	下地調整の上、EP-G塗	—	t=9.5化粧石膏ボード張 塗装 LGS下地 既存のまま	下地調整の上、EP塗	2.700	2.700	—													
廊下2 → 廊下2	t=2.0ビニル床タイル貼【AS、LV3】撤去 モルタル金ゴテ押え 既存のまま	下地処理の上、t=2.0長尺塩ビシート貼新設	ソフト巾木【AS、LV3】撤去	60	ソフト巾木 新設	60	t=25モルタル金ゴテ押え【AS、LV3】EP塗 塗替 一部：100角タイル張 撤去	下地調整の上、EP-G塗 下地調整の上、EP-G塗	t=12.5石膏ボード張 EP塗 塗替 t=12.5石膏ボード捨張 新設	下地調整の上、EP-G塗 一部：t=6ケイカル板張 EP-G塗 新設 一部：t=9ケイカル板張 EP-G塗 新設 LGS下地 既存のまま	t=12岩綿吸音板張【一部AS、LV3】撤去 t=9.5石膏ボード捨張 撤去 LGS下地 既存のまま	t=12岩綿吸音板張 新設 t=9.5石膏ボード捨張 新設	2.700	2.700	—														
休憩室1 → 休憩室1	t=40タタミ敷 撤去 t=12合板貼 撤去 木床組下地 既存のまま	t=40タタミ敷 新設 t=12構造用合板貼 新設	雑巾摺15×10 撤去	—	雑巾摺15×10 新設	—	ビニルクロス張(塗り壁調) 撤去 t=12.5石膏ボード下地(GL工法) 既存のまま	下地調整の上、ビニルクロス張(塗り壁調) 新設 t=12.5石膏ボード下地 既存のまま	ビニルクロス張(塗り壁調) 撤去 t=12.5石膏ボード下地 既存のまま	下地調整の上、ビニルクロス張(塗り壁調) 新設 t=9.5石膏ボード下地 既存のまま	t=9.5化粧石膏ボード張(杉柾目調) 撤去 LGS下地 既存のまま	ビニルクロス張(杉柾目調) 新設 t=9.5石膏ボード下地 新設	2.400	2.400	—														
共通	階段室 → 階段室	t=2.0ビニル床タイル貼【AS、LV3】撤去 モルタル金ゴテ押え 既存のまま	下地処理の上、t=2.0長尺塩ビシート貼新設	ソフト巾木【AS、LV3】撤去	60	ソフト巾木 新設	60	t=25モルタル金ゴテ押え【AS、LV3】EP塗 塗替	下地調整の上、EP-G塗	ラスモルタル金ゴテ押え EP塗 塗替	下地調整の上、EP-G塗	—	—	—	—	—													
	—	障り場：t=2.0C24床タイル貼【AS、LV3】撤去 障面・障紙：t=2.0C24床タイル貼【AS、LV3】撤去 段鼻：SUS製ノリツブ金物(φ4×L)H=35 撤去	下地処理の上、t=2.0長尺塩ビシート貼新設 下地処理の上、t=2.0長尺塩ビシート貼新設 段鼻：SUS製ノリツブ金物(φ4×L)H=35 新設	ささら：ソフト巾木【AS、LV3】 撤去	—	ささら：ソフト巾木 新設	—	—	—	—	—	上裏：モルタル刷毛引き【AS、LV3】EP塗 塗替	下地調整の上、EP塗	—	—	—													
										設計年月日						縮 尺		工 事 名 称		図 面 名 称		図面番号							
										2025. 06		春日部市 消防本部 総務課				A1-1：－ A3-1：－		庄和消防署大規模改修工事		内部仕上表（1）（改修前・後）									



特記事項

※仮眠室1～16について「男性仮眠室平面詳細図、展開図(1)」を参照すること。

※仮眠室17～19について「男性仮眠室平面詳細図、展開図(2)」を参照すること。

※待機室について「男性仮眠室平面詳細図、展開図(3)」を参照すること。

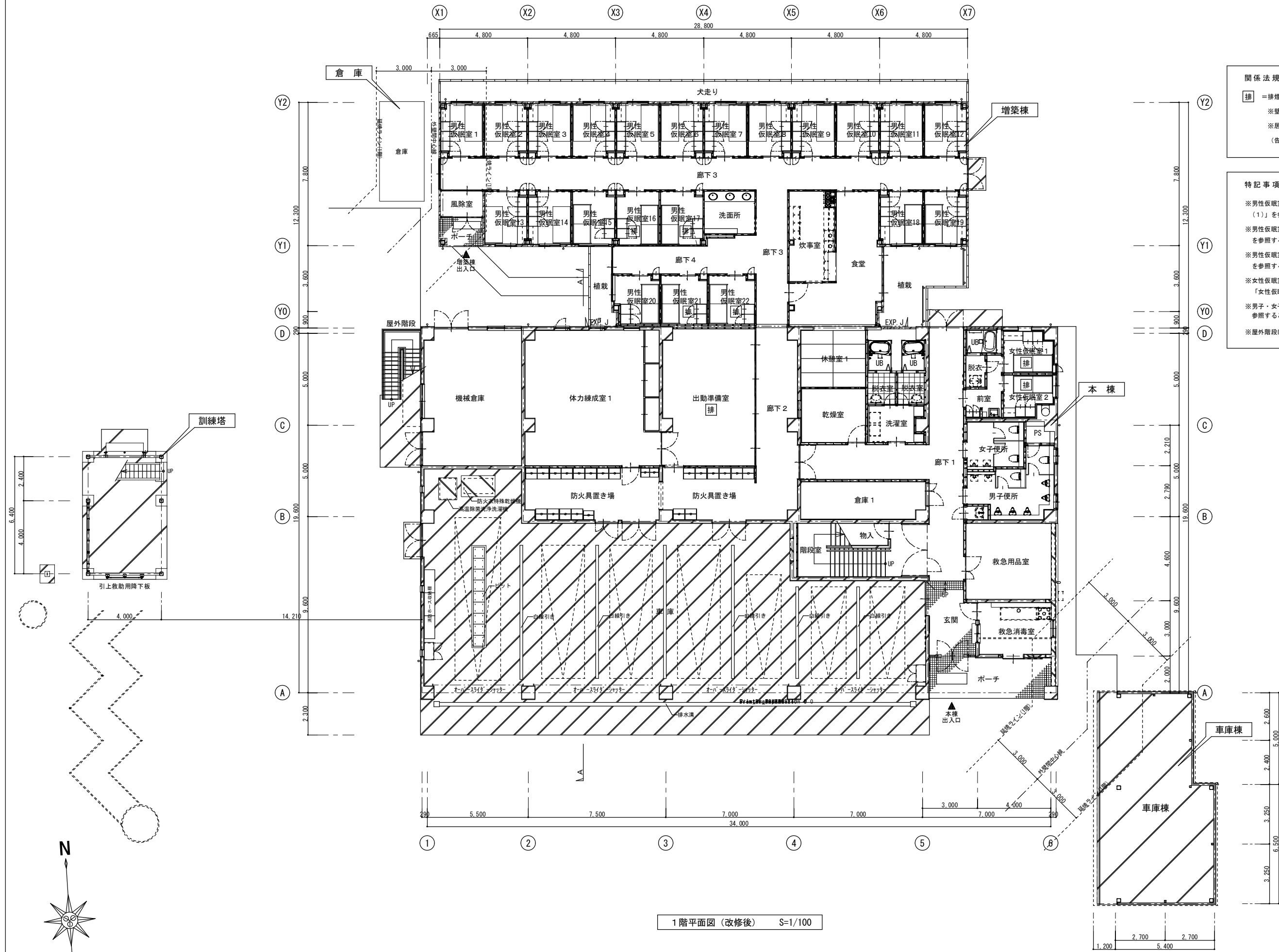
※機械室1について「女性仮眠室平面詳細図、展開図(1)(2)」を参照すること。

※男子・女子便所について「1階 便所平面詳細図、展開図」を参照すること。

※屋外階段について「屋外階段詳細図」を参照すること。

1階平面図(改修前) S=1/100

		設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮 尺	工 事 名 称	図 面 名 称	図面番号
		2025. 06		A1-1:100	庄和消防署大規模改修工事	1 階平面図（改修前）	A－14



関係法規 凡例

排 = 排煙上無窓の居室を示す

※壁・天井の仕上材と下地材を不燃材料とすること。

※居室の場合、100㎡以下に区画する。

(告示1436号による排煙設備の免除の条件)

特記事項

※男性仮眠室1～14, 18, 19について「男性仮眠室平面詳細図、展開図(1)」を参照すること。

※男性仮眠室15～17について「男性仮眠室平面詳細図、展開図(2)」を参照すること。

※男性仮眠室20～22について「男性仮眠室平面詳細図、展開図(3)」を参照すること。

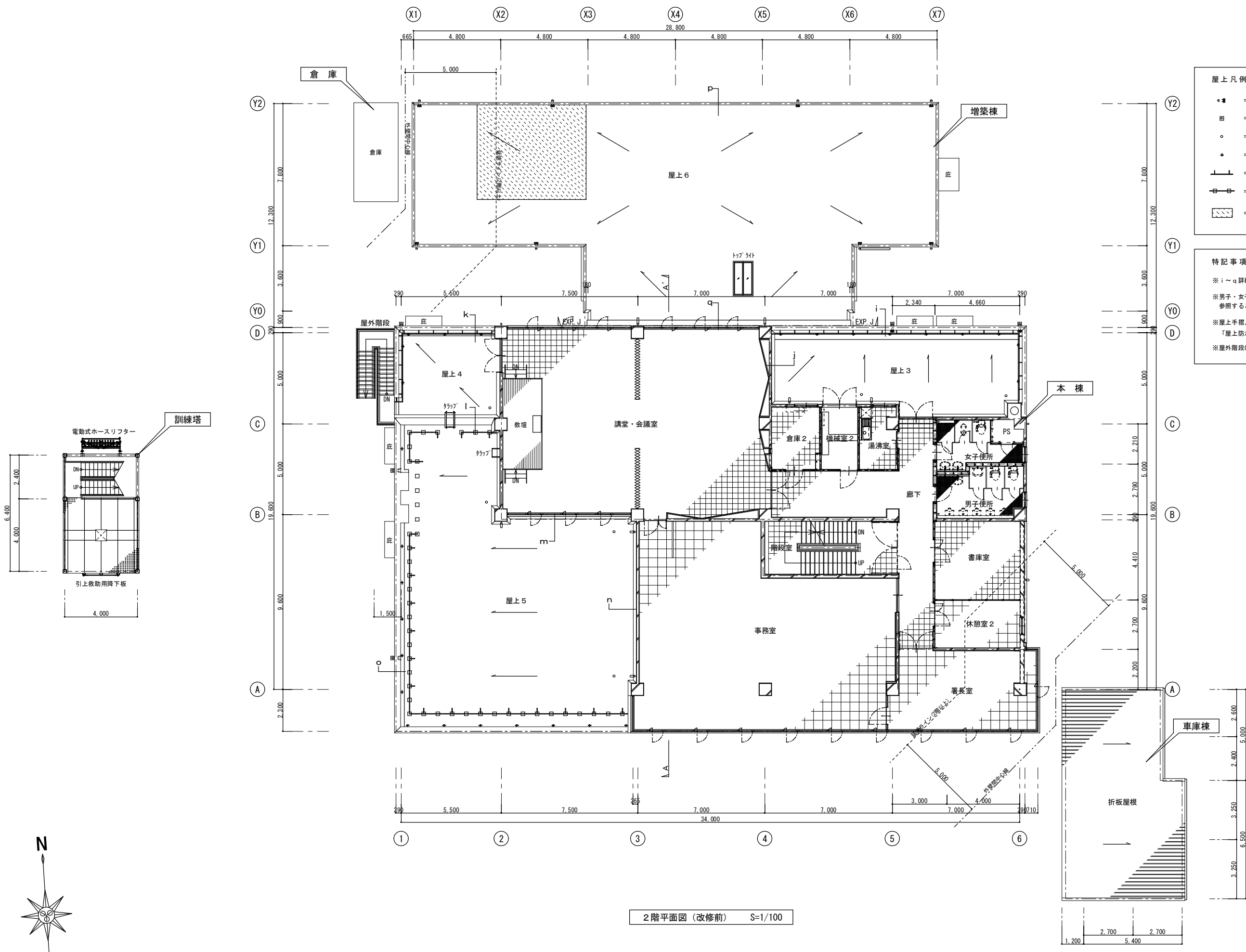
※女性仮眠室1・2、前室、脱衣、UBについて「女性仮眠室平面詳細図、展開図(1)(2)」を参照すること。

※男子・女子便所について「1階 便所平面詳細図、展開図」を参照すること。

※屋外階段について「屋外階段詳細図」を参照すること。

1階平面図 (改修後) S=1/100

	設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮 尺	工 事 名 称	図 面 名 称	図面番号
	2025. 06		A1-1:100	庄和消防署大規模改修工事	1 階平面図（改修後）	A－15
			A3-1:200			



屋上凡例

- = 横引きルーフトレン 撤去
- = 飾り樹 撤去
- = 脱気筒 撤去
- ✦ = 丸環 塗替
- +— = 屋上手摺 塗替
- = 屋上手摺 塗替
- ▨ = シート上に一部塗膜防水の範囲を示す

特記事項

※ i～q 詳細について「屋上防水詳細図(1)」を参照すること。

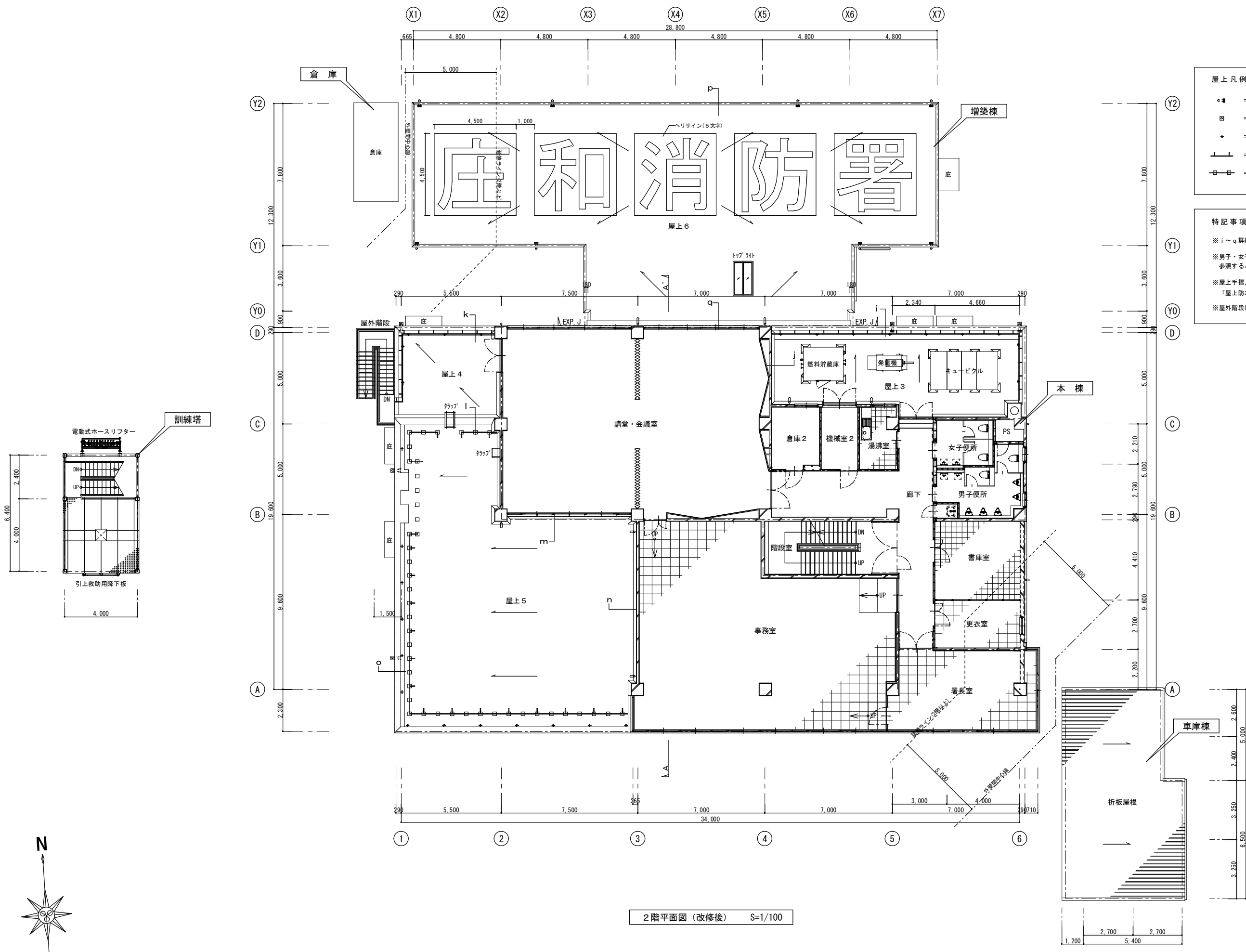
※ 男子・女子便所について「2階 便所平面詳細図、展開図」を参照すること。

※ 屋上手摺、丸環、トップライト、タラップについて「屋上防水詳細図(1)(2)」を参照すること。

※ 屋外階段について「屋外階段詳細図」を参照すること。

2階平面図(改修前) S=1/100

		設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
		2025. 06		A1-1:100 A3-1:200	庄和消防署大規模改修工事	2階平面図(改修前)	A-16



- 屋上凡例

 - = 横引き改修ドレン 新設
 - = 飾り樹 新設
 - = 丸環 塗替
 - = 屋上手摺 塗替
 - = 屋上手摺 塗替
- 特記事項

※ i～q 詳細について「屋上防水詳細図(1)」を参照すること。

※ 男子・女子便所について「2階 便所平面詳細図、展開図」を参照すること。

※ 屋上手摺、丸環、トップライト、ヘリサイン、タラップについて「屋上防水詳細図(1)(2)」を参照すること。

※ 屋外階段について「屋外階段詳細図」を参照すること。

2階平面図(改修後) S=1/100

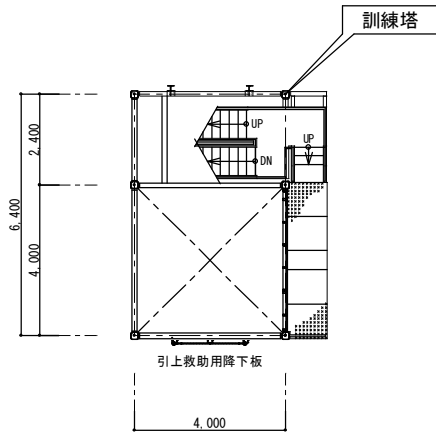
		設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
		2025. 06		A1-1:100 A3-1:200	庄和消防署大規模改修工事	2階平面図(改修後)	A-17

屋上凡例

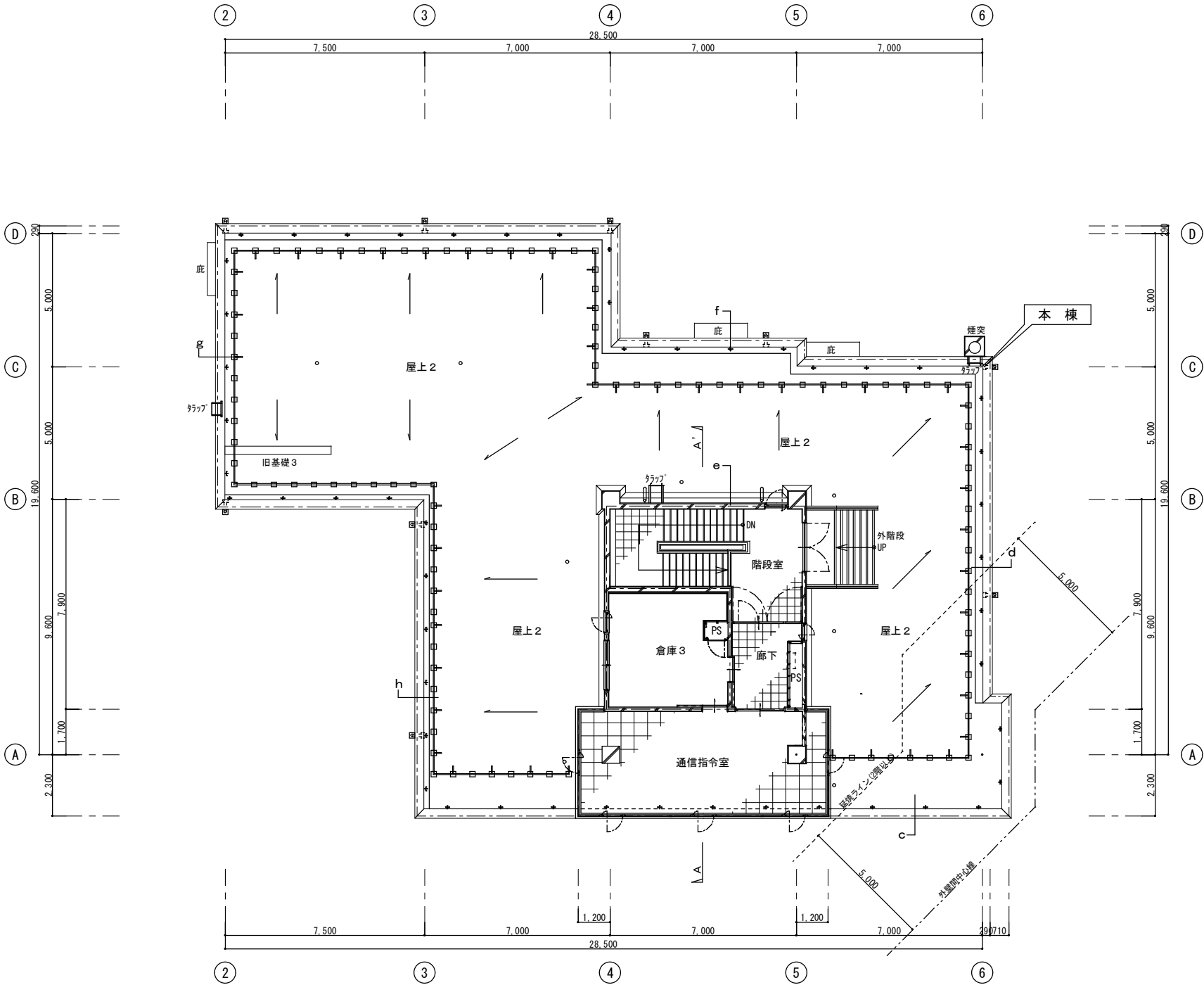
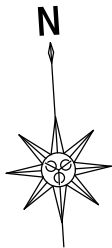
- = 横引きルーフトレン 撤去
- = 飾り樹 撤去
- = 脱気筒 撤去
- +
- = 屋上手摺 塗替

特記事項

- ※c～h詳細について「屋上防水詳細図(1)」を参照すること。
- ※屋上手摺、丸環、タラップ、基礎について「屋上防水詳細図(1),(2)」を参照すること。
- ※外階段について「雑詳細図(2)」を参照すること。
- ※煙突頂部 開口閉塞について「雑詳細図(3)」を参照すること。



中2階平面図 (改修前) S=1/100



3階平面図 (改修前) S=1/100

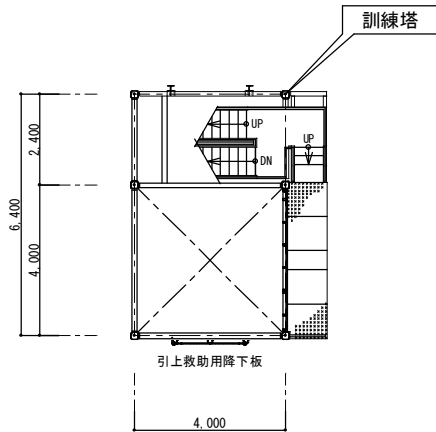
	設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
	2025. 06		A1-1:100 A3-1:200	庄和消防署大規模改修工事	3階平面図 (改修前)	A-18

屋上凡例

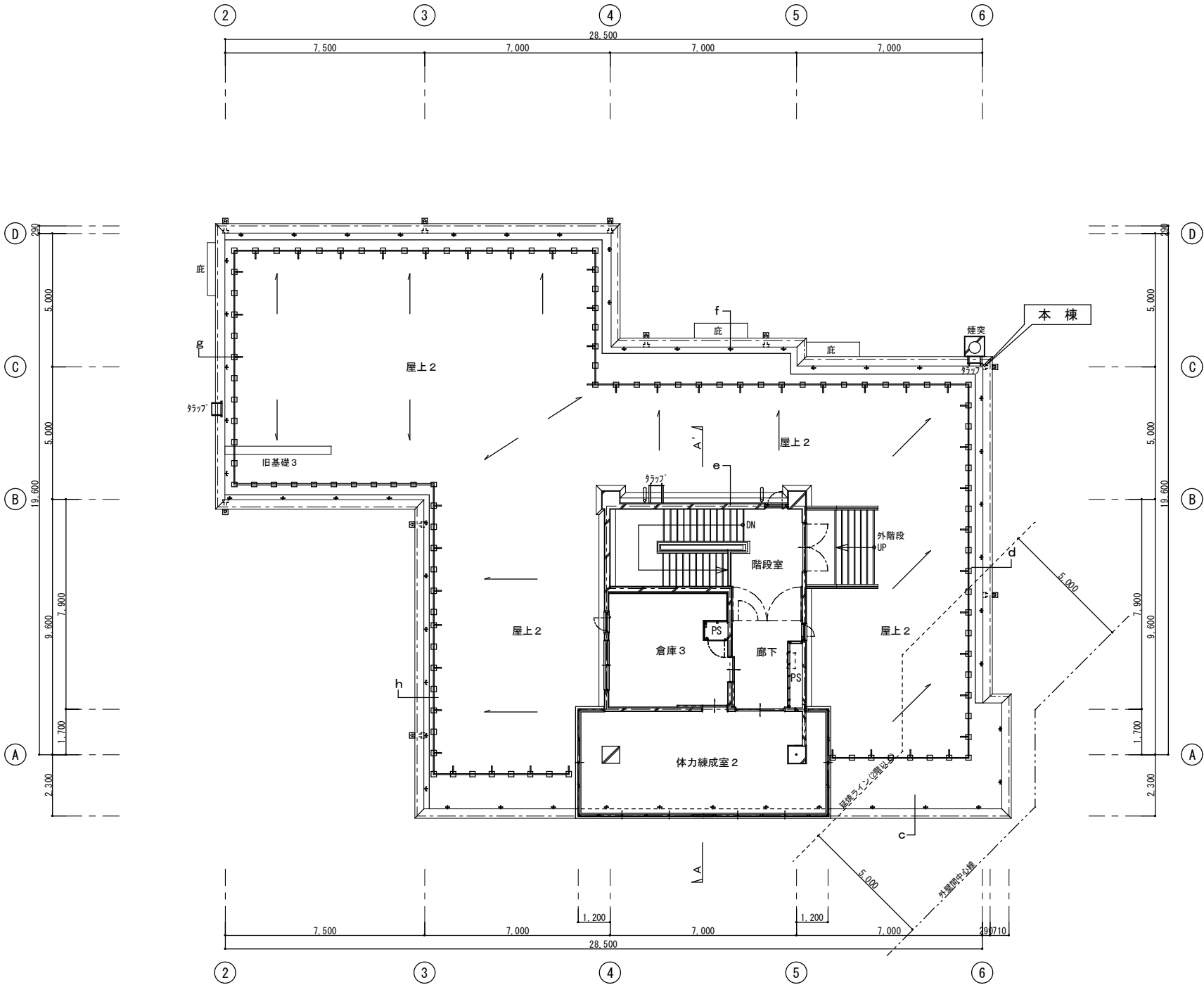
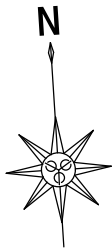
- = 横引き改修ドレン 新設
- = 飾り樹 新設
- ⊕ = 丸環 塗替
- ⊞ = 屋上手摺 塗替

特記事項

- ※c～h詳細について「屋上防水詳細図(1)」を参照すること。
- ※屋上手摺、丸環、タラップ、基礎について「屋上防水詳細図(1),(2)」を参照すること。
- ※外階段について「雑詳細図(2)」を参照すること。
- ※煙突頂部 開口閉塞について「雑詳細図(3)」を参照すること。



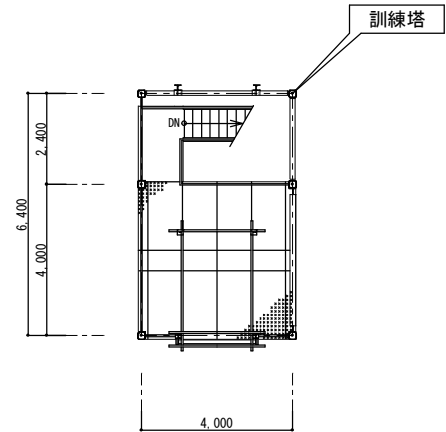
中2階平面図 (改修後) S=1/100



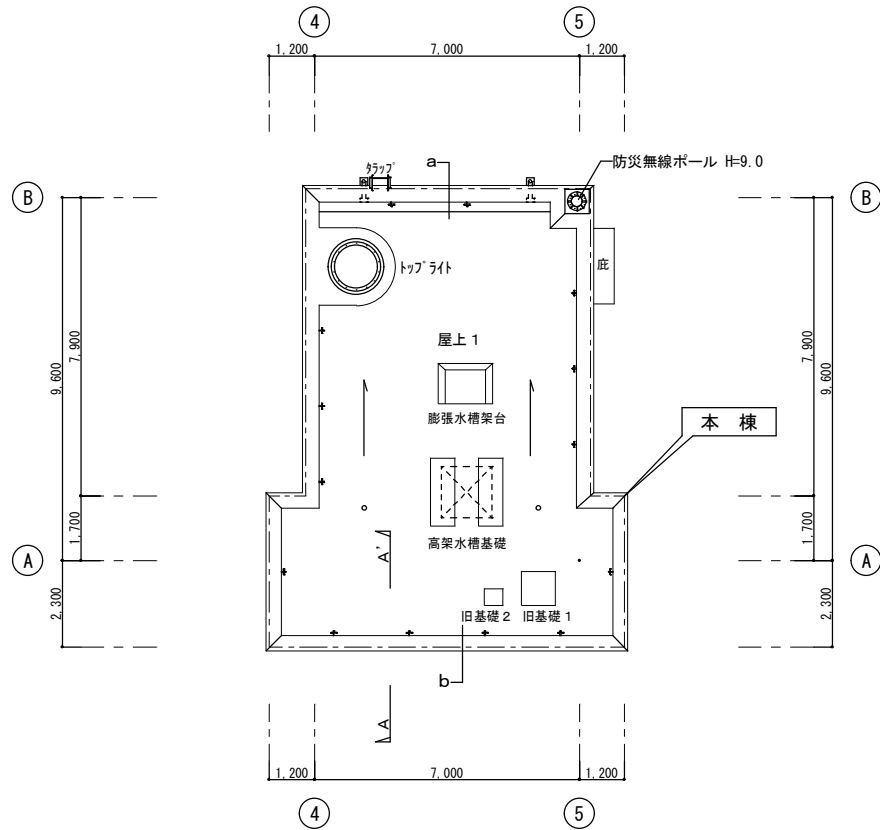
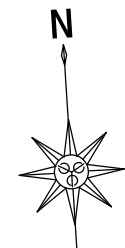
3階平面図 (改修後) S=1/100

	設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
	2025. 06		A1-1:100 A3-1:200	庄和消防署大規模改修工事	3階平面図 (改修後)	A-19

改修前



訓練塔 R階平面図（改修前） S=1/100



本棟 R階平面図（改修前） S=1/100

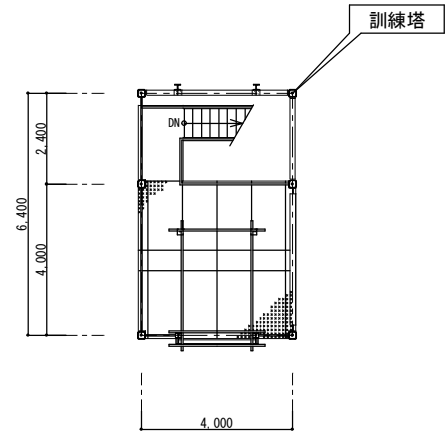
屋上 凡例

- = 横引きルーフドレン 撤去
- 田 = 飾り樹 撤去
- = 脱気筒 撤去
- ✦ = 丸環 塗替

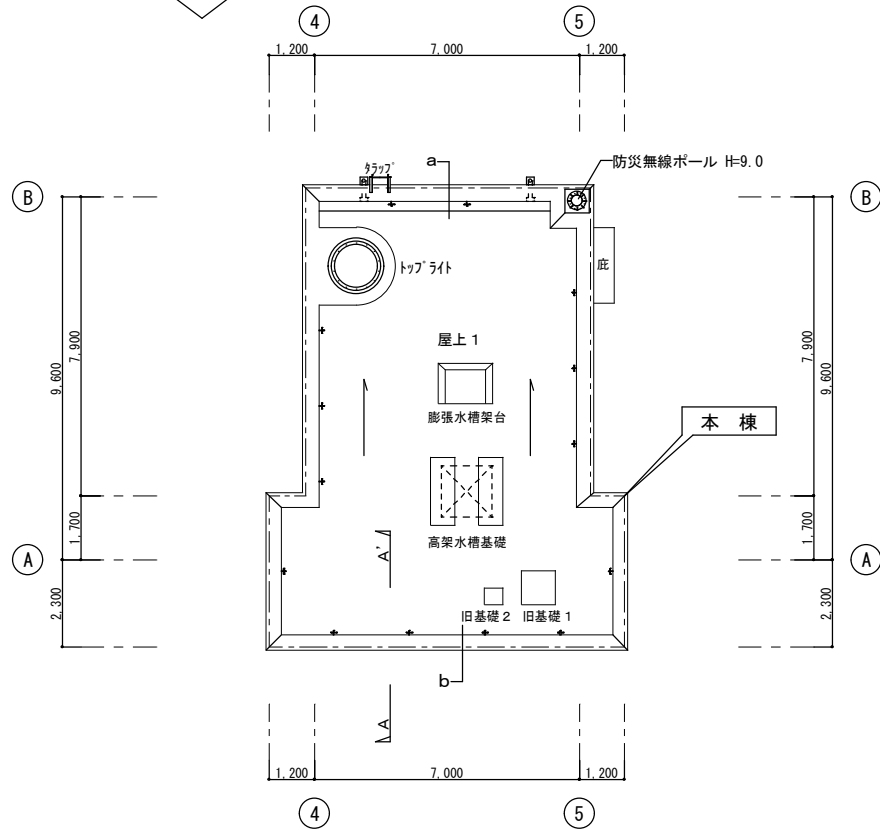
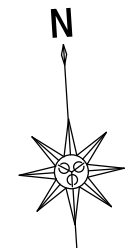
特記事項

※ a、b 詳細について「屋上防水詳細図（1）」を参照すること。
※ 丸環、基礎、膨張水槽架台、トッライト、タラップ、について「屋上防水詳細図（2）」を参照すること。

改修後



訓練塔 R階平面図（改修後） S=1/100



本棟 R階平面図（改修後） S=1/100

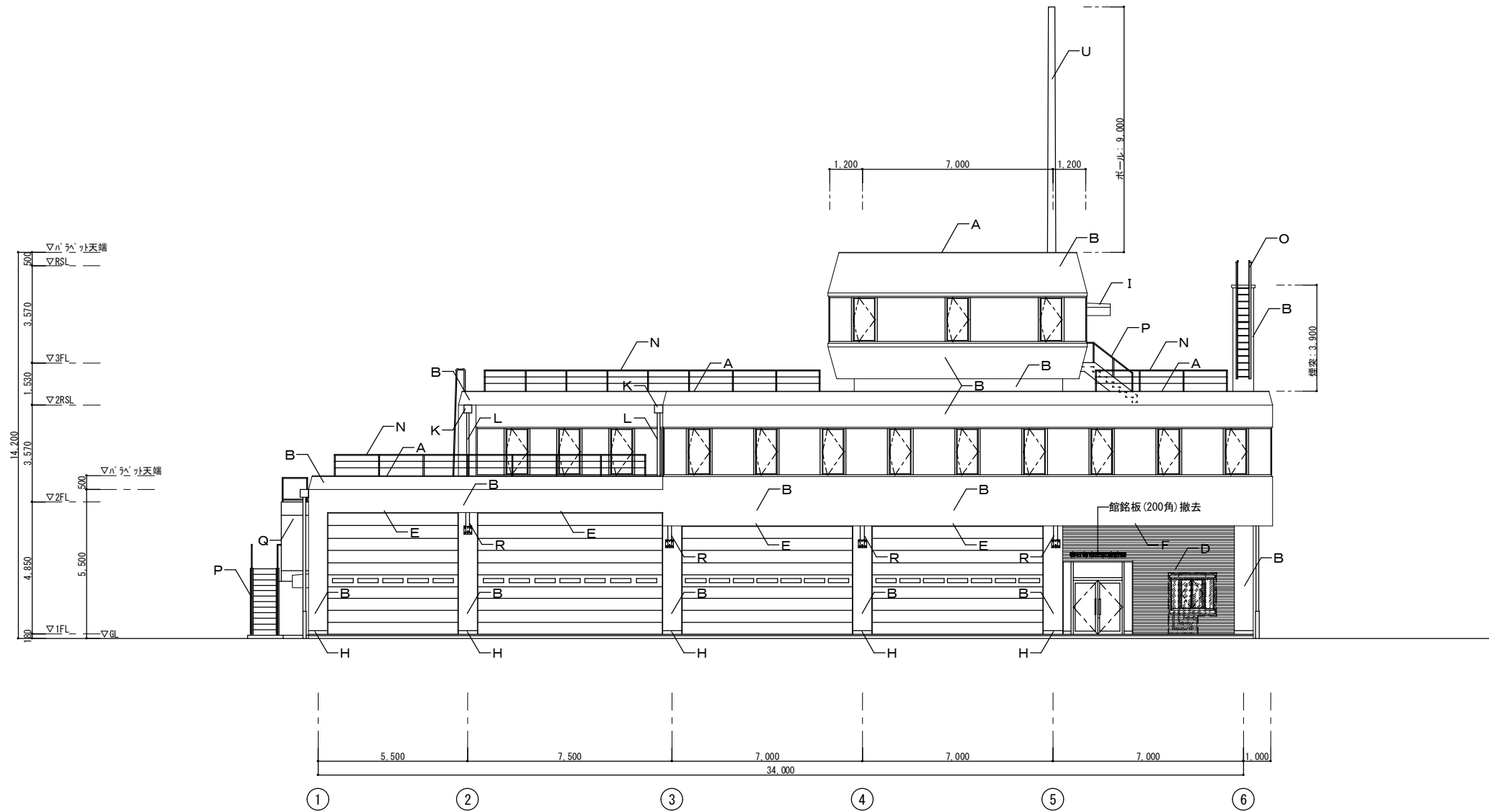
屋上 凡例

- = 横引き改修ドレン 新設
- 田 = 飾り樹 新設
- ✦ = 丸環 塗替

特記事項

※ a、b 詳細について「屋上防水詳細図（1）」を参照すること。
※ 丸環、基礎、膨張水槽架台、トッライト、タラップ、について「屋上防水詳細図（2）」を参照すること。

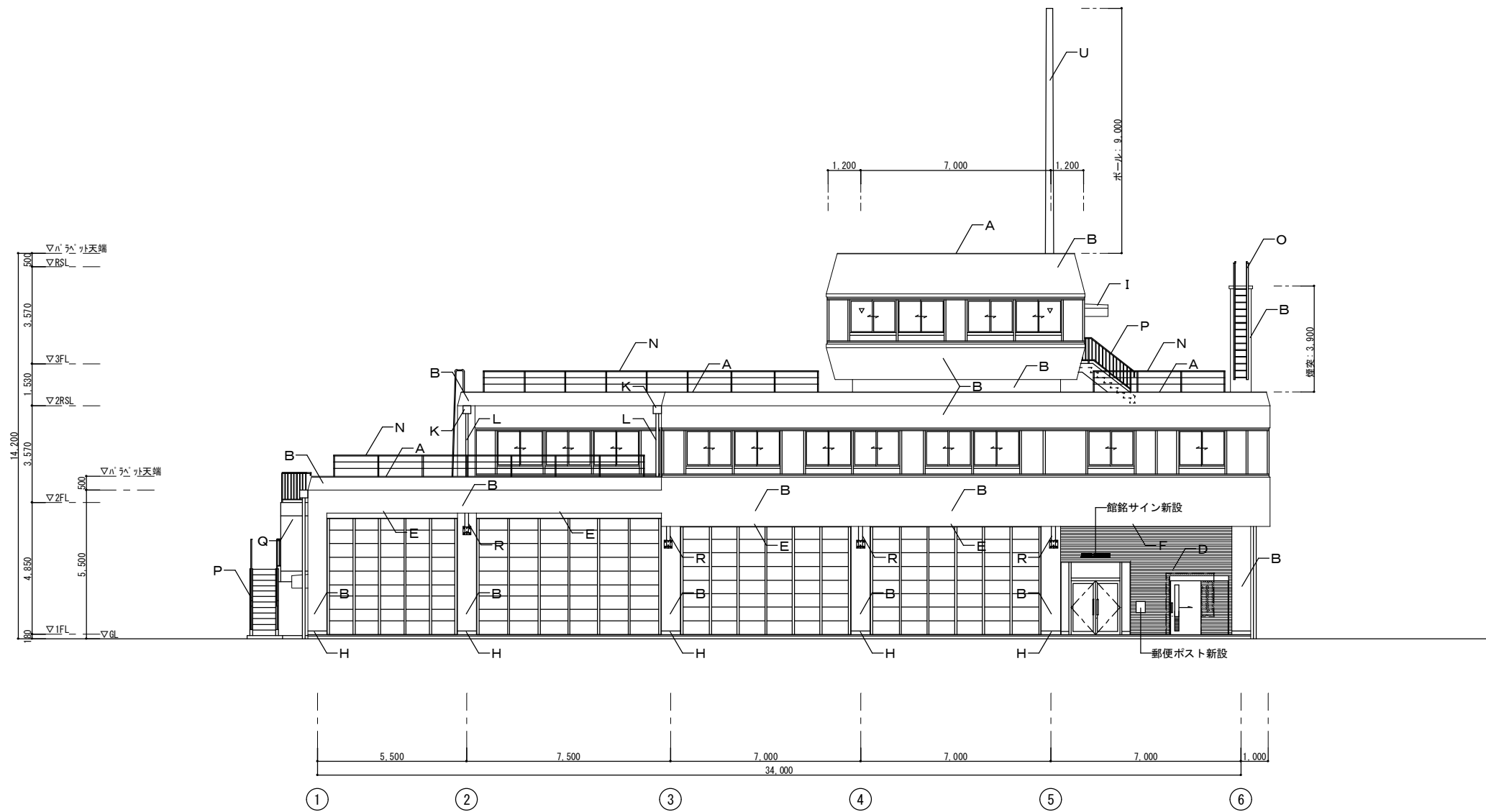
	設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
	2025. 06		A1-1:100 A3-1:200	庄和消防署大規模改修工事	R階平面図（改修前・後）	A-20



本棟 南側立面図 (改修前) S=1/100

本 棟 外 部 仕 上 表

記号	既 存 仕 上	撤 去 ・ 下 地 処 理	記号	既 存 仕 上	撤 去 ・ 下 地 処 理
A	笠木：防水モルタル金ゴテ、ウレタン塗膜防水 X-2工法	高圧水洗 (9.8～14.7Mpa)・清掃の上、下地用プライマー塗布し、塗膜防水 ※脆弱部はケレン等により撤去し、ウレタン防水厚塗り で補修を行う。	L	縦樋：VPカラーパイプφ100 (SUS製支持金物)	撤去 (支持金物共)
B	外壁：モルタル刷毛引き、可とう形改修塗材 R E、超耐候無機複合フッ素樹脂塗	高圧水洗 (9.8～14.7Mpa)・清掃の上、亀裂・浮き等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。	M	養生管：白ガス管 (SGP) φ125 下部H=1,000 (SUS製支持金物)	撤去 (支持金物共)
C	外壁：t=100 A L C 版 (ロッキング工法)、超耐候無機複合フッ素樹脂塗	高圧水洗 (9.8～14.7Mpa)・清掃の上、下地調整	N	手摺：スチール製 D P 塗	下地調整の上、錆止め、塗替
D	外壁：モルタル下地、レンガタイル張	撤去	O	タラップ：スチール製 D P 塗	下地調整の上、錆止め、塗替
E	軒裏：t=6フレキシブルボード目透し張 AEP-R塗、LGS下地	下地調整の上、塗替	P	屋外階段手摺：スチール製 D P 塗	撤去
F	軒裏：t=1.0アルミスバンドレル張、LGS下地	クリーニング (洗淨液を散布し、腐食錆・汚れを除去後、水洗い、拭取りの上、保護クリアー塗)	Q	屋外階段上裏：モルタル刷毛引き、可とう形改修塗材 R E、超耐候無機複合フッ素樹脂塗	高圧水洗 (9.8～14.7Mpa)・塗膜剥離剤塗布の上、亀裂・爆裂等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。
G	外巾木：モルタル刷毛引き、可とう形改修塗材 R E、超耐候無機複合フッ素樹脂塗	高圧水洗 (9.8～14.7Mpa)・清掃の上、亀裂・浮き等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。	R	耐震補強方柱：スチール現し D P 塗	下地調整の上、錆止め、塗替
H	柱巾木：人造石研出し H=150	高圧水洗 (9.8～14.7Mpa)・清掃の上、亀裂等の処理を行い、下地調整	S	耐震補強壁：コンクリート打放し、可とう形改修塗材 R E、超耐候無機複合フッ素樹脂塗	高圧水洗 (9.8～14.7Mpa)・清掃の上、亀裂等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。
I	庇：防水モルタル金ゴテ、ウレタン塗膜防水 X-2工法	高圧水洗 (9.8～14.7Mpa)・清掃の上、下地用プライマー塗布し、塗膜防水 ※脆弱部はケレン等により撤去し、ウレタン防水厚塗り で補修を行う。	T	電気配管：D P 塗	下地調整の上、錆止め、塗替
J	梁天端：防水モルタル金ゴテ、ウレタン塗膜防水 X-2工法	高圧水洗 (9.8～14.7Mpa)・清掃の上、下地用プライマー塗布し、塗膜防水 ※脆弱部はケレン等により撤去し、ウレタン防水厚塗り で補修を行う。	U	バンザーマストポール (防災無線)	既存のまま
K	飾り拵：塩ビ製 角マス中型 (VP100用)	撤去	▷	構造スリット (部分スリット)	下地調整の上、塗替



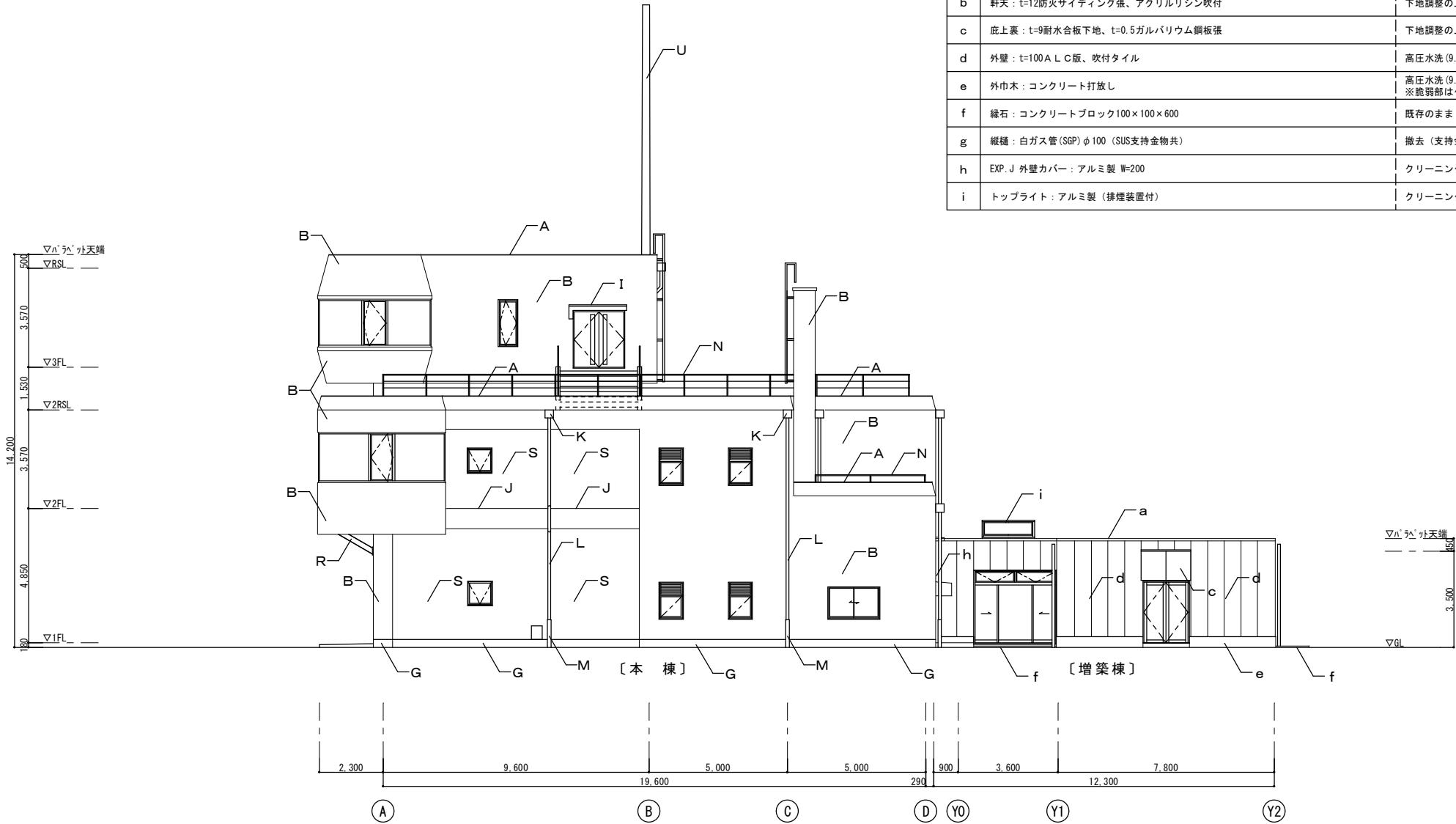
本棟 南側立面図 (改修後) S=1/100

本棟 外部仕上表

記号	改修後（新設）仕上	記号	改修後（新設）仕上
A	笠木：プライマー処理の上、ウレタン塗膜防水 X-2工法 新設	L	縦樋：カラー硬質塩ビ管φ100（SUS製支持金物） 新設
B	外壁：下地調整の上、可とう形改修塗材RE 上塗フッ素	M	－
C	外壁：下地調整の上、可とう形改修塗材RE 上塗フッ素	N	手摺：下地調整の上、錆止め、DP塗
D	外壁：モルタル下地、レンガタイル張 新設	O	タラップ：下地調整の上、錆止め、DP塗
E	軒裏：下地調整の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗 新設	P	屋外階段手摺：ステンレス製 新設
F	－	Q	屋外階段上裏：下地調整C－2の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗 新設
G	外巾木：下地調整の上、可とう形改修塗材RE 上塗フッ素	R	耐震補強方柱：下地調整の上、錆止め、DP塗
H	柱巾木：下地調整の上 上塗フッ素	S	耐震補強壁：下地調整の上、可とう形改修塗材RE 上塗フッ素
I	底：プライマー処理の上、ウレタン塗膜防水 X-2工法 新設	T	電気配管：下地調整の上、錆止め、DP塗
J	梁天端：プライマー処理の上、ウレタン塗膜防水 X-2工法 新設	U	－
K	飾り拵：塩ビ製 角マス中型 (VP100用) エキスバンドメタル蓋付 新設	▷	構造スリット（部分スリット）：下地調整の上、上塗フッ素

増 築 棟 外 部 仕 上 表

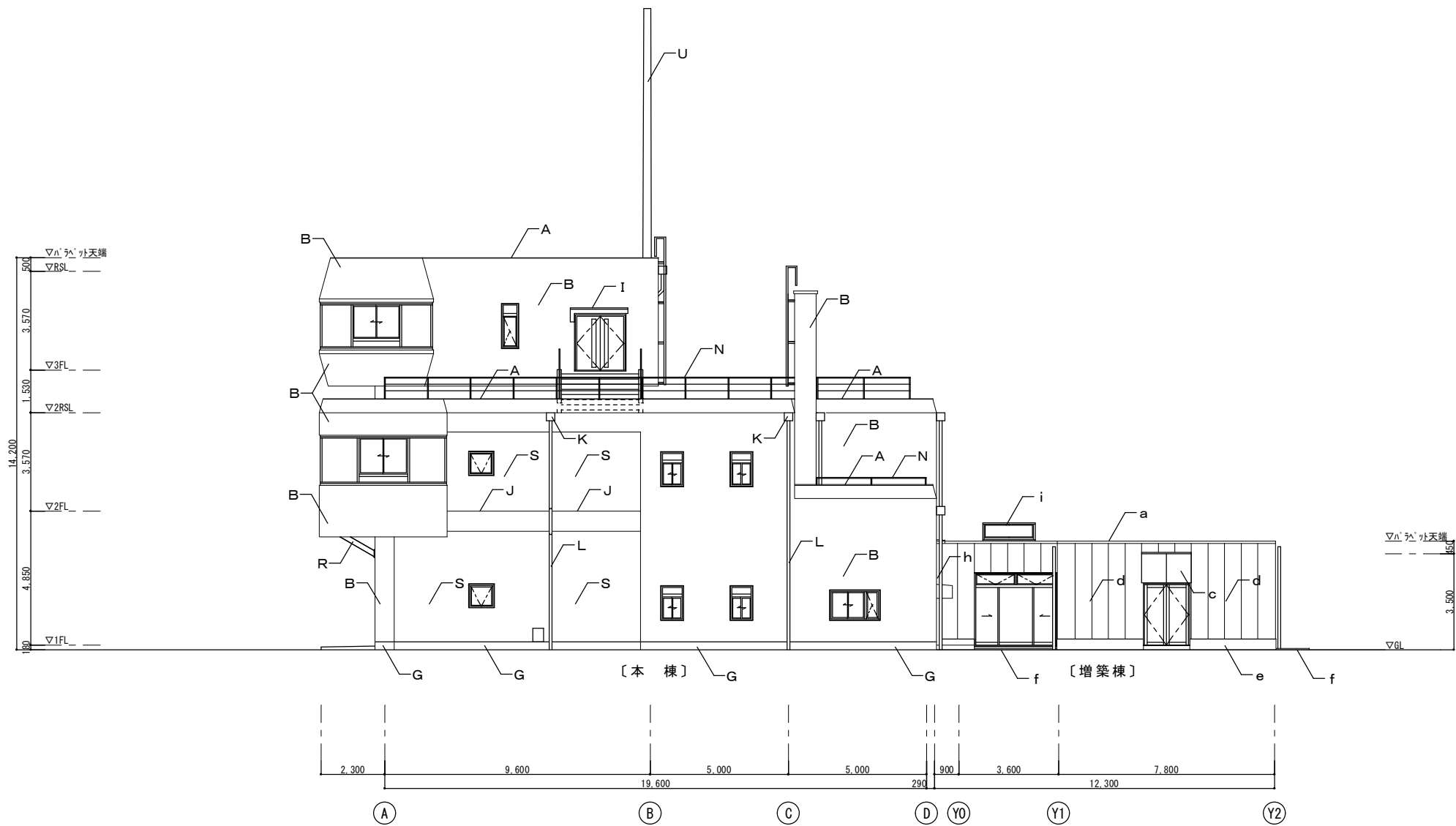
記号	既 存 仕 上	撤 去 ・ 下 地 処 理
a	笠木：カラーアルミ製	取外し、クリーニング、再取付
b	軒天：t=12防火サイディング張、アクリルリシン吹付	下地調整の上、塗装
c	底上裏：t=9耐水合板下地、t=0.5ガルバリウム鋼板張	下地調整の上、塗装
d	外壁：t=100A L C版、吹付タイル	高圧水洗（9.8～14.7Mpa）・清掃の上、下地調整
e	外巾木：コンクリート打放し	高圧水洗（9.8～14.7Mpa）・清掃の上、亀裂等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。
f	縁石：コンクリートブロック100×100×600	既存のまま
g	縦樋：白ガス管（SGP）φ100（SUS支持金物共）	撤去（支持金物共）
h	EXP. J 外壁カバー：アルミ製 W=200	クリーニング
i	トップライト：アルミ製（排煙装置付）	クリーニング（ガラス共）、建具点検調整、建具廻りシーリング撤去



本棟・増築棟 東側立面図（改修前） S=1/100

本 棟 外 部 仕 上 表

記号	既 存 仕 上	撤 去 ・ 下 地 処 理	記号	既 存 仕 上	撤 去 ・ 下 地 処 理
A	笠木：防水モルタル金ゴテ、ウレタン塗膜防水 X-2工法	高圧水洗（9.8～14.7Mpa）・清掃の上、下地用プライマー塗布し、塗膜防水 ※脆弱部はケレン等により撤去し、ウレタン防水厚塗り で補修を行う。	L	縦樋：VPカラーパイプ φ100（SUS製支持金物）	撤去（支持金物共）
B	外壁：モルタル刷毛引き、可とう形改修塗材 R E、超耐候無機複合フッ素樹脂塗	高圧水洗（9.8～14.7Mpa）・清掃の上、亀裂・浮き等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。	M	養生管：白ガス管（SGP）φ125 下部H=1,000（SUS製支持金物）	撤去（支持金物共）
C	外壁：t=100A L C版（ロッキング工法）、超耐候無機複合フッ素樹脂塗	高圧水洗（9.8～14.7Mpa）・清掃の上、下地調整	N	手摺：スチール製 D P 塗	下地調整の上、錆止め、塗替
D	外壁：モルタル下地、レンガタイル張	撤去	O	タラップ：スチール製 D P 塗	下地調整の上、錆止め、塗替
E	軒裏：t=6フレキシブルボード目透し張 AEP-R塗、LGS下地	下地調整の上、塗替	P	屋外階段手摺：スチール製 D P 塗	撤去
F	軒裏：t=1.0アルミスバンドレル張、LGS下地	クリーニング （洗浄液を散布し、腐食錆・汚れを除去後、水洗い、拭取りの上、保護クリアー塗）	Q	屋外階段上裏：モルタル刷毛引き、可とう形改修塗材 R E、超耐候無機複合フッ素樹脂塗	高圧水洗（9.8～14.7Mpa）・塗膜剥離剤塗布の上、亀裂・爆裂等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。
G	外巾木：モルタル刷毛引き、可とう形改修塗材 R E、超耐候無機複合フッ素樹脂塗	高圧水洗（9.8～14.7Mpa）・清掃の上、亀裂・浮き等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。	R	耐震補強方柱：スチール現し D P 塗	下地調整の上、錆止め、塗替
H	柱巾木：人造石研出し H=150	高圧水洗（9.8～14.7Mpa）・清掃の上、亀裂等の処理を行い、下地調整	S	耐震補強壁：コンクリート打放し、可とう形改修塗材 R E、超耐候無機複合フッ素樹脂塗	高圧水洗（9.8～14.7Mpa）・清掃の上、亀裂等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。
I	庇：防水モルタル金ゴテ、ウレタン塗膜防水 X-2工法	高圧水洗（9.8～14.7Mpa）・清掃の上、下地用プライマー塗布し、塗膜防水 ※脆弱部はケレン等により撤去し、ウレタン防水厚塗り で補修を行う。	T	電気配管：D P 塗	下地調整の上、錆止め、塗替
J	梁天端：防水モルタル金ゴテ、ウレタン塗膜防水 X-2工法	高圧水洗（9.8～14.7Mpa）・清掃の上、下地用プライマー塗布し、塗膜防水 ※脆弱部はケレン等により撤去し、ウレタン防水厚塗り で補修を行う。	U	バンザーマストポール（防災無線）	既存のまま
K	飾り拵：塩ビ製 角マス中型（VP100用）	撤去	▷	構造スリット（部分スリット）	下地調整の上、塗替



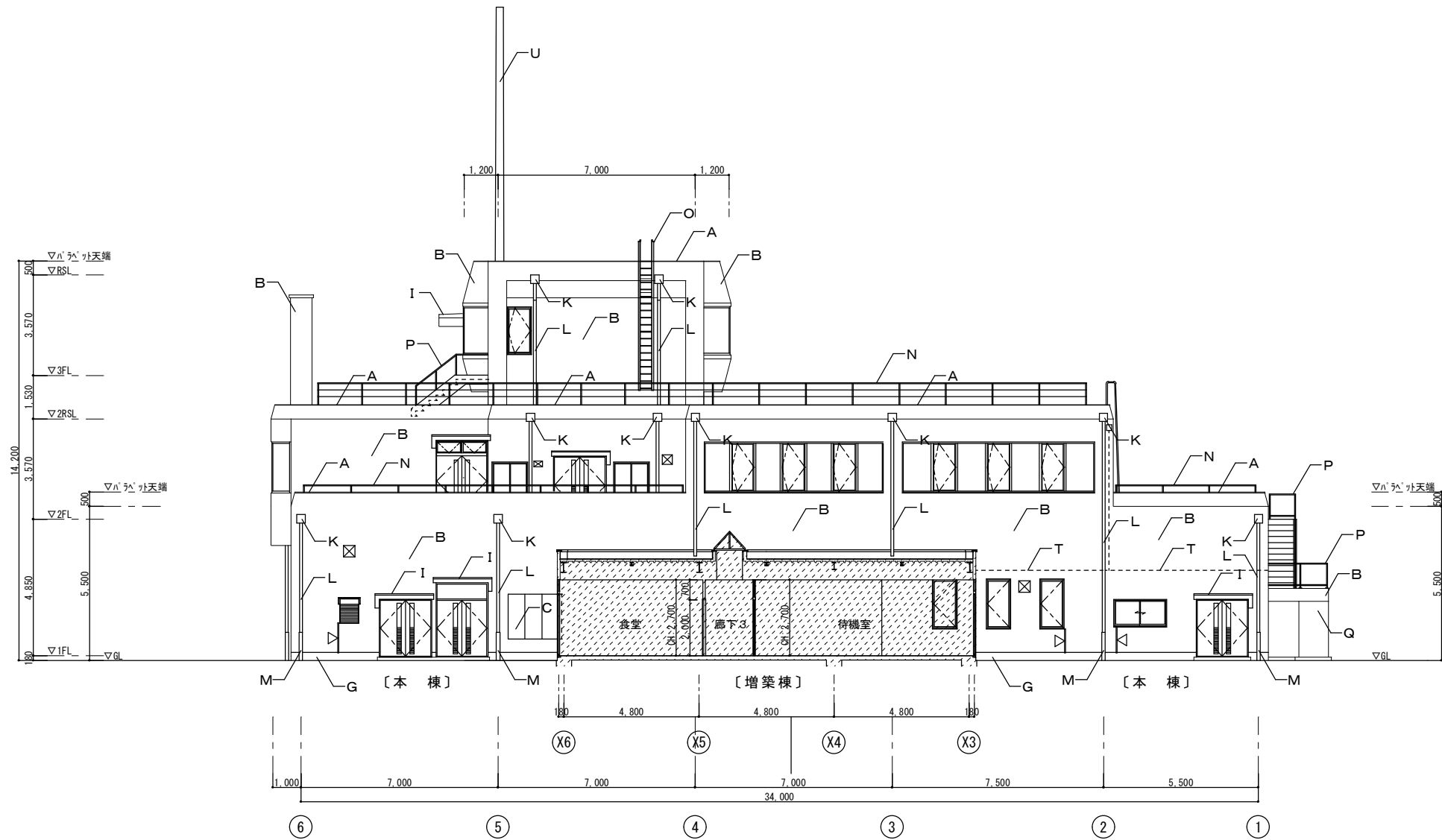
本棟・増築棟 東側立面図（改修後） S=1/100

本棟 外部仕上表

記号	改修後（新設）仕上	記号	改修後（新設）仕上
A	笠木：プライマー処理の上、ウレタン塗膜防水 X-2工法 新設	L	縦樋：カラー硬質塩ビ管φ100（SUS製支持金物） 新設
B	外壁：下地調整の上、可とう形改修塗材 R E 上塗フッ素	M	－
C	外壁：下地調整の上、可とう形改修塗材 R E 上塗フッ素	N	手摺：下地調整の上、錆止め、D P 塗
D	外壁：モルタル下地、レンガタイル張 新設	O	タラップ：下地調整の上、錆止め、D P 塗
E	軒裏：下地調整の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗 新設	P	屋外階段手摺：ステンレス製 新設
F	－	Q	屋外階段上裏：下地調整 C－2 の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗 新設
G	外巾木：下地調整の上、可とう形改修塗材 R E 上塗フッ素	R	耐震補強方杖：下地調整の上、錆止め、D P 塗
H	柱巾木：下地調整の上 上塗フッ素	S	耐震補強壁：下地調整の上、可とう形改修塗材 R E 上塗フッ素
I	庇：プライマー処理の上、ウレタン塗膜防水 X-2工法 新設	T	電気配管：下地調整の上、錆止め、D P 塗
J	梁天端：プライマー処理の上、ウレタン塗膜防水 X-2工法 新設	U	－
K	飾り拵：塩ビ製 角マス中型 (VP100用) エキスバンドメタル蓋付 新設	▷	構造スリット（部分スリット）：下地調整の上、上塗フッ素

増築棟 外部仕上表

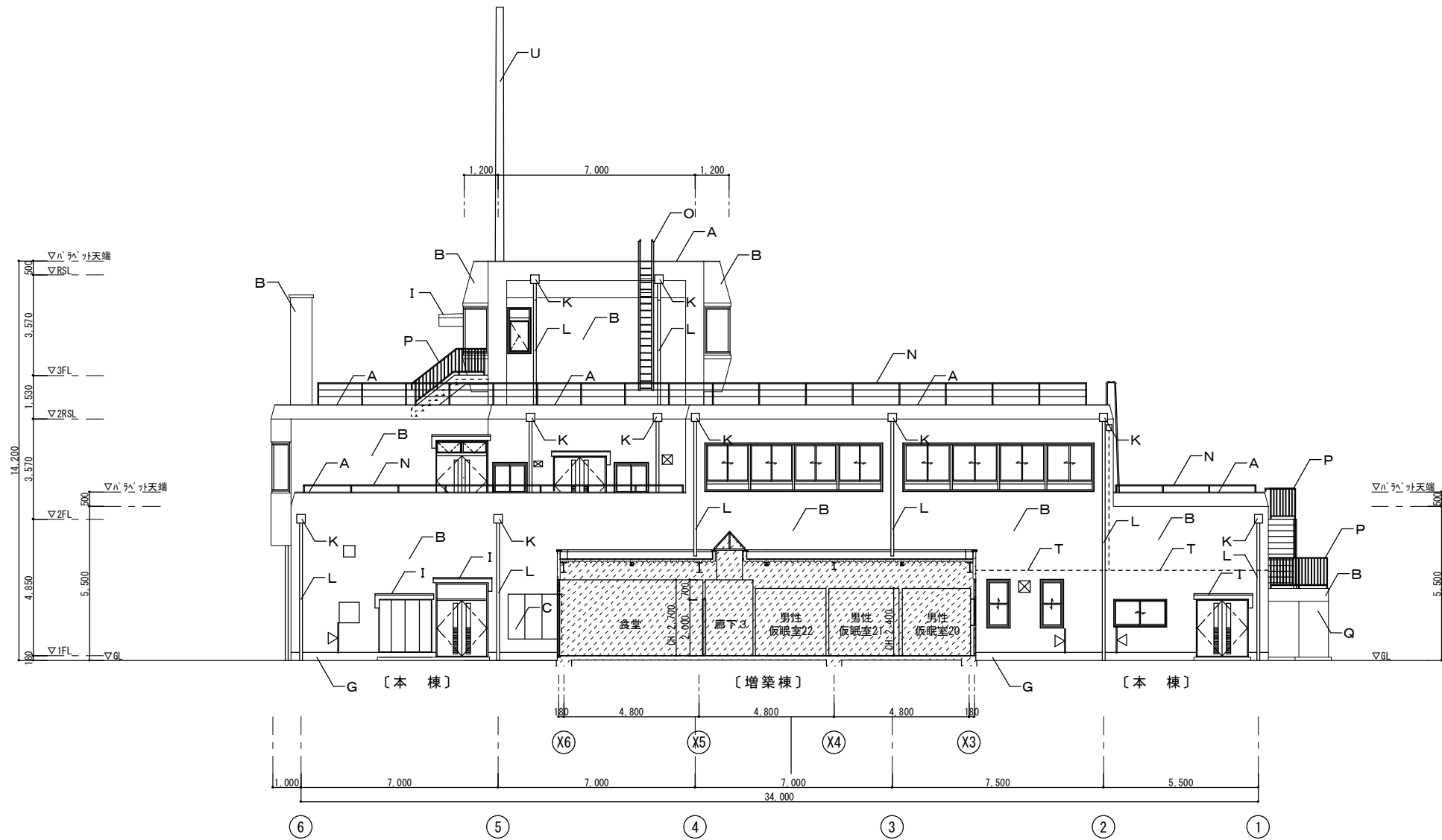
記号	改修後（新設）仕上
a	笠木：再取付
b	軒天：下地調整の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗
c	庇上裏：下地調整の上、フッ素樹脂塗
d	外壁：下地調整の上、防水形複層塗材 E
e	外巾木：下地調整の上、樹脂モルタルノロ引き
f	－
g	縦樋：カラー硬質塩ビ管φ100（SUS製支持金物）
h	－
i	トップライト：建具廻りシーリング 新設
j	－
k	外壁（隠壁）：t=100 A L C 版、防水形複層塗材 E 新設



本棟 北側立面図 (改修前) S=1/100

本 棟 外 部 仕 上 表

記号	既 存 仕 上	撤 去 ・ 下 地 処 理	記号	既 存 仕 上	撤 去 ・ 下 地 処 理
A	笠木：防水モルタル金ゴテ、ウレタン塗膜防水 X-2工法	高圧水洗 (9.8～14.7Mpa) ・ 清掃の上、下地用プライマー塗布し、塗膜防水 ※脆弱部はケレン等により撤去し、ウレタン防水厚塗り で補修を行う。	L	縦樋：VPカラーパイプφ100 (SUS製支持金物)	撤去 (支持金物共)
B	外壁：モルタル刷毛引き、可とう形改修塗材 R E、超耐候無機複合フッ素樹脂塗	高圧水洗 (9.8～14.7Mpa) ・ 清掃の上、亀裂・浮き等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。	M	養生管：白ガス管 (SGP) φ125 下部H=1,000 (SUS製支持金物)	撤去 (支持金物共)
C	外壁：t=100 A L C 版 (ロッキング工法)、超耐候無機複合フッ素樹脂塗	高圧水洗 (9.8～14.7Mpa) ・ 清掃の上、下地調整	N	手摺：スチール製 D P 塗	下地調整の上、錆止め、塗替
D	外壁：モルタル下地、レンガタイル張	撤去	O	タラップ：スチール製 D P 塗	下地調整の上、錆止め、塗替
E	軒裏：t=6フレキシブルボード目透し張 AEP-R塗、LGS下地	下地調整の上、塗替	P	屋外階段手摺：スチール製 D P 塗	撤去
F	軒裏：t=1.0アルミスバンドレル張、LGS下地	クリーニング (洗浄液を散布し、腐食錆・汚れを除去後、水洗い、拭取りの上、保護クリアー塗)	Q	屋外階段上裏：モルタル刷毛引き、可とう形改修塗材 R E、超耐候無機複合フッ素樹脂塗	高圧水洗 (9.8～14.7Mpa) ・ 塗膜剥離剤塗布の上、亀裂・爆裂等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。
G	外巾木：モルタル刷毛引き、可とう形改修塗材 R E、超耐候無機複合フッ素樹脂塗	高圧水洗 (9.8～14.7Mpa) ・ 清掃の上、亀裂・浮き等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。	R	耐震補強方柱：スチール現し D P 塗	下地調整の上、錆止め、塗替
H	柱巾木：人造石研出し H=150	高圧水洗 (9.8～14.7Mpa) ・ 清掃の上、亀裂等の処理を行い、下地調整	S	耐震補強壁：コンクリート打放し、可とう形改修塗材 R E、超耐候無機複合フッ素樹脂塗	高圧水洗 (9.8～14.7Mpa) ・ 清掃の上、亀裂等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。
I	庇：防水モルタル金ゴテ、ウレタン塗膜防水 X-2工法	高圧水洗 (9.8～14.7Mpa) ・ 清掃の上、下地用プライマー塗布し、塗膜防水 ※脆弱部はケレン等により撤去し、ウレタン防水厚塗り で補修を行う。	T	電気配管：D P 塗	下地調整の上、錆止め、塗替
J	梁天端：防水モルタル金ゴテ、ウレタン塗膜防水 X-2工法	高圧水洗 (9.8～14.7Mpa) ・ 清掃の上、下地用プライマー塗布し、塗膜防水 ※脆弱部はケレン等により撤去し、ウレタン防水厚塗り で補修を行う。	U	バンザーマストポール (防災無線)	既存のまま
K	飾り拵：塩ビ製 角マス中型 (VP100用)	撤去	▷	構造スリット (部分スリット)	下地調整の上、塗替



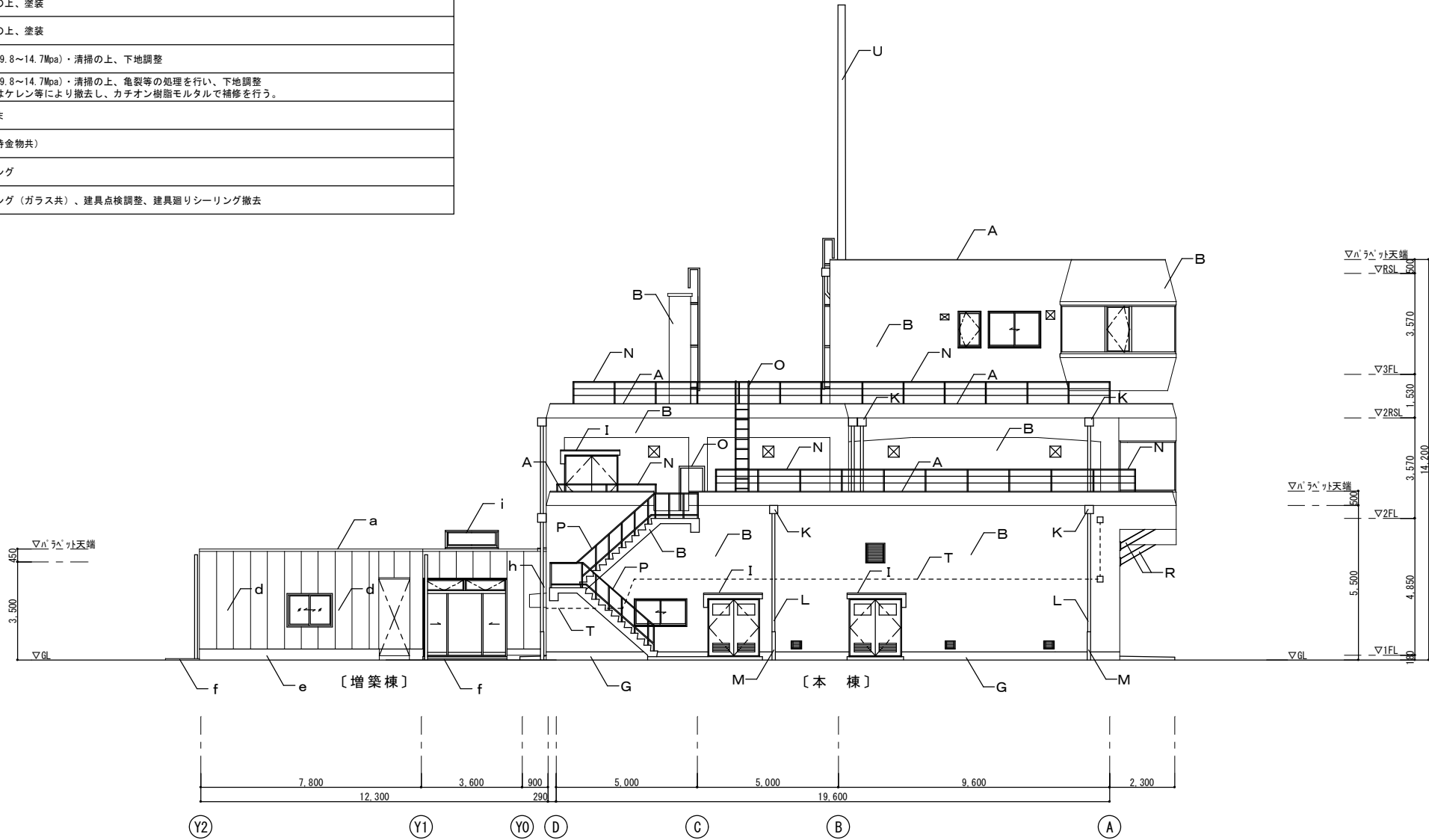
本棟 北側立面図（改修後） S=1/100

本棟 外部仕上表

記号	改修後（新設）仕上	記号	改修後（新設）仕上
A	笠木：プライマー処理の上、ウレタン塗膜防水 X-2工法 新設	L	縦樋：カラー硬質塩ビ管φ100（SUS製支持金物） 新設
B	外壁：下地調整の上、可とう形改修塗材RE 上塗フッ素	M	－
C	外壁：下地調整の上、可とう形改修塗材RE 上塗フッ素	N	手摺：下地調整の上、錆止め、DP塗
D	外壁：モルタル下地、レンガタイル張 新設	O	タラップ：下地調整の上、錆止め、DP塗
E	軒裏：下地調整の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗 新設	P	屋外階段手摺：ステンレス製 新設
F	－	Q	屋外階段上裏：下地調整C－2の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗 新設
G	外巾木：下地調整の上、可とう形改修塗材RE 上塗フッ素	R	耐震補強方杖：下地調整の上、錆止め、DP塗
H	柱巾木：下地調整の上 上塗フッ素	S	耐震補強壁：下地調整の上、可とう形改修塗材RE 上塗フッ素
I	底：プライマー処理の上、ウレタン塗膜防水 X-2工法 新設	T	電気配管：下地調整の上、錆止め、DP塗
J	梁天端：プライマー処理の上、ウレタン塗膜防水 X-2工法 新設	U	－
K	飾り拵：塩ビ製 角マス中型（VP100用）エキスパンドメタル蓋付 新設	▷	構造スリット（部分スリット）：下地調整の上、上塗フッ素

増 築 棟 外 部 仕 上 表

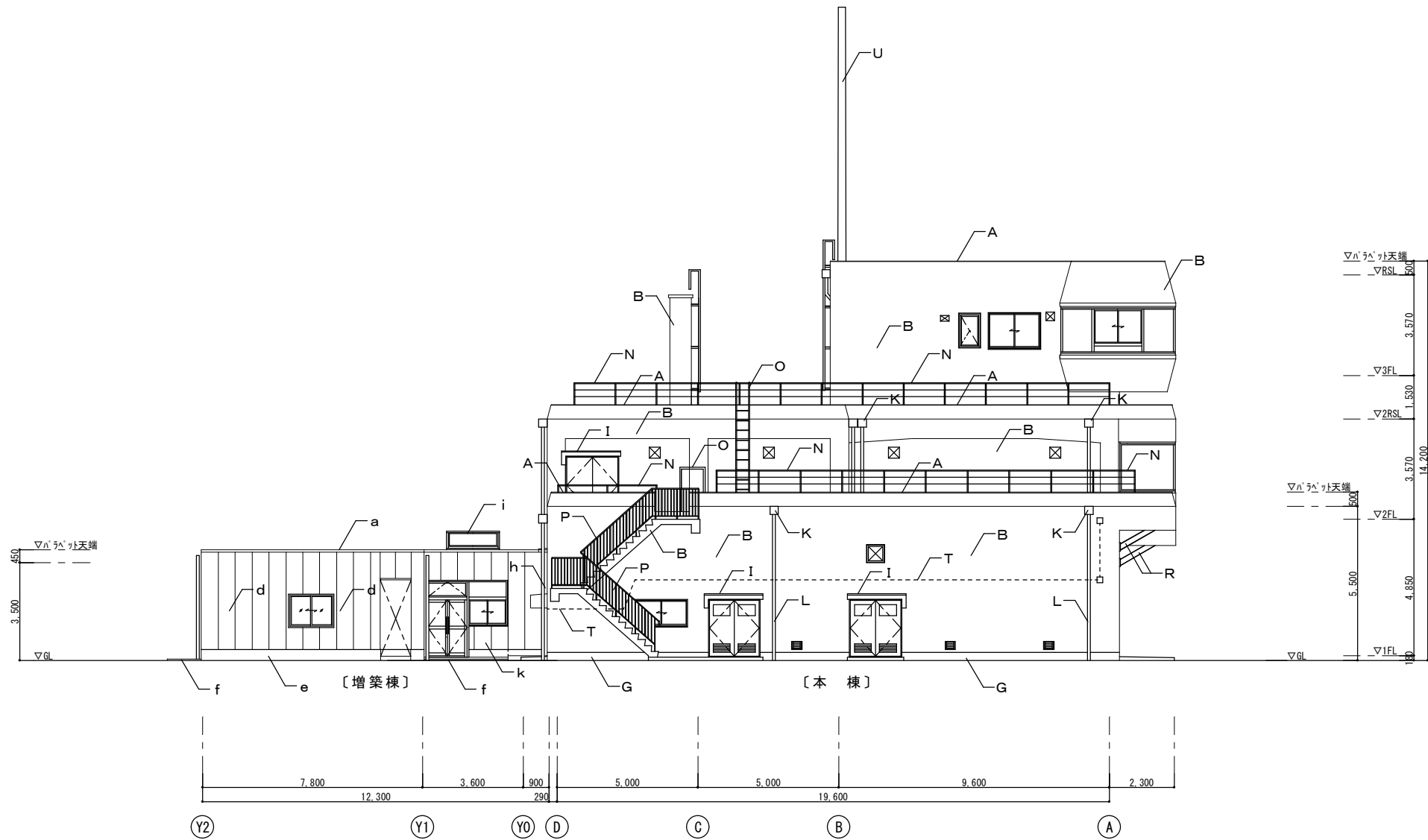
記号	既 存 仕 上	撤 去 ・ 下 地 処 理
a	笠木：カラーアルミ製	取外し、クリーニング、再取付
b	軒天：t=12防火サイディング張、アクリルリシン吹付	下地調整の上、塗装
c	庇上裏：t=9耐水合板下地、t=0.5ガルバリウム鋼板張	下地調整の上、塗装
d	外壁：t=100 A L C 版、吹付タイル	高圧水洗(9.8～14.7Mpa)・清掃の上、下地調整
e	外巾木：コンクリート打放し	高圧水洗(9.8～14.7Mpa)・清掃の上、亀裂等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。
f	縁石：コンクリートブロック100×100×600	既存のまま
g	縦樋：白ガス管 (SGP) φ100 (SUS支持金物共)	撤去 (支持金物共)
h	EXP. J 外壁カバー：アルミ製 W=200	クリーニング
i	トップライト：アルミ製 (排煙装置付)	クリーニング (ガラス共)、建具点検調整、建具廻りシーリング撤去



本棟・増築棟 西側立面図（改修前） S=1/100

本 棟 外 部 仕 上 表

記号	既 存 仕 上	撤 去 ・ 下 地 処 理	記号	既 存 仕 上	撤 去 ・ 下 地 処 理
A	笠木：防水モルタル金ゴテ、ウレタン塗膜防水 X-2工法	高圧水洗(9.8～14.7Mpa)・清掃の上、下地用プライマー塗布し、塗膜防水 ※脆弱部はケレン等により撤去し、ウレタン防水厚塗り で補修を行う。	L	縦樋：VPカラーパイプφ100 (SUS製支持金物)	撤去 (支持金物共)
B	外壁：モルタル刷毛引き、可とう形改修塗材 R E、超耐候無機複合フッ素樹脂塗	高圧水洗(9.8～14.7Mpa)・清掃の上、亀裂・浮き等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。	M	養生管：白ガス管 (SGP) φ125 下部H=1,000 (SUS製支持金物)	撤去 (支持金物共)
C	外壁：t=100 A L C 版 (ロッキング工法)、超耐候無機複合フッ素樹脂塗	高圧水洗(9.8～14.7Mpa)・清掃の上、下地調整	N	手摺：スチール製 D P 塗	下地調整の上、錆止め、塗替
D	外壁：モルタル下地、レンガタイル張	撤去	O	タラップ：スチール製 D P 塗	下地調整の上、錆止め、塗替
E	軒裏：t=6フレキシブルボード目透し張 AEP-R塗、LGS下地	下地調整の上、塗替	P	屋外階段手摺：スチール製 D P 塗	撤去
F	軒裏：t=1.0アルミスバンドレラ張、LGS下地	クリーニング (洗浄液を散布し、腐食錆・汚れを除去後、水洗い、拭取りの上、保護クリアー塗)	Q	屋外階段上裏：モルタル刷毛引き、可とう形改修塗材 R E、超耐候無機複合フッ素樹脂塗	高圧水洗(9.8～14.7Mpa)・塗膜剝離剤塗布の上、亀裂・爆裂等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。
G	外巾木：モルタル刷毛引き、可とう形改修塗材 R E、超耐候無機複合フッ素樹脂塗	高圧水洗(9.8～14.7Mpa)・清掃の上、亀裂・浮き等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。	R	耐震補強方柱：スチール現し D P 塗	下地調整の上、錆止め、塗替
H	柱巾木：人造石研出し H=150	高圧水洗(9.8～14.7Mpa)・清掃の上、亀裂等の処理を行い、下地調整	S	耐震補強壁：コンクリート打放し、可とう形改修塗材 R E、超耐候無機複合フッ素樹脂塗	高圧水洗(9.8～14.7Mpa)・清掃の上、亀裂等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。
I	庇：防水モルタル金ゴテ、ウレタン塗膜防水 X-2工法	高圧水洗(9.8～14.7Mpa)・清掃の上、下地用プライマー塗布し、塗膜防水 ※脆弱部はケレン等により撤去し、ウレタン防水厚塗り で補修を行う。	T	電気配管：D P 塗	下地調整の上、錆止め、塗替
J	梁天端：防水モルタル金ゴテ、ウレタン塗膜防水 X-2工法	高圧水洗(9.8～14.7Mpa)・清掃の上、下地用プライマー塗布し、塗膜防水 ※脆弱部はケレン等により撤去し、ウレタン防水厚塗り で補修を行う。	U	バンザーマストポール (防災無線)	既存のまま
K	飾り拵：塩ビ製 角マス中型 (VP100用)	撤去	▷	構造スリット (部分スリット)	下地調整の上、塗替



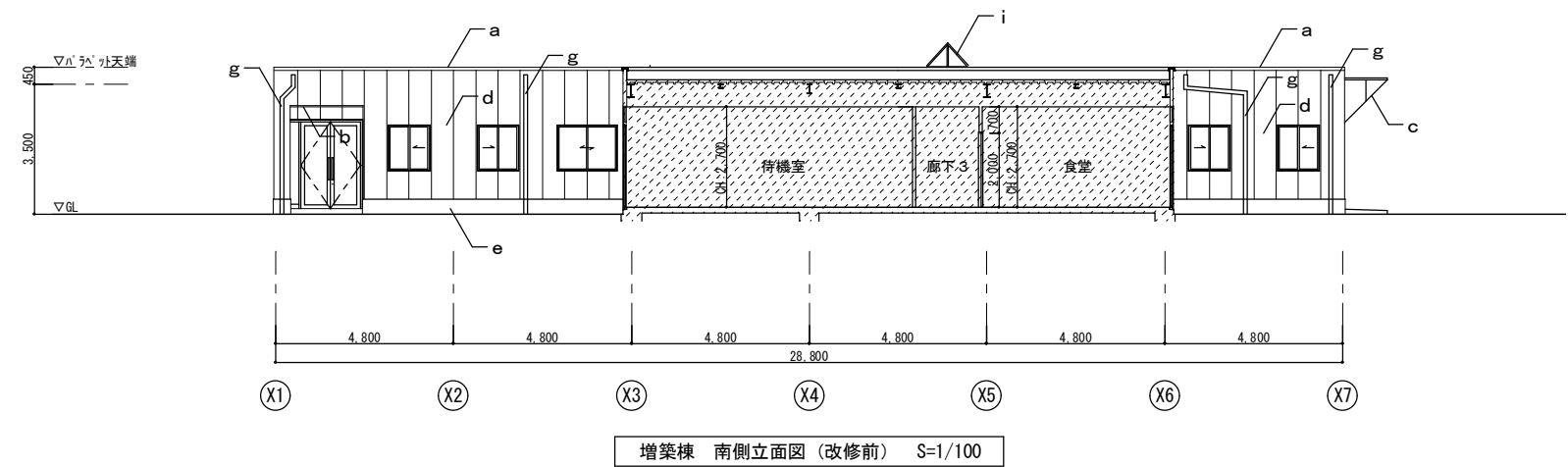
本棟・増築棟 西側立面図（改修後） S=1/100

本 棟 外 部 仕 上 表

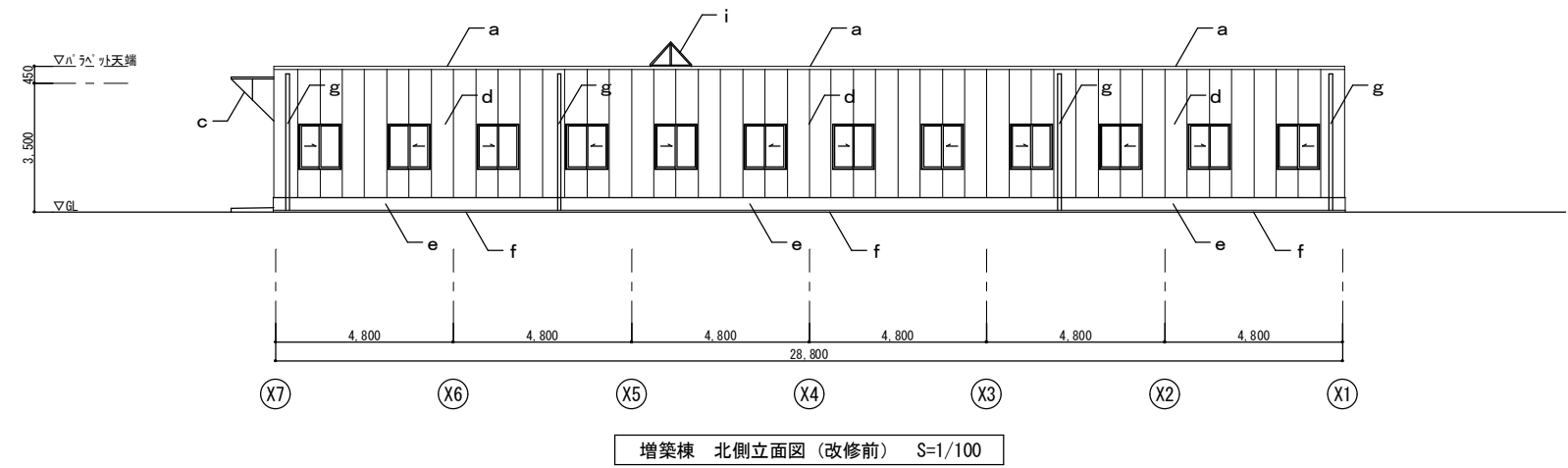
記号	改 修 後 （ 新 設 ） 仕 上	記号	改 修 後 （ 新 設 ） 仕 上
A	笠木：プライマー処理の上、ウレタン塗膜防水 X-2工法 新設	L	縦樋：カラー硬質塩ビ管φ100（SUS製支持金物） 新設
B	外壁：下地調整の上、可とう形改修塗材R E 上塗フッ素	M	－
C	外壁：下地調整の上、可とう形改修塗材R E 上塗フッ素	N	手摺：下地調整の上、錆止め、D P 塗
D	外壁：モルタル下地、レンガタイル張 新設	O	タラップ：下地調整の上、錆止め、D P 塗
E	軒裏：下地調整の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗 新設	P	屋外階段手摺：ステンレス製 新設
F	－	Q	屋外階段上裏：下地調整C－2の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗 新設
G	外巾木：下地調整の上、可とう形改修塗材R E 上塗フッ素	R	耐震補強方杖：下地調整の上、錆止め、D P 塗
H	柱巾木：下地調整の上 上塗フッ素	S	耐震補強壁：下地調整の上、可とう形改修塗材R E 上塗フッ素
I	庇：プライマー処理の上、ウレタン塗膜防水 X-2工法 新設	T	電気配管：下地調整の上、錆止め、D P 塗
J	梁天端：プライマー処理の上、ウレタン塗膜防水 X-2工法 新設	U	－
K	飾り拵：塩ビ製 角マス中型 (VP100用) エキスバンドメタル蓋付 新設	▷	構造スリット（部分スリット）：下地調整の上、上塗フッ素

増 築 棟 外 部 仕 上 表

記号	改 修 後 （ 新 設 ） 仕 上
a	笠木：再取付
b	軒天：下地調整の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗
c	庇上裏：下地調整の上、フッ素樹脂塗
d	外壁：下地調整の上、防水形複層塗材E
e	外巾木：下地調整の上、樹脂モルタルノロ引き
f	－
g	縦樋：カラー硬質塩ビ管φ100（SUS製支持金物）
h	－
i	トッブライト：建具廻りシーリング 新設
j	－
k	外壁（隠壁）：t=100 A L C 版、防水形複層塗材E 新設



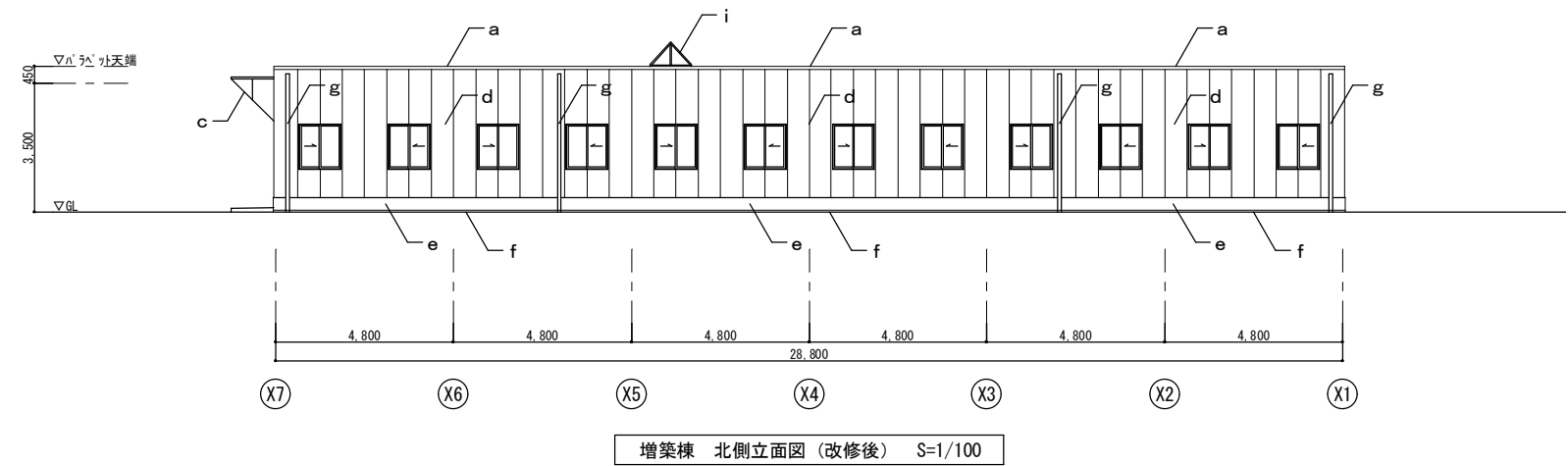
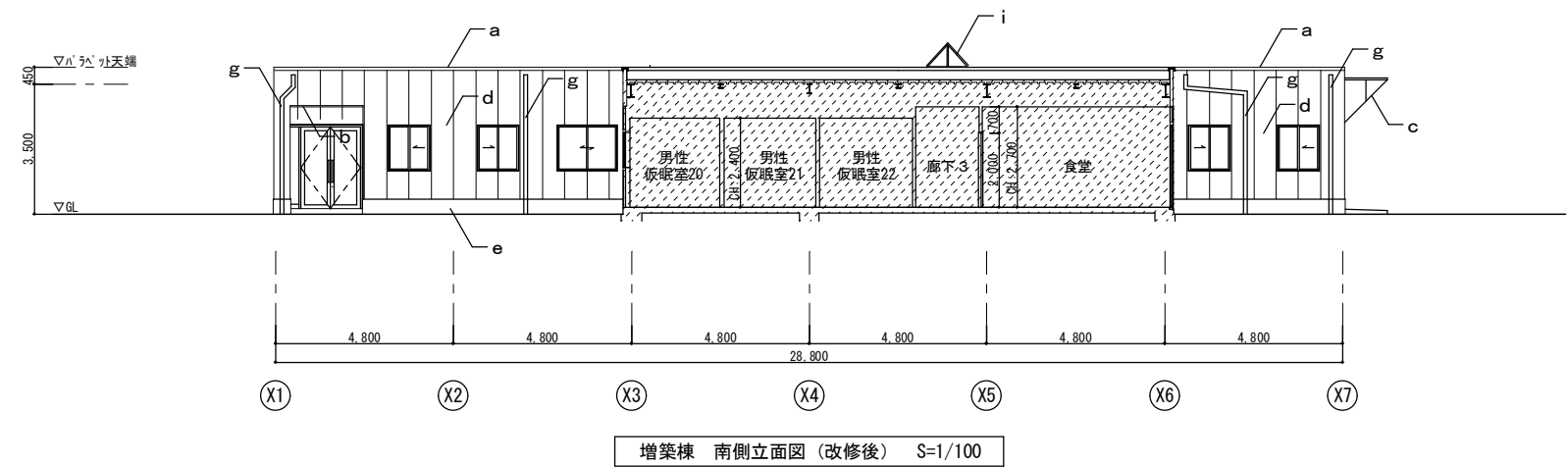
増築棟 南側立面図（改修前） S=1/100



増築棟 北側立面図（改修前） S=1/100

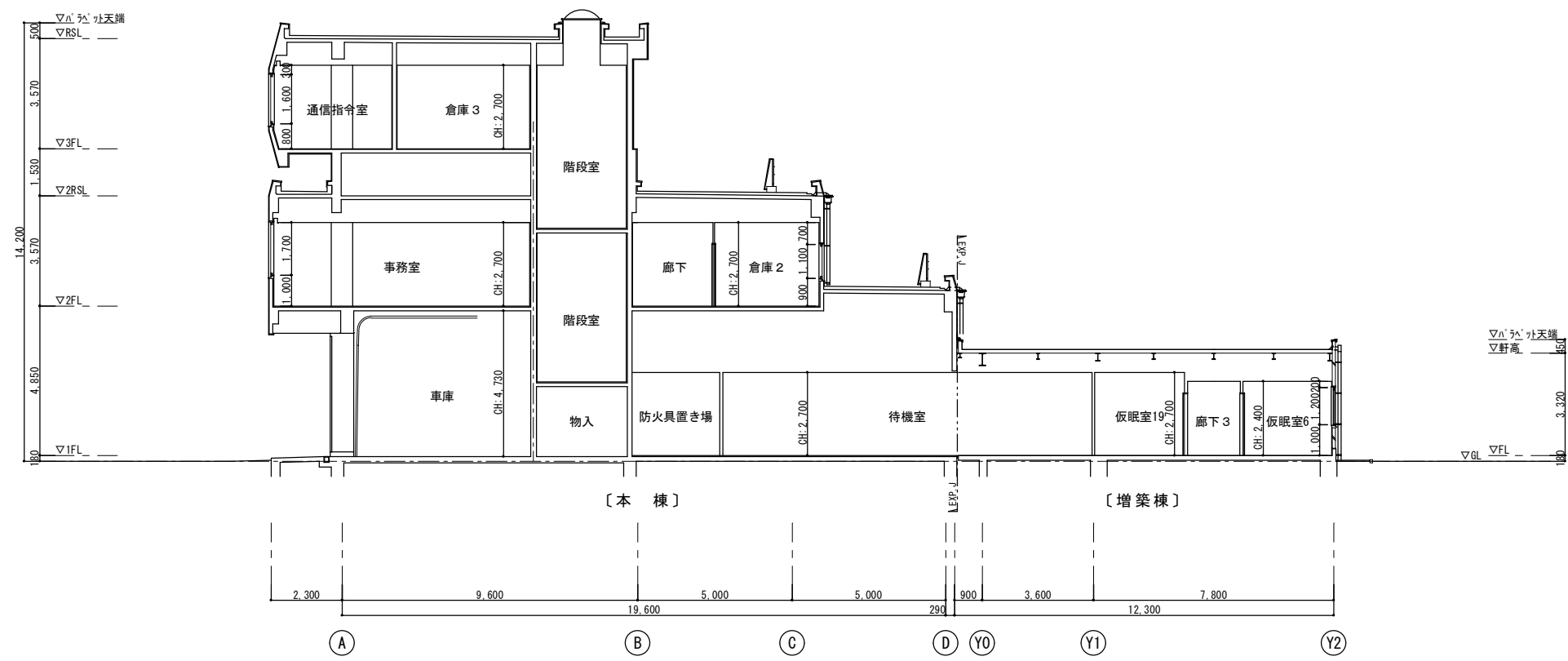
増築棟 外部仕上表

記号	既存仕上	撤去・下地処理
a	笠木：カラーアルミ製	取外し、クリーニング、再取付
b	軒天：t=12防火サイディング張、アクリルリシン吹付	下地調整の上、塗装
c	底上裏：t=9耐水合板下地、t=0.5ガルバリウム鋼板張	下地調整の上、塗装
d	外壁：t=100 A L C版、吹付タイル	高圧水洗（9.8～14.7Mpa）・清掃の上、下地調整
e	外巾木：コンクリート打放し	高圧水洗（9.8～14.7Mpa）・清掃の上、亀裂等の処理を行い、下地調整 ※脆弱部はケレン等により撤去し、カチオン樹脂モルタルで補修を行う。
f	縁石：コンクリートブロック100×100×600	既存のまま
g	縦樋：白ガス管（SGP）φ100（SUS支持金物共）	撤去（支持金物共）
h	EXP. J 外壁カバー：アルミ製 W=200	クリーニング
i	トップライト：アルミ製（排煙装置付）	クリーニング（ガラス共）、建具点検調整、建具廻りシーリング撤去

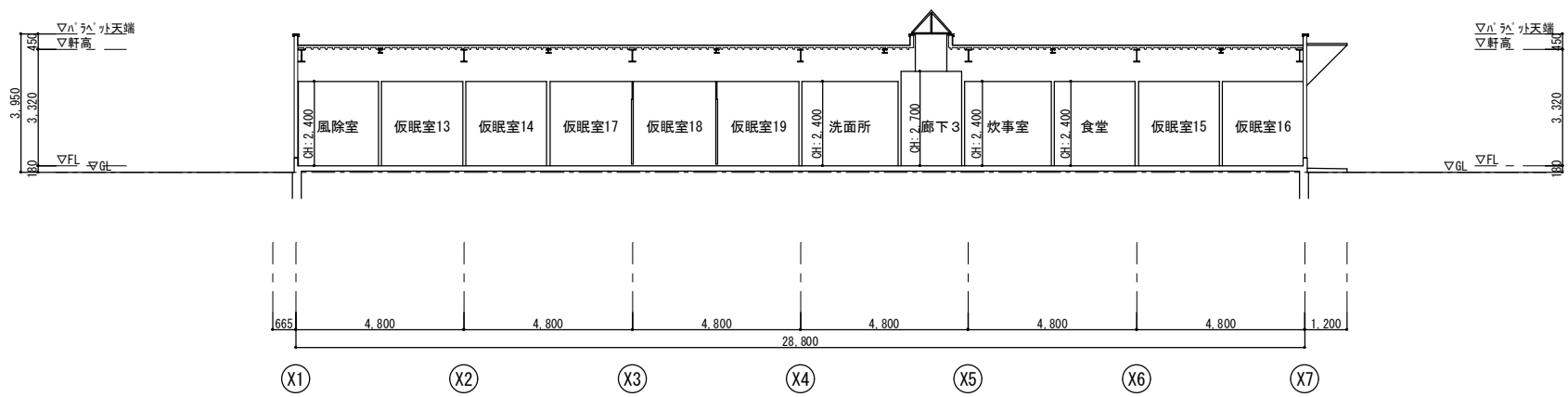


増 築 棟 外 部 仕 上 表

記号	改 修 後 (新 設) 仕 上
a	笠木：再取付
b	軒天：下地調整の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗
c	底上裏：下地調整の上、フッ素樹脂塗
d	外壁：下地調整の上、防水形複層塗材E
e	外巾木：下地調整の上、樹脂モルタルノ口引き
f	－
g	縦樋：カラー硬質塩ビ管φ100 (SUS製支持金物)
h	－
i	トップライト：建具廻りシーリング 新設
j	
k	外壁(腰壁)：t=100A L C版、防水形複層塗材E 新設

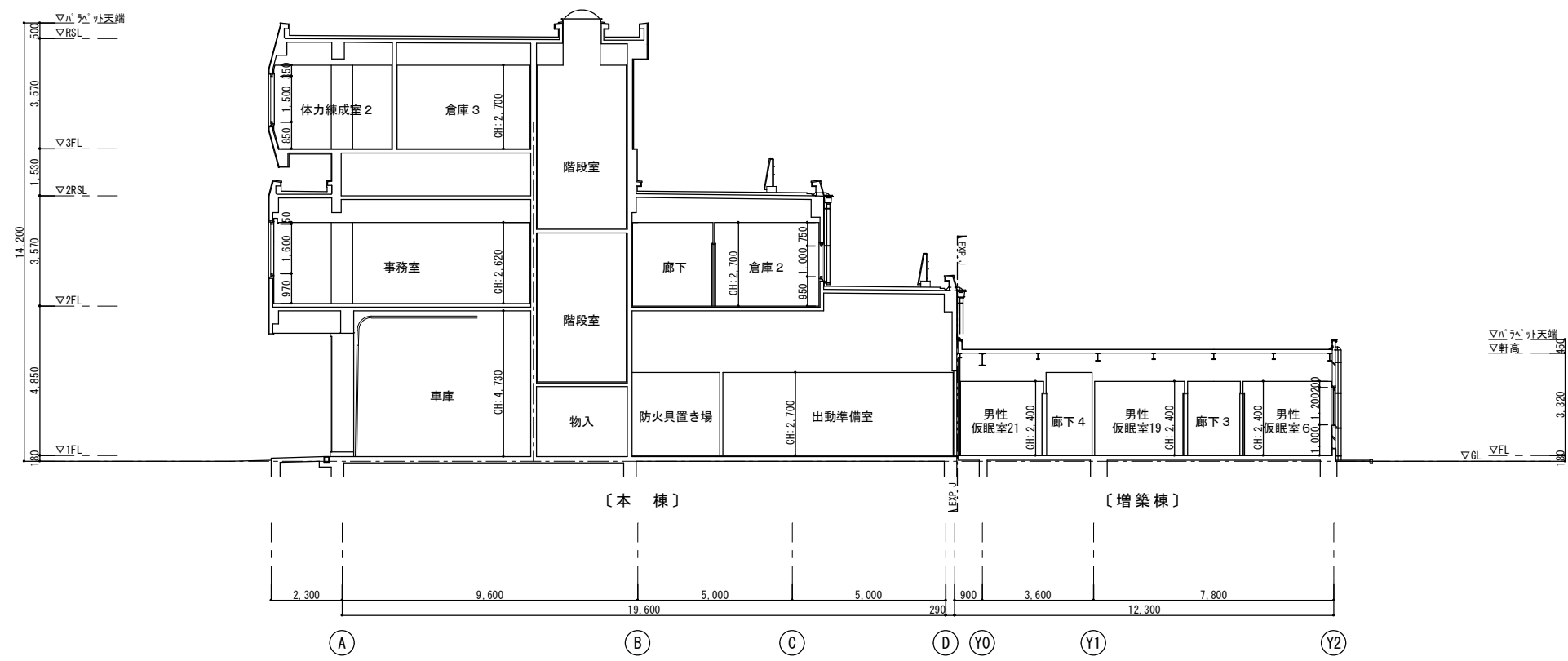


本棟・増築棟 断面図（改修前） S=1/100

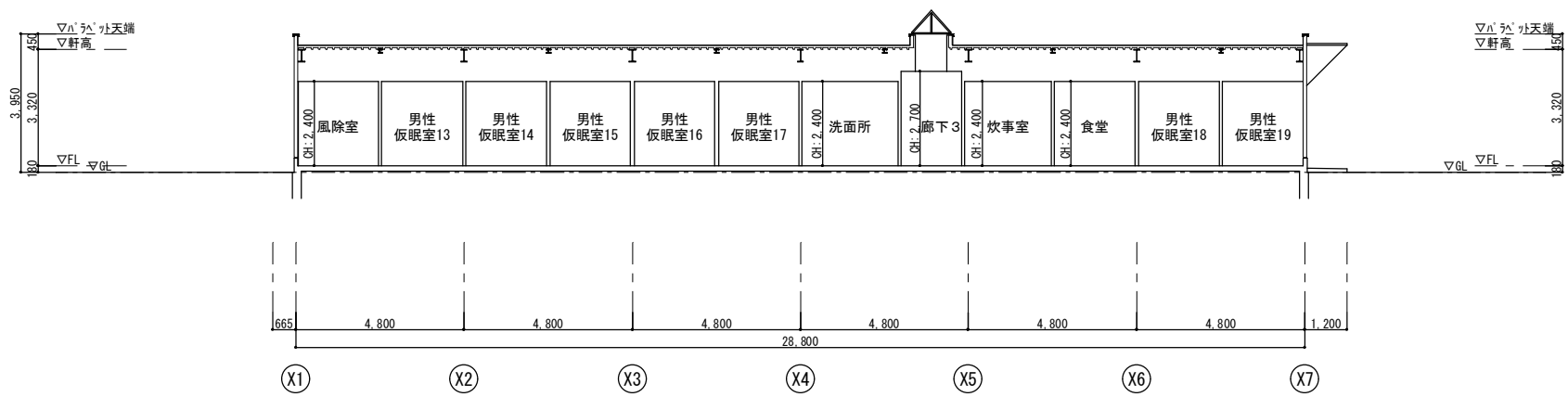


増築棟 断面図（改修前） S=1/100

	設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
	2025. 06		A1-1:100 A3-1:200	庄和消防署大規模改修工事	断面図（改修前）	A-3 1



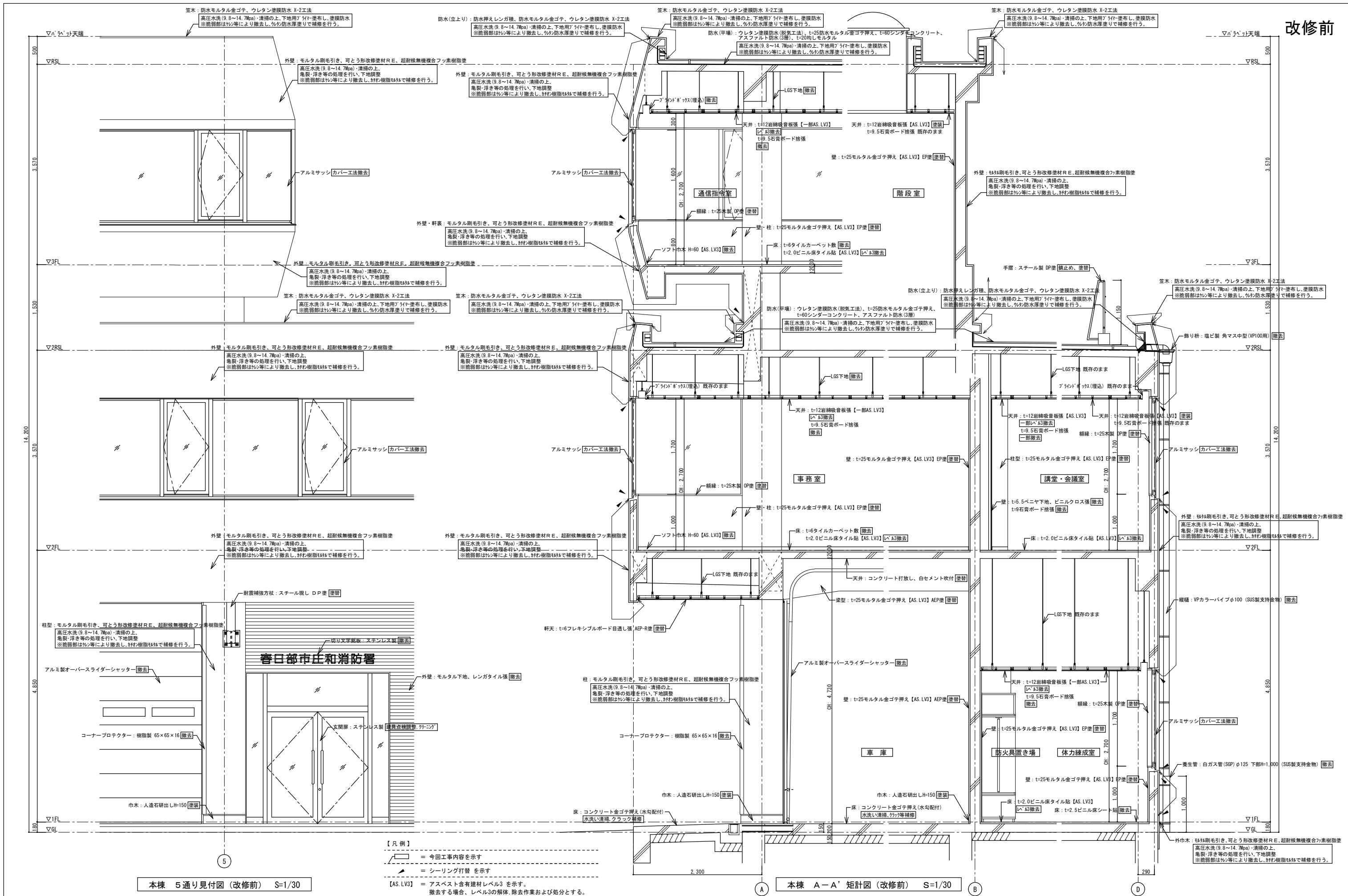
本棟・増築棟 断面図（改修後） S=1/100



増築棟 断面図（改修後） S=1/100

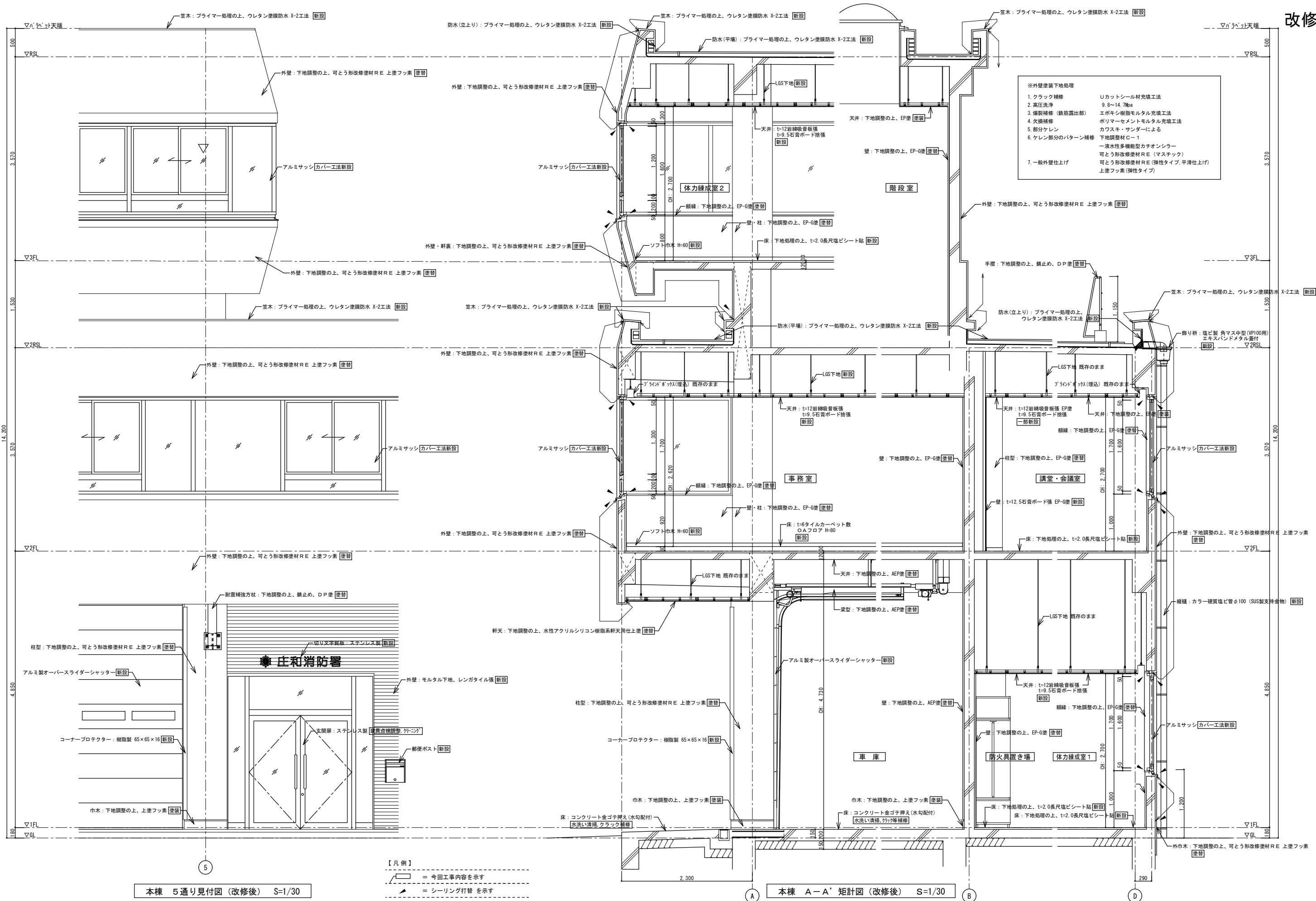
	設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
	2025. 06		A1-1:100 A3-1:200	庄和消防署大規模改修工事	断面図（改修後）	A-32

改修前



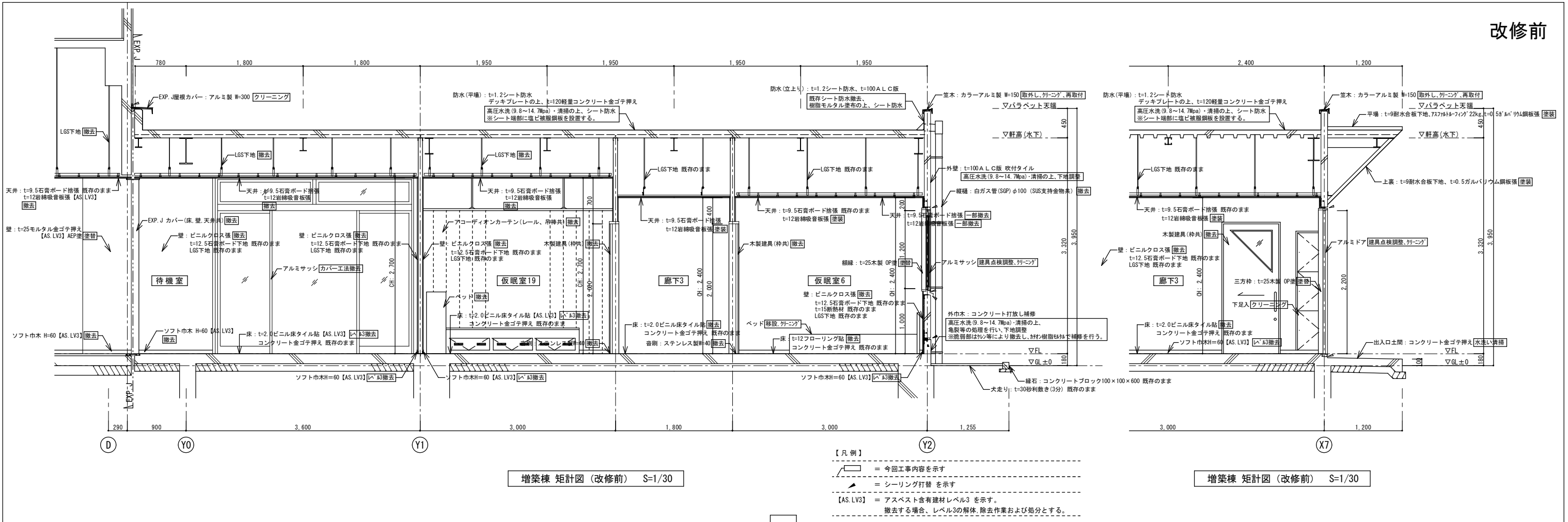
春日部市消防本部 総務課		縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
設計年月日		A1-1:30 A3-1:60	庄和消防署大規模改修工事	本棟 矩計図 (改修前)	A-33
2025. 06					

改修後

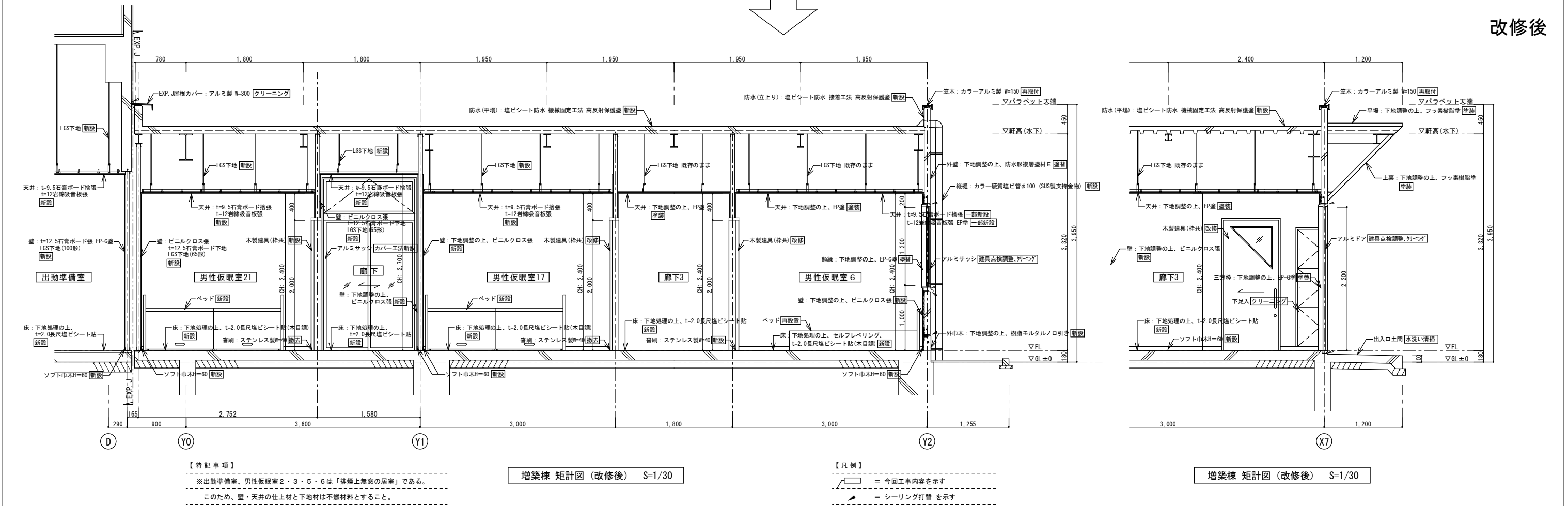


設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
2025. 06		A1-1:30 A3-1:60	庄和消防署大規模改修工事	本棟 矩計図 (改修後)	A-34

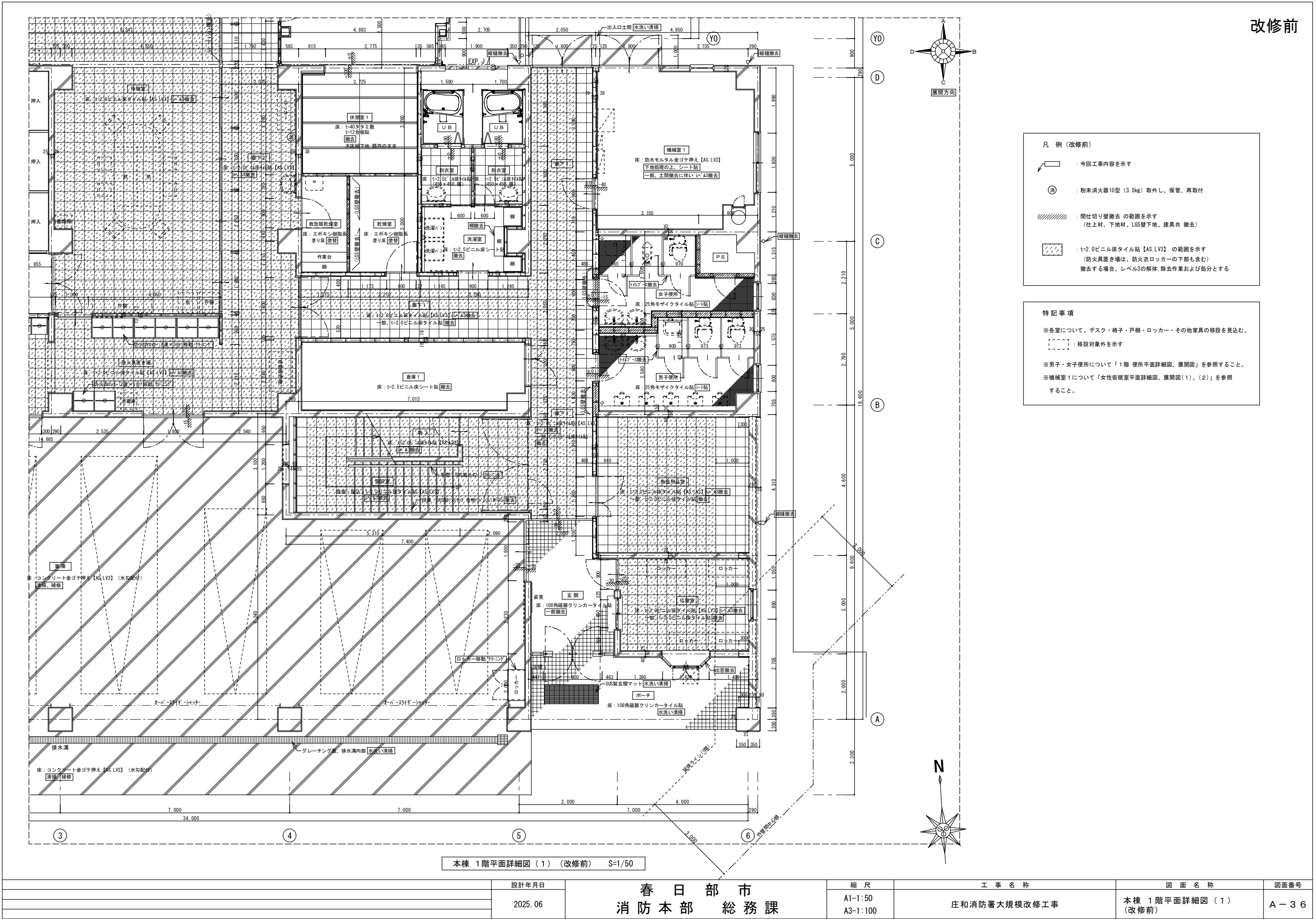
改修前



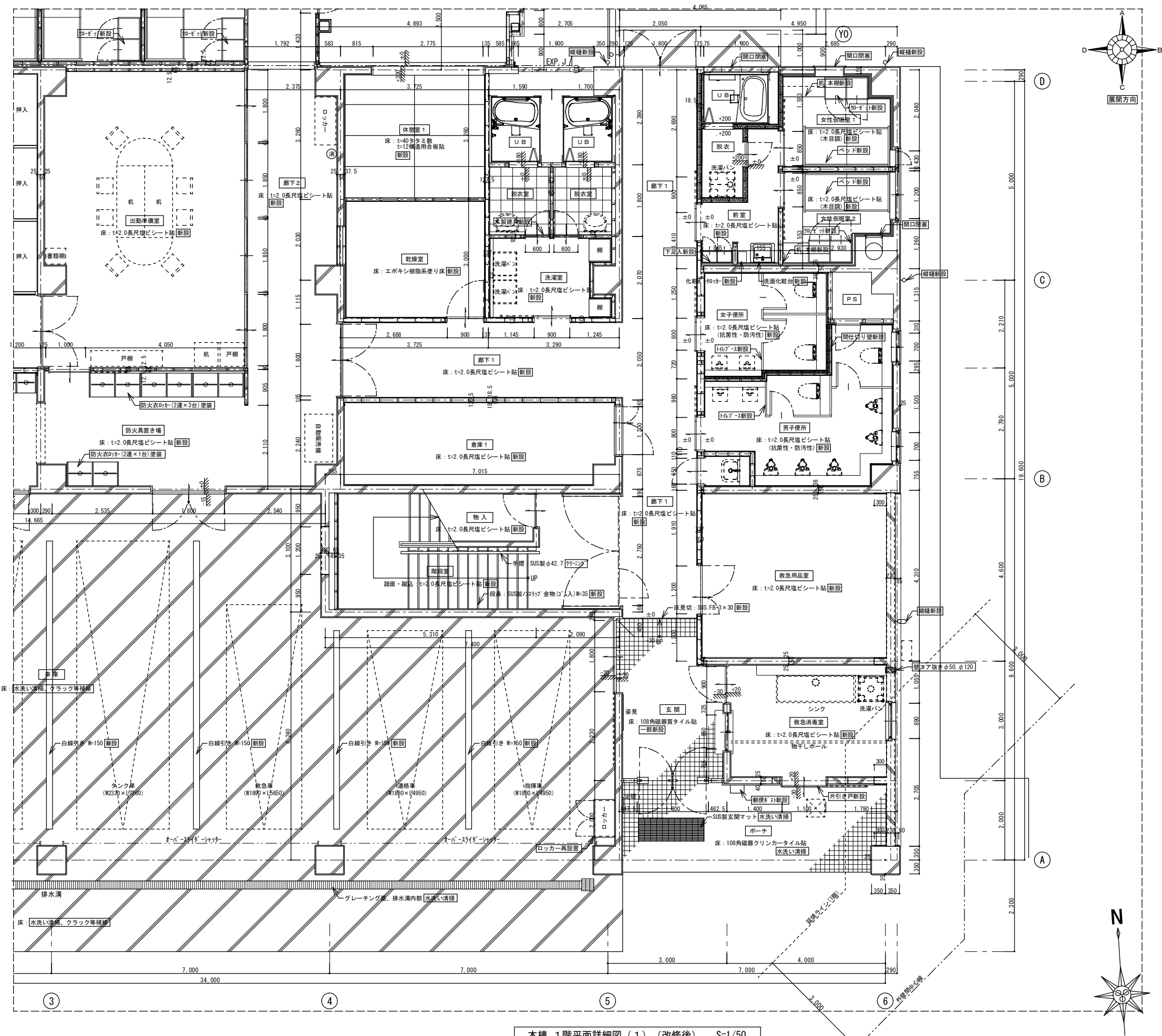
改修後



	設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮 尺	工 事 名 称	図 面 名 称	図面番号
	2025. 06		A1-1:30	庄和消防署大規模改修工事	増築棟 矩計図（改修前・後）	A－35



		設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮 尺	工 事 名 称	図 面 名 称	図面番号
		2025. 06		A1-1:50	庄和消防署大規模改修工事	本棟 1階平面詳細図（1） （改修前）	A－36



凡 例 (改修後)

◀ : 今回工事内容を示す

⊙ : 粉末消火器10型 (3.5kg) 再取付

特記事項

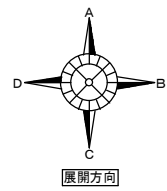
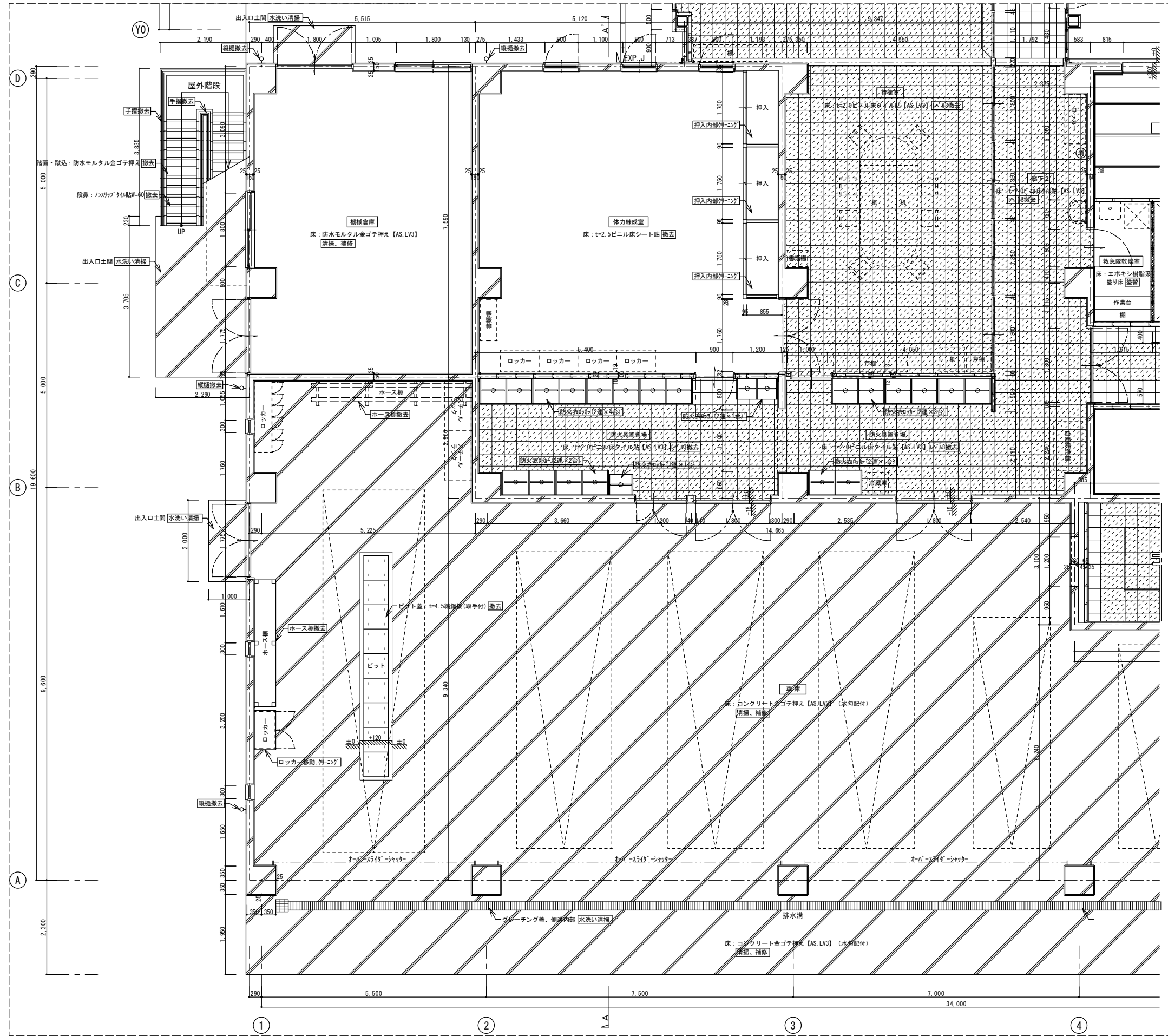
※男子・女子便所について「1階 便所平面詳細図、展開図」を参照すること。

※女性仮眠室1・2、前室、脱衣、UBについて「女性仮眠室平面詳細図、展開図(1)、(2)」を参照すること。

本棟 1階平面詳細図 (1) (改修後) S=1/50

		設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮 尺	工 事 名 称	図 面 名 称	図面番号
		2025. 06		A1-1:50	庄和消防署大規模改修工事	本棟 1階平面詳細図（1） （改修後）	A－37

改修前



凡 例 (改修前)

- 
 : 今回工事内容を示す
- 
 : 粉末消火器10型（3.5kg）取外し、保管、再取付
- 
 : 間仕切り壁撤去 の範囲を示す
 （仕上材、下地材、LGS壁下地、建具共 撤去）
- 
 : t=2.0ビニル床タイル貼【AS.LV3】 の範囲を示す
 （防火具置き場は、防火衣ロッカーの下部も含む）
 撤去する場合、レベル3の解体、除去作業および処分とする

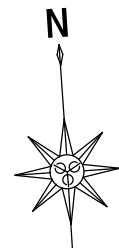
特記事項

※各室について、デスク・椅子・戸棚・ロッカー・その他家具の移設を見込む。

□ : 移設対象外を示す

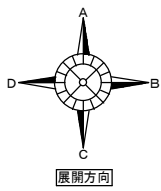
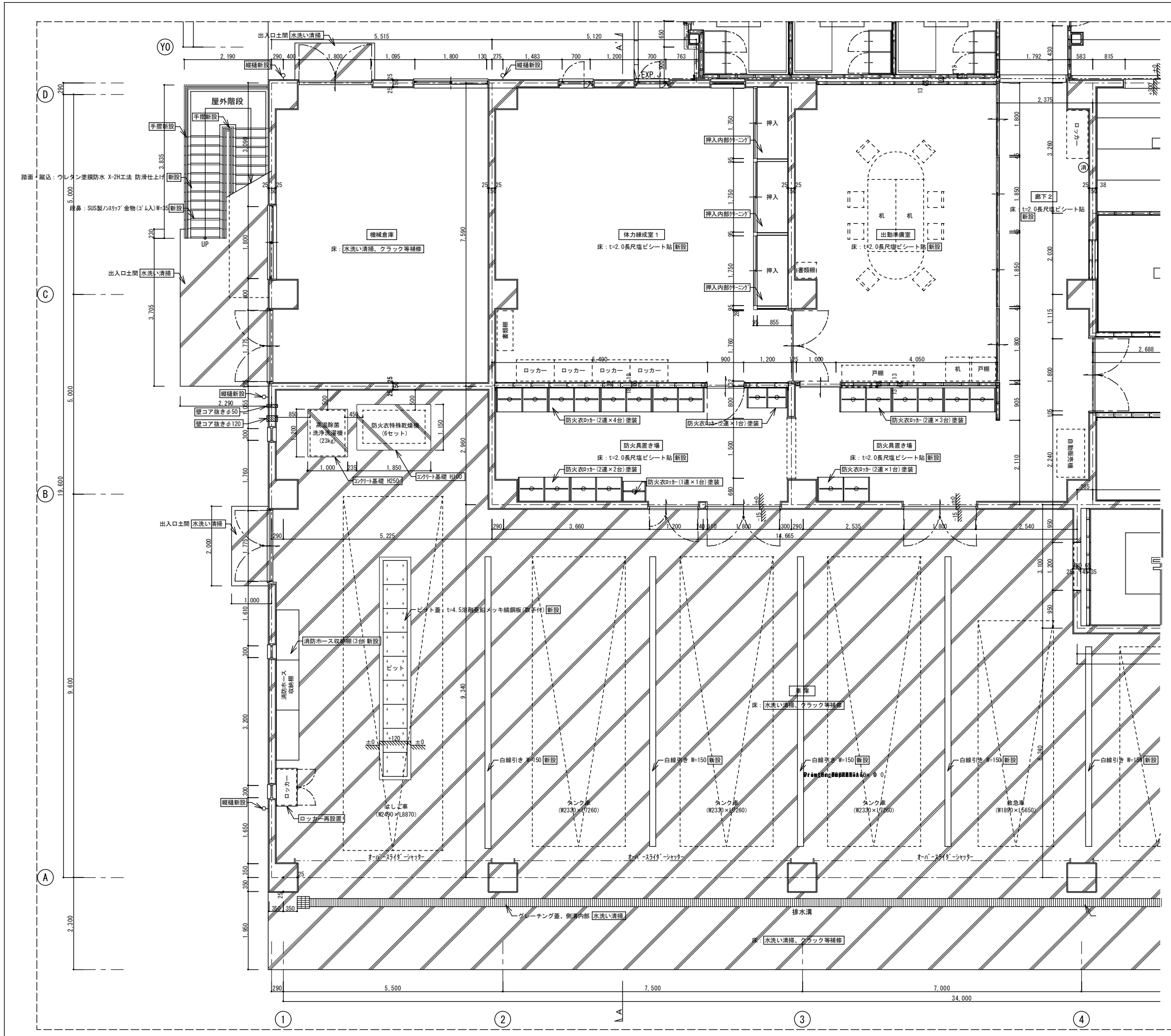
※待機室について「男性仮眠室平面詳細図、展開図(3)」を参照すること。

※屋外階段について「屋外階段詳細図」を参照すること。



本棟 1階平面詳細図 (2) (改修前) S=1/50

	設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
	2025. 06		A1-1:50	庄和消防署大規模改修工事	本棟 1 階平面詳細図（2） （改修前）	A－38
			A3-1:100			



- 凡 例 (改修後)
- 今回工事内容を示す
 - 粉末消火器10型 (3.5kg) 再取付

特記事項

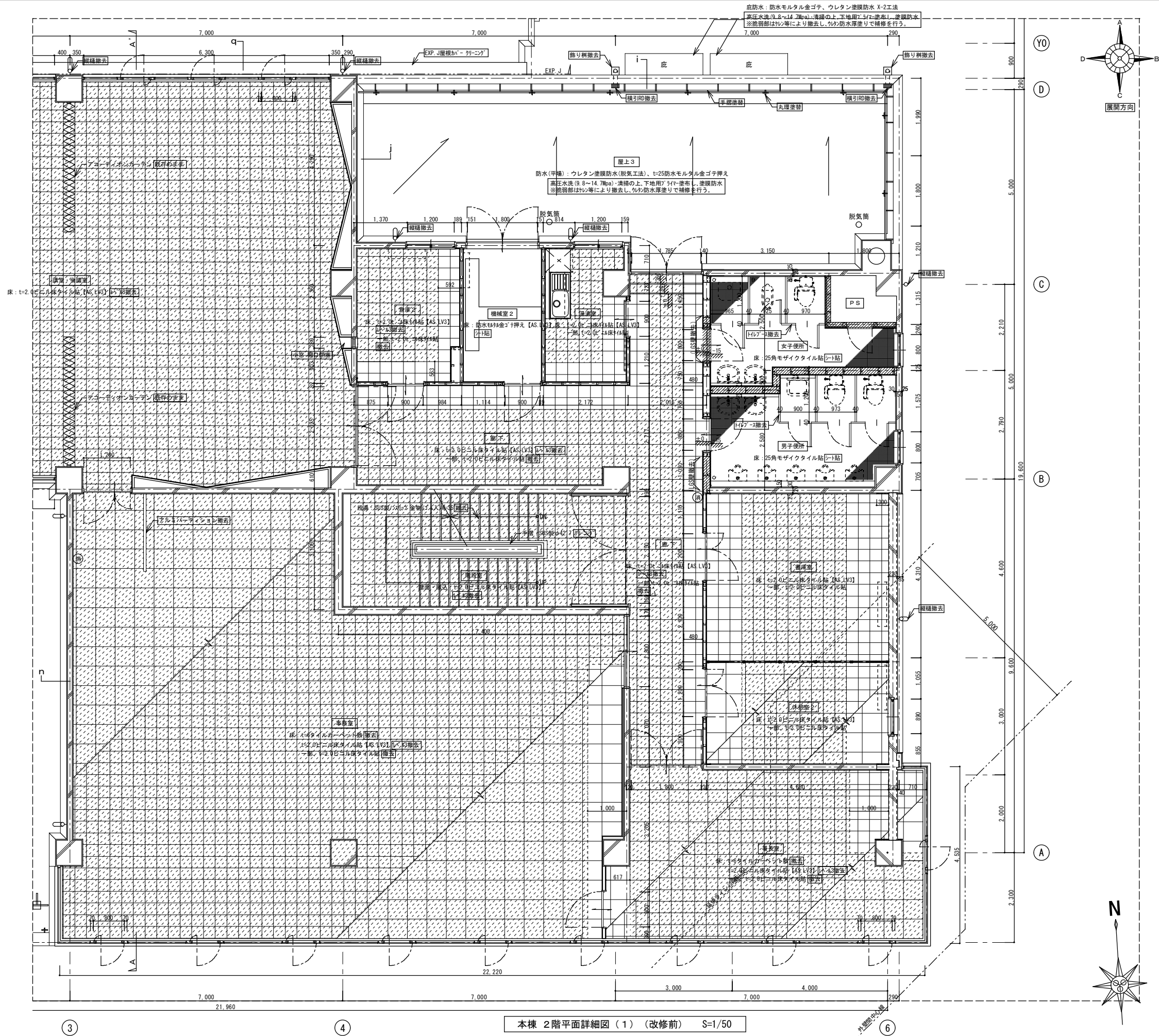
※出動準備室について「男性仮眠室平面詳細図、展開図(3)」を参照すること。

※屋外階段について「屋外階段詳細図」を参照すること。



本棟 1階平面詳細図 (2) (改修後) S=1/50

	設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮 尺	工 事 名 称	図 面 名 称	図面番号
	2025. 06		A1-1:50	庄和消防署大規模改修工事	本棟 1階平面詳細図（2） （改修後）	A－39



凡 例 (改修前)

: 今回工事内容を示す

: 粉末消火器10型 (3.5kg) 取外し、保管、再取付

: 間仕切り壁撤去 の範囲を示す
(仕上材、下地材、LGS壁下地、建具共 撤去)

: t=2.0ビニル床タイル貼【AS、LV3】 の範囲を示す
(講堂・会議室は、教壇の下部も含む)
撤去する場合、レベル3の解体、除去作業および処分とする

特 記 事 項

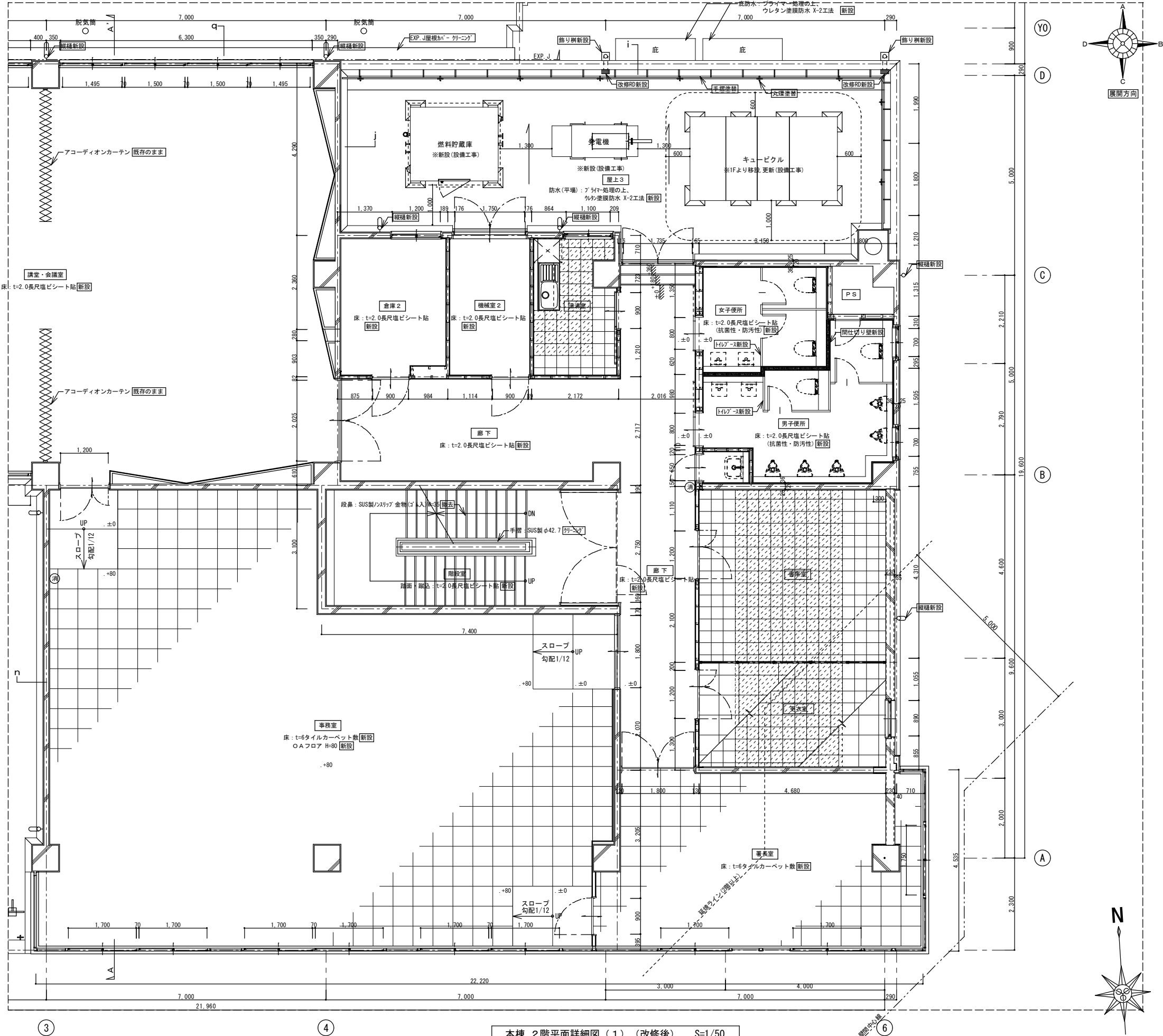
※各室について、デスク・椅子・戸棚・ロッカー・その他家具の移設を見込む。

: 移設対象外を示す

※男子・女子便所について「2階 便所平面詳細図、展開図」を参照すること。

※屋上手摺、丸環について「屋上防水詳細図(1)。(2)」を参照すること。

		設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮 尺	工 事 名 称	図 面 名 称	図面番号
		2025. 06		A1-1:50	庄和消防署大規模改修工事	本棟 2階平面詳細図（1） （改修前）	A－40



凡 例 (改修後)

◁ : 今回工事内容を示す

○消 : 粉末消火器10型 (3.5kg) 再取付

▨ : t=2.0ビニル床タイル貼【AS, LV3】残置 の範囲を示す

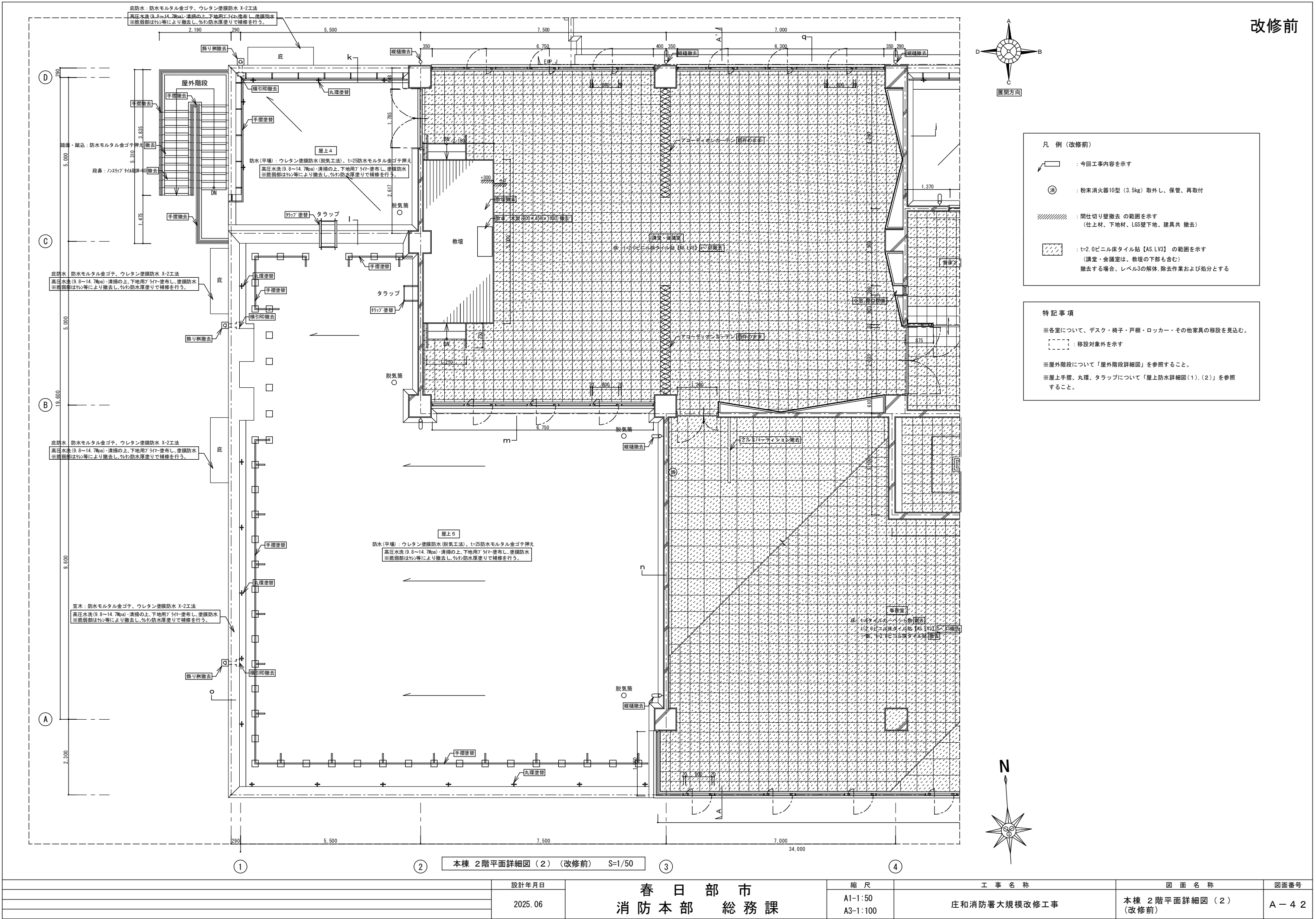
特 記 事 項

※男子・女子便所について「2階 便所平面詳細図、展開図」を参照すること。

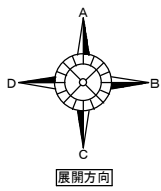
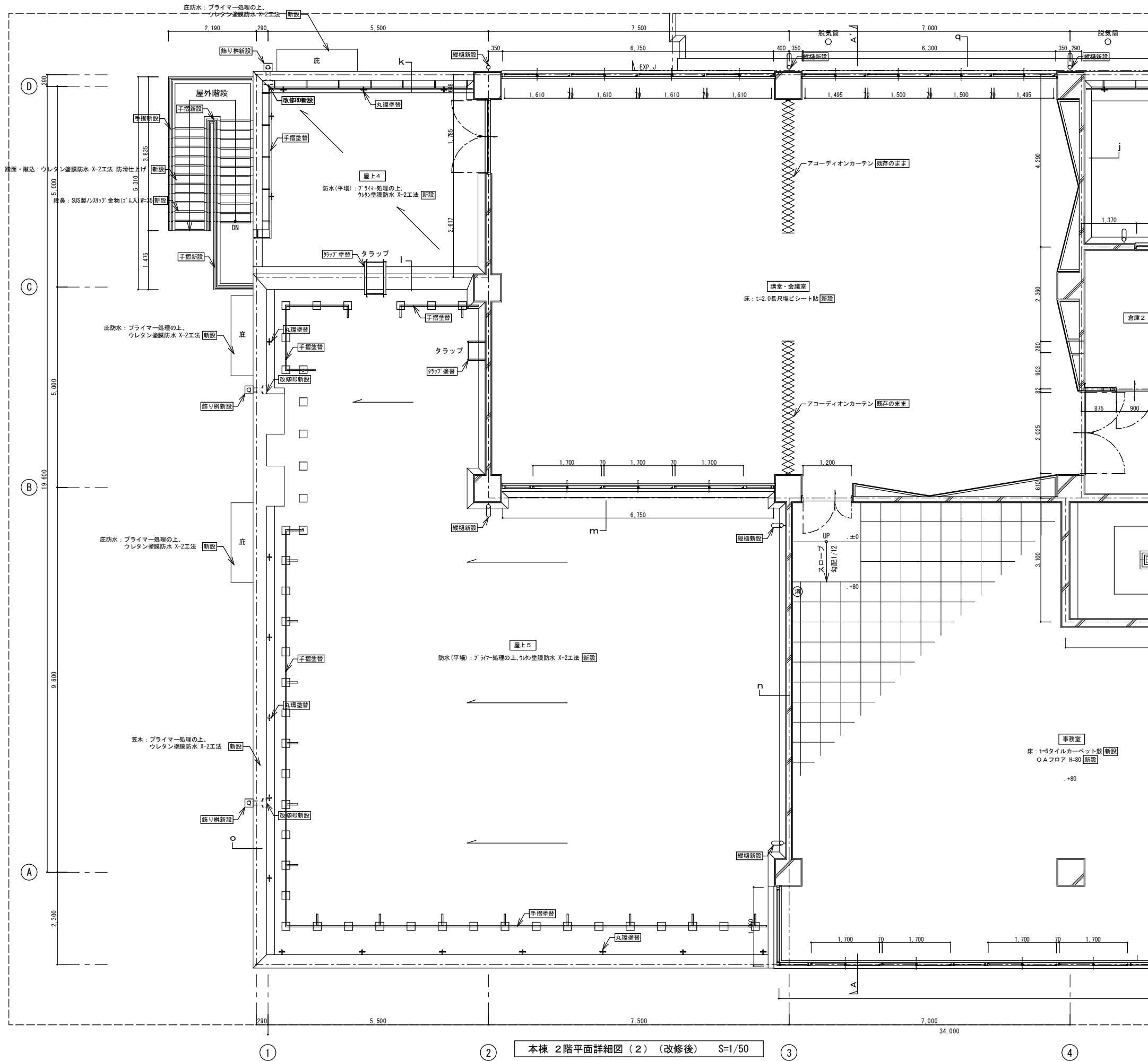
※屋上手摺、丸環について「屋上防水詳細図(1),(2)」を参照すること。

本棟 2階平面詳細図 (1) (改修後) S=1/50

		設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮 尺	工 事 名 称	図 面 名 称	図面番号
		2025. 06		A1-1:50	庄和消防署大規模改修工事	本棟 2階平面詳細図（1） （改修後）	A－4 1



		設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮 尺	工 事 名 称	図 面 名 称	図面番号
		2025. 06		A1-1:50	庄和消防署大規模改修工事	本棟 2階平面詳細図（2） （改修前）	A－4 2



凡 例（改修後）

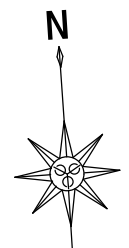
◀ : 今回工事内容を示す

⊙ : 粉末消火器10型（3.5kg）再取付

特 記 事 項

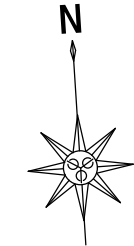
※屋外階段について「屋外階段詳細図」を参照すること。

※屋上手摺、丸環、タラップについて「屋上防水詳細図（1）、（2）」を参照すること。

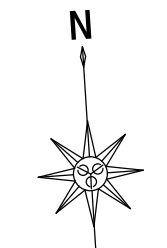


本棟 2階平面詳細図（2）（改修後） S=1/50

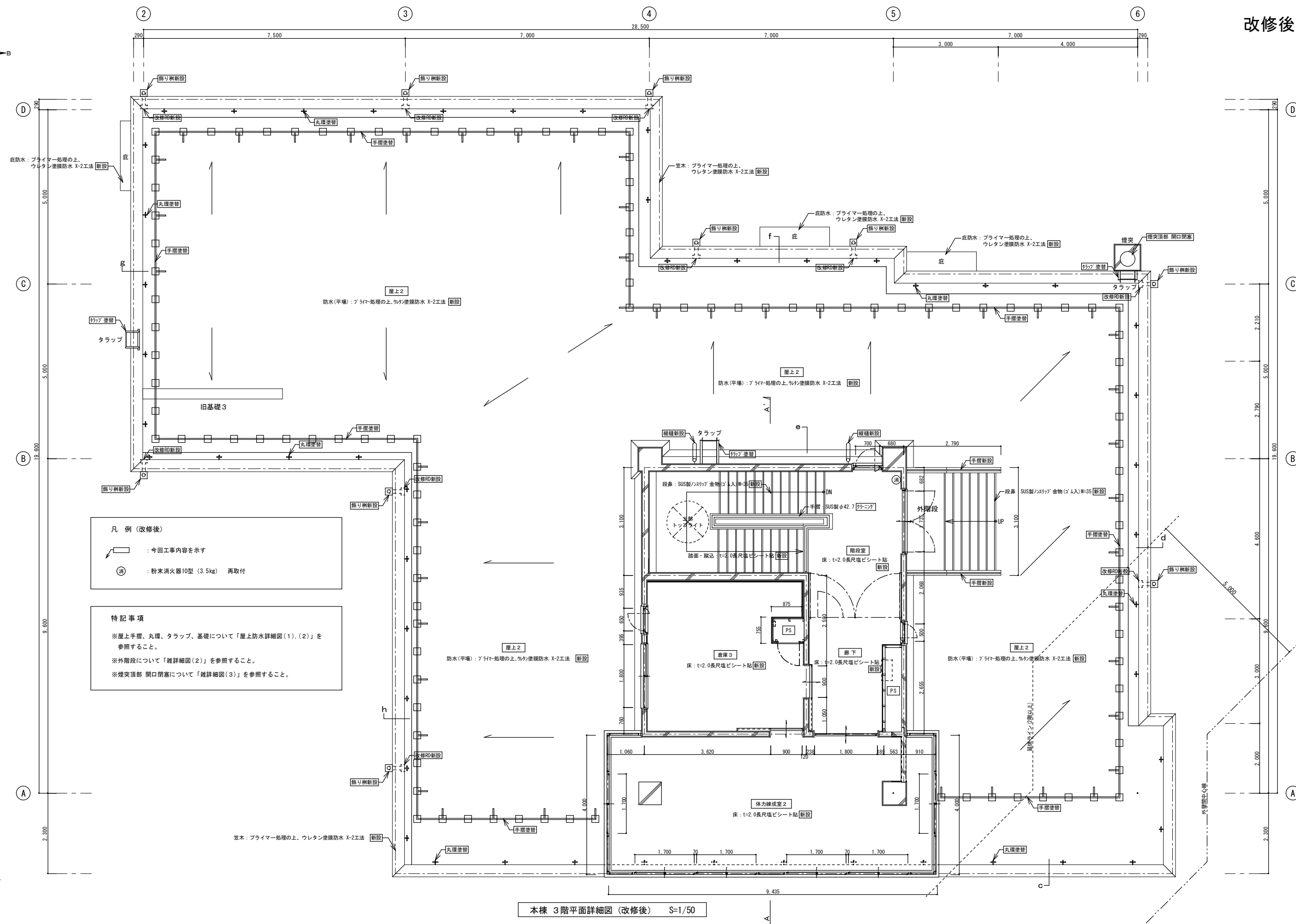
設計年月日			縮 尺		工 事 名 称	図 面 名 称	図面番号
2025. 06			A1-1:50 A3-1:100		庄和消防署大規模改修工事	本棟 2階平面詳細図（2） （改修後）	A-43



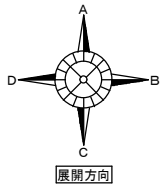
	設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
	2025. 06		A1-1:50	庄和消防署大規模改修工事	本棟 3 階平面詳細図（改修前）	A - 4 4
			A3-1:100			



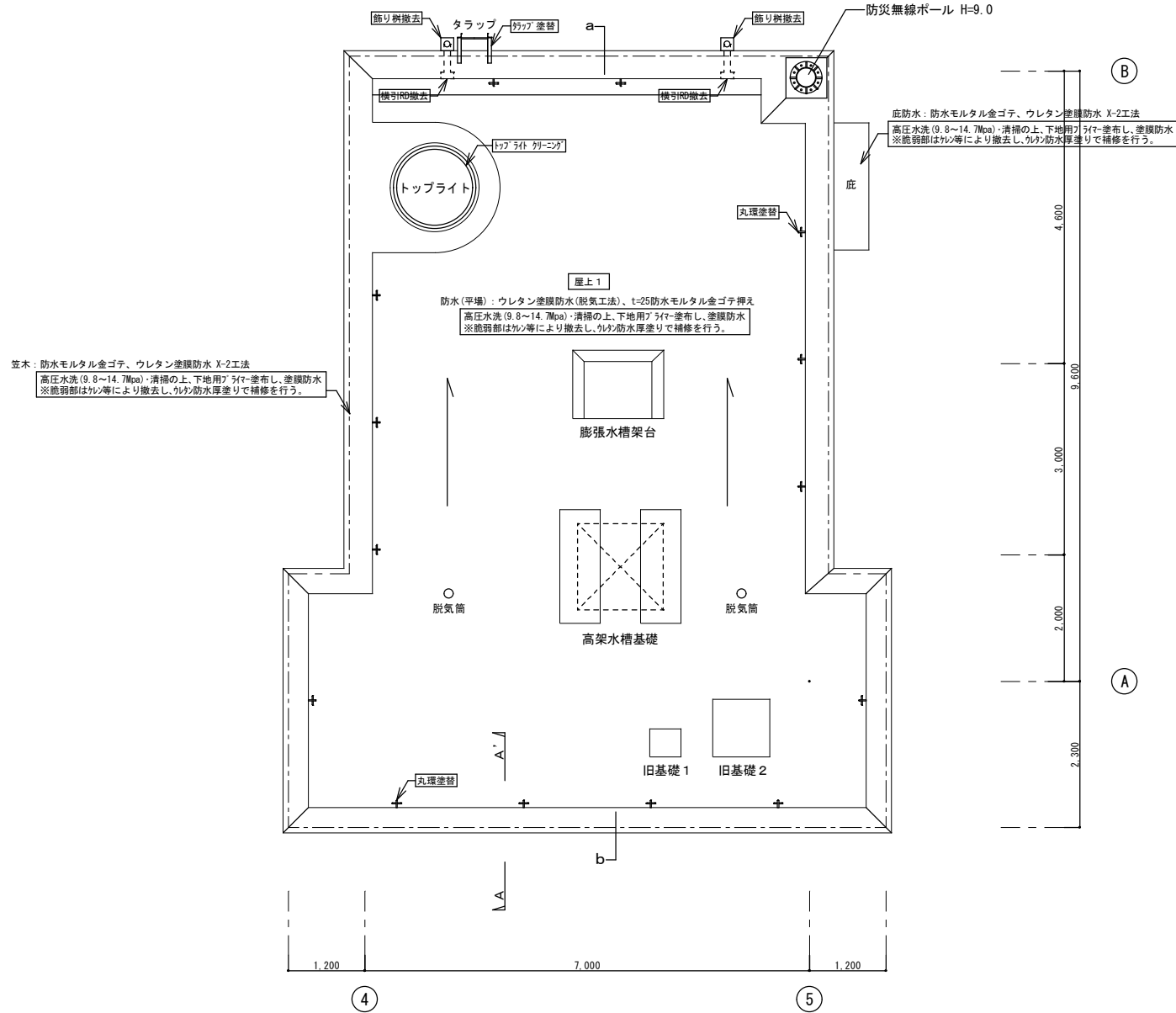
改修後



	設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮 尺	工 事 名 称	図 面 名 称	図面番号
	2025. 06		A1-1:50	庄和消防署大規模改修工事	本棟 3階平面詳細図（改修後）	A-45
			A3-1:100			



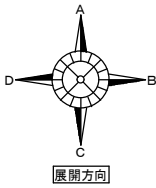
改修前



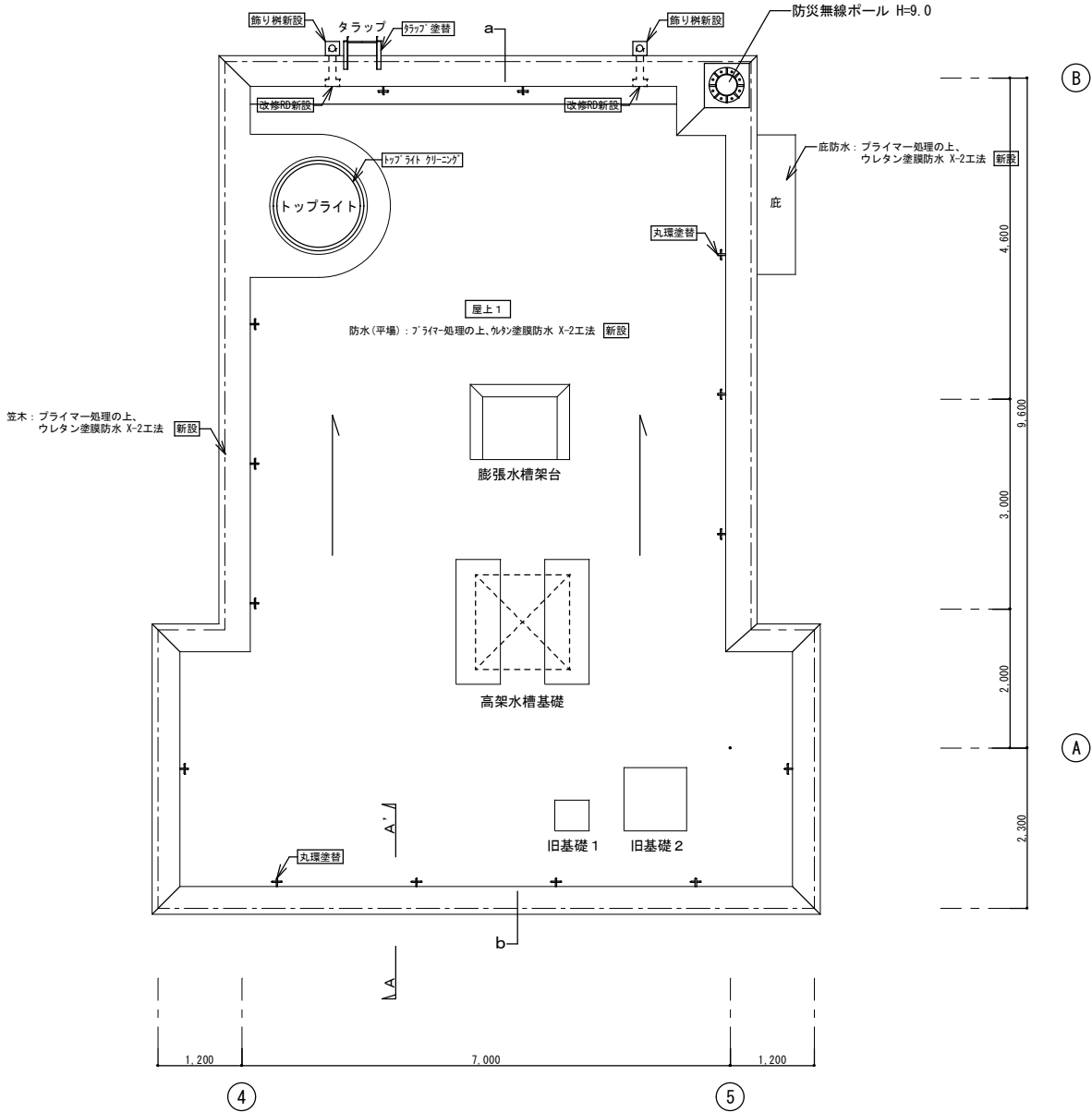
本棟 屋根伏図（改修前） S=1/50

凡 例（改修前）
：今回工事内容を示す

特記事項
※丸環、基礎、膨張水槽架台、トップライト、タラップ、について
「屋上防水詳細図（2）」を参照すること。



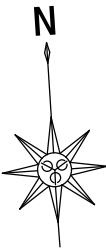
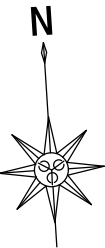
改修後



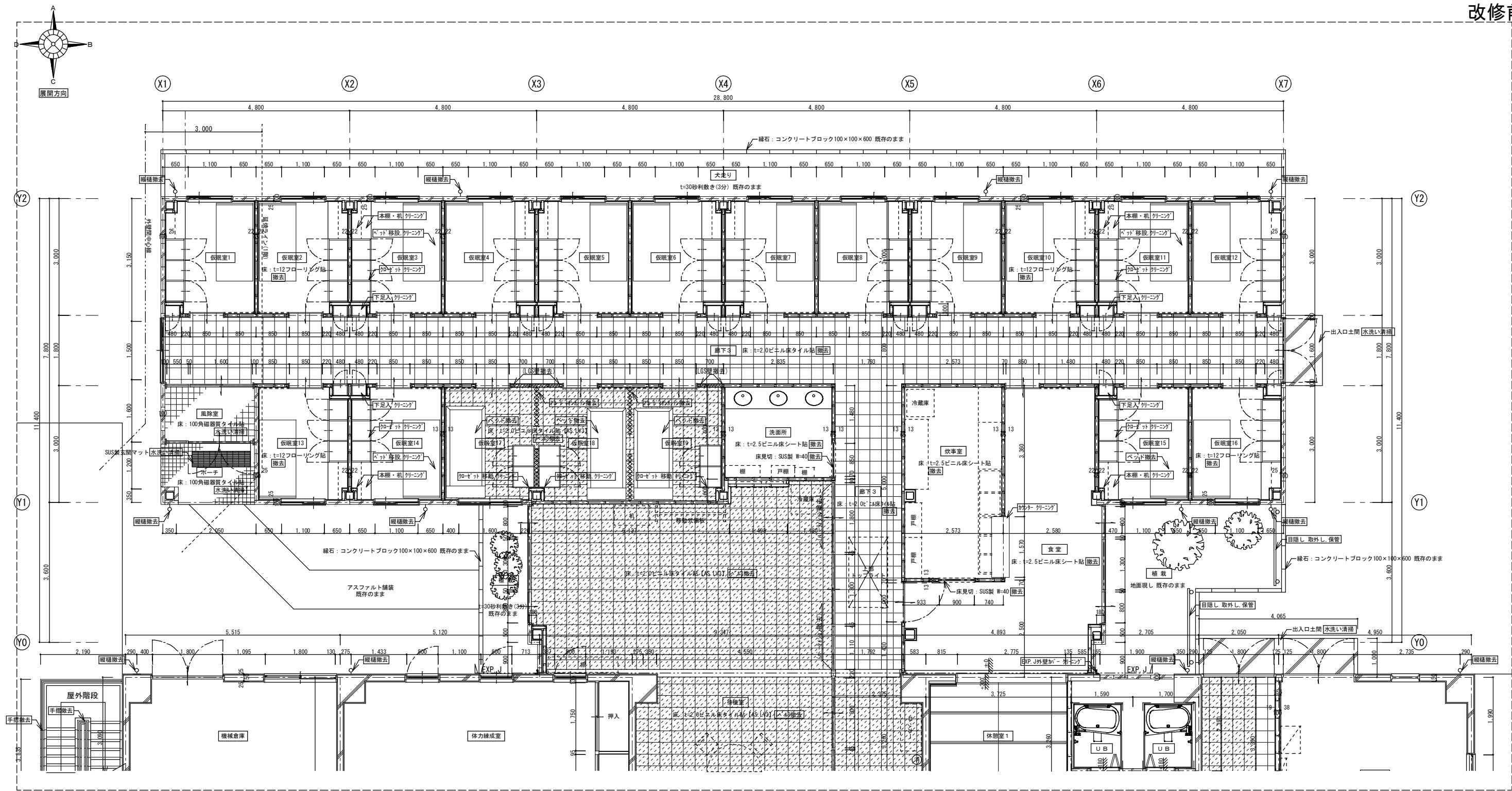
本棟 屋根伏図（改修後） S=1/50

凡 例（改修後）
：今回工事内容を示す

特記事項
※トップライト、タラップ、丸環、膨張水槽架台、基礎等について
「屋上防水詳細図（2）」を参照すること。



	設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮 尺	工 事 名 称	図 面 名 称	図面番号
	2025. 06		A1-1:50 A3-1:100	庄和消防署大規模改修工事	本棟 屋根伏図（改修前・後）	A－4 6



増築棟 平面詳細図 (改修前) S=1/50

凡 例 (改修前)

: 今回工事内容を示す

: 粉末消火器10型 (3.5kg) 取外し、保管、再取付

: 間仕切り壁撤去の範囲を示す
(仕上材、下地材、LGS壁下地、建具共 撤去)

: t=2.0ビニル床タイル貼【AS, LV3】の範囲を示す
(仮眠室17～19は、ベッド・クローゼットの下部も含む)
撤去する場合、レベル3の解体、除去作業および処分とする

特記事項

※各室について、デスク・椅子・戸棚・ロッカー・その他家具の移設を見込む。
[] : 移設対象外を示す

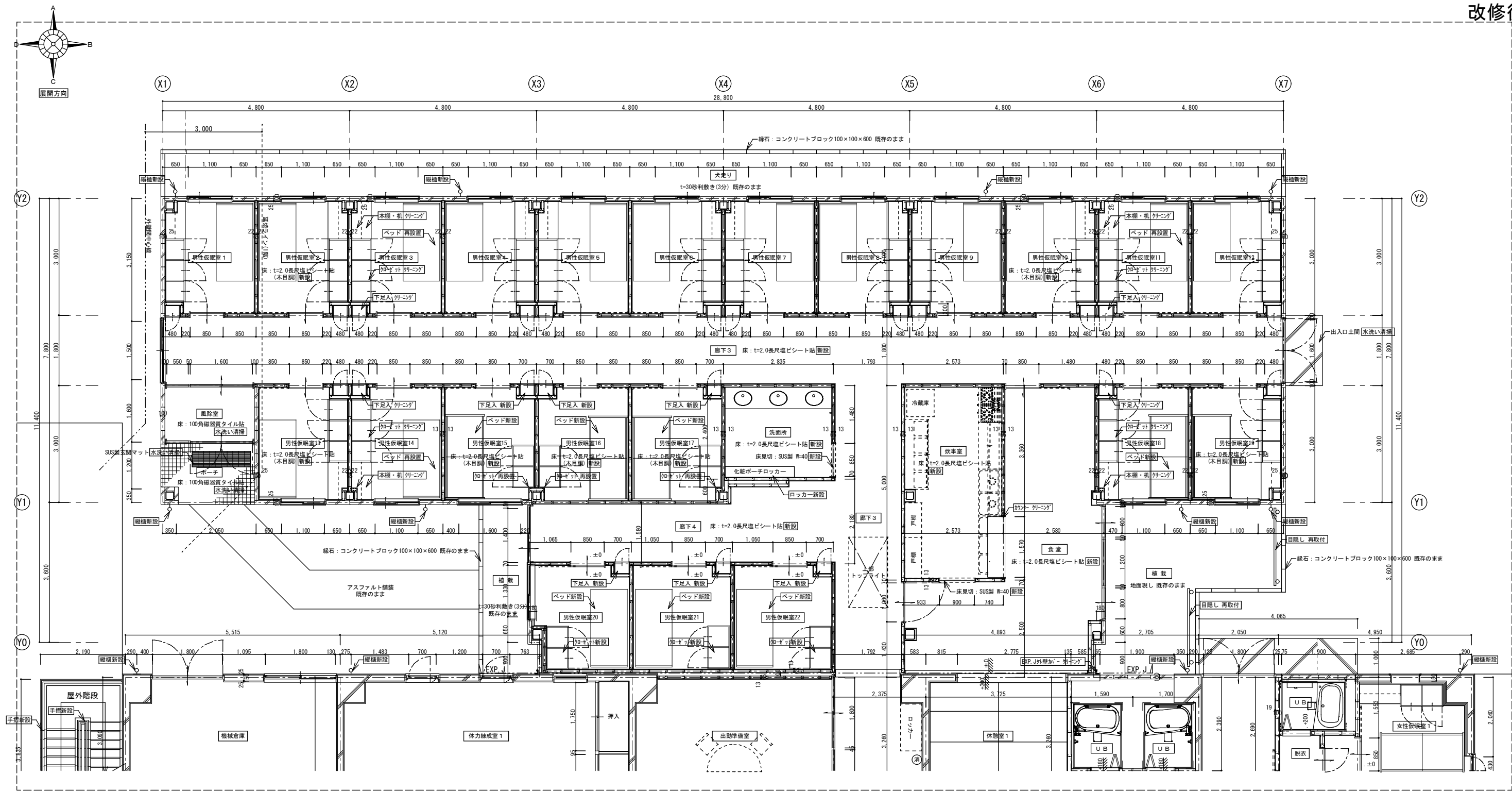
※仮眠室1～16について「男性仮眠室平面詳細図、展開図(1)」を参照すること。

※仮眠室17～19について「男性仮眠室平面詳細図、展開図(2)」を参照すること。

※待機室について「男性仮眠室平面詳細図、展開図(3)」を参照すること。

※ベッドについて「家具キープラン・詳細図」「内部仮設計画図(2)」を参照すること。

	設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮 尺	工 事 名 称	図 面 名 称	図面番号
	2025. 06		A1-1:50 A3-1:100	庄和消防署大規模改修工事	増築棟 平面詳細図 (改修前)	A - 4 7



増築棟 平面詳細図 (改修後) S=1/50

- 凡 例 (改修後)
-  : 今回工事内容を示す
 -  : 粉末消火器10型 (3.5kg) 再取付

特記事項

※男性仮眠室14、18、19について「男性仮眠室平面詳細図、展開図(1)」を参照すること。

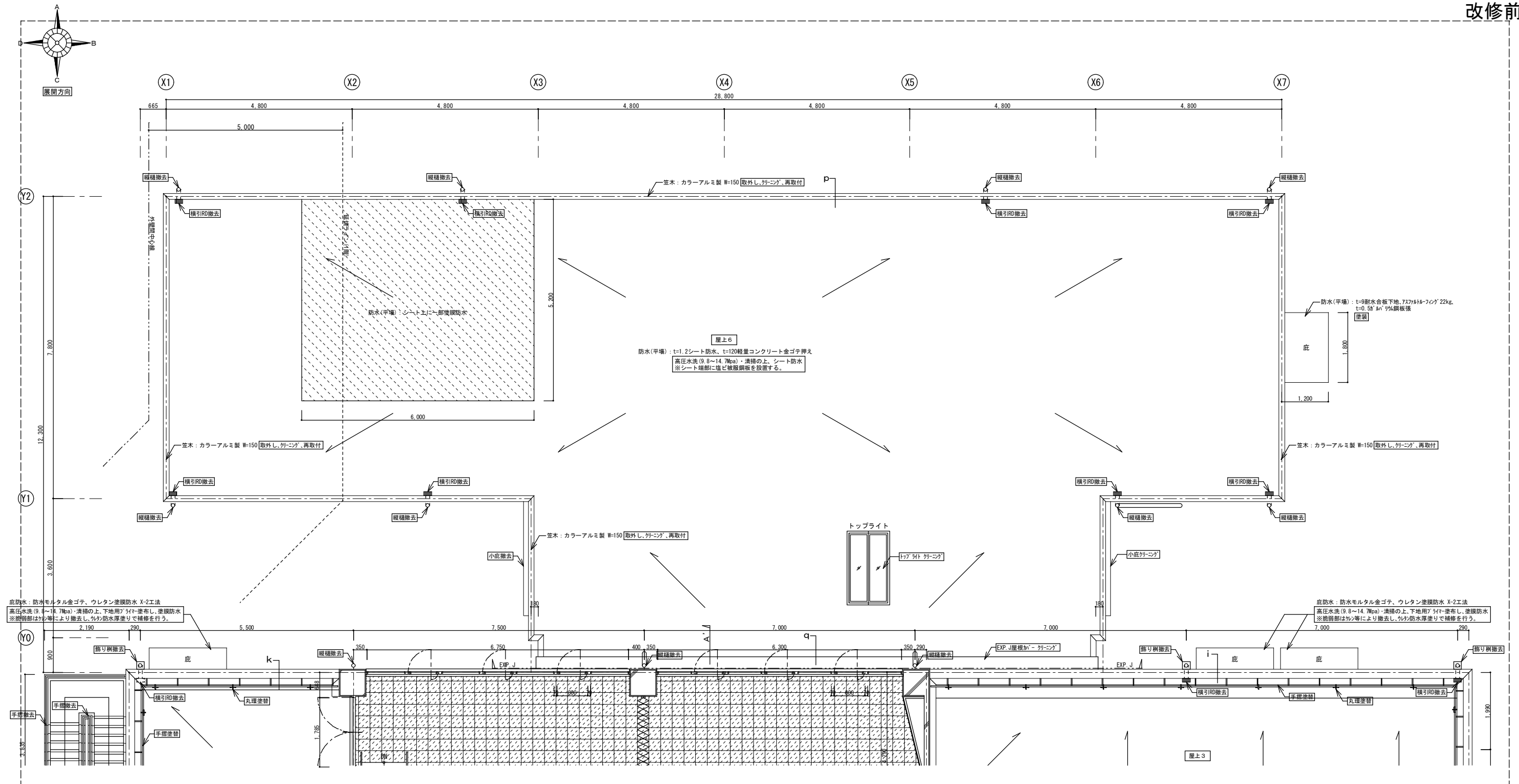
※男性仮眠室15～17について「男性仮眠室平面詳細図、展開図(2)」を参照すること。

※男性仮眠室20～22について「男性仮眠室平面詳細図、展開図(3)」を参照すること。

※ベッドについて「家具キープラン・詳細図」「内部仮設計画図(2)」を参照すること。

		設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮 尺	工 事 名 称	図 面 名 称	図面番号
		2025. 06		A1-1:50	庄和消防署大規模改修工事	増築棟 平面詳細図（改修後）	A－48

改修前



増築棟 屋根伏図 (改修前) S=1/50

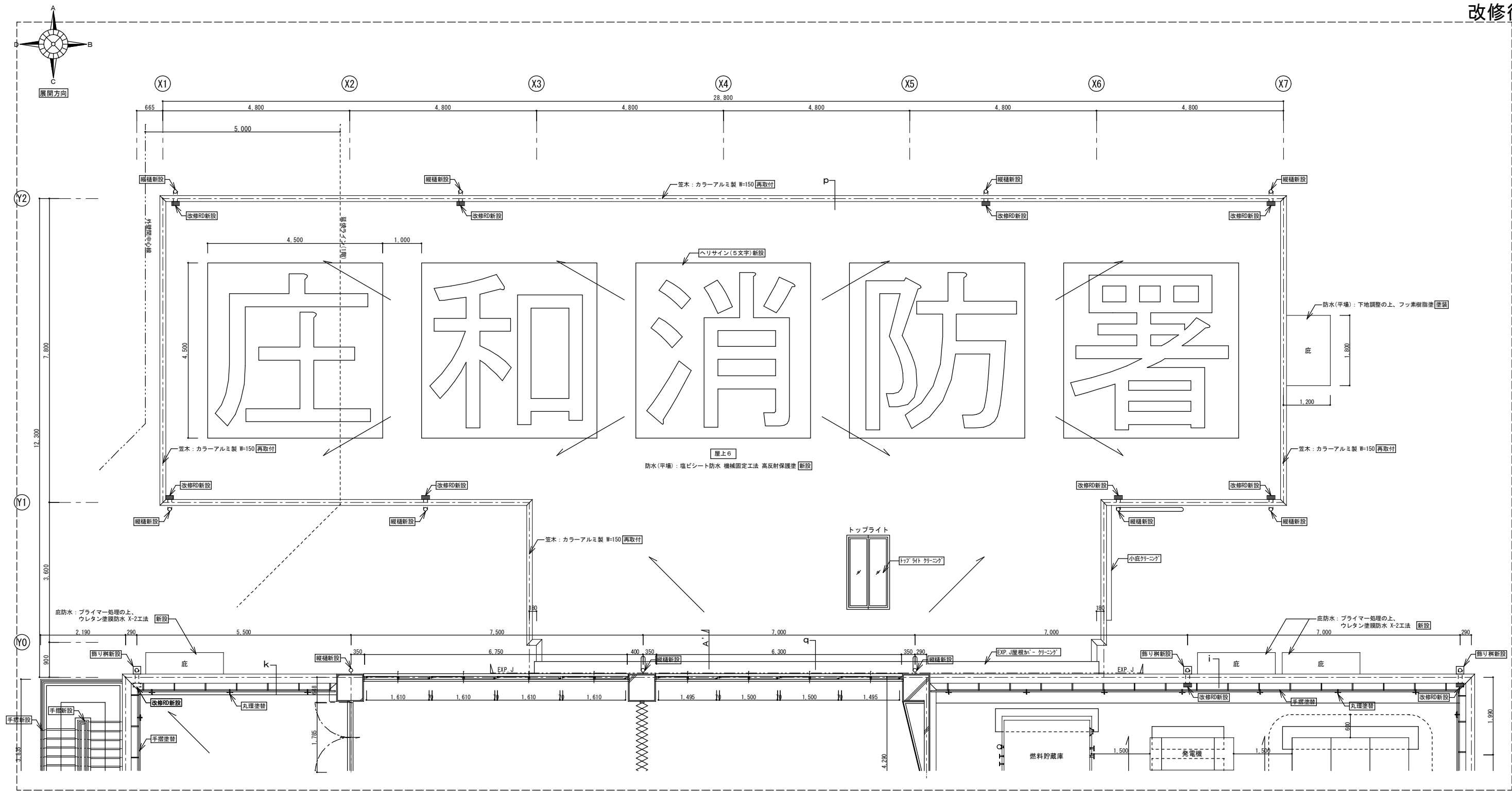
凡 例（改修前）

 : 今回工事内容を示す

 : シート上に一部塗膜防水の範囲を示す

※トッブライトについて「屋上防水詳細図(2)」を参照すること。

	設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮 尺	工 事 名 称	図 面 名 称	図面番号
	2025. 06		A1-1:50	庄和消防署大規模改修工事	増築棟 屋根伏図（改修前）	A－4 9



増築棟 屋根伏図（改修後） S=1/50

凡 例（改修後）

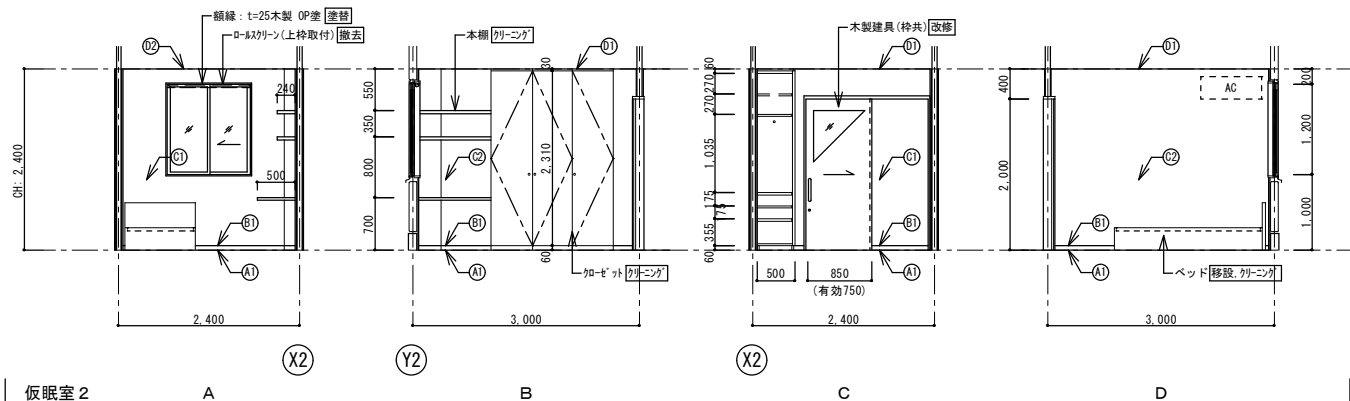
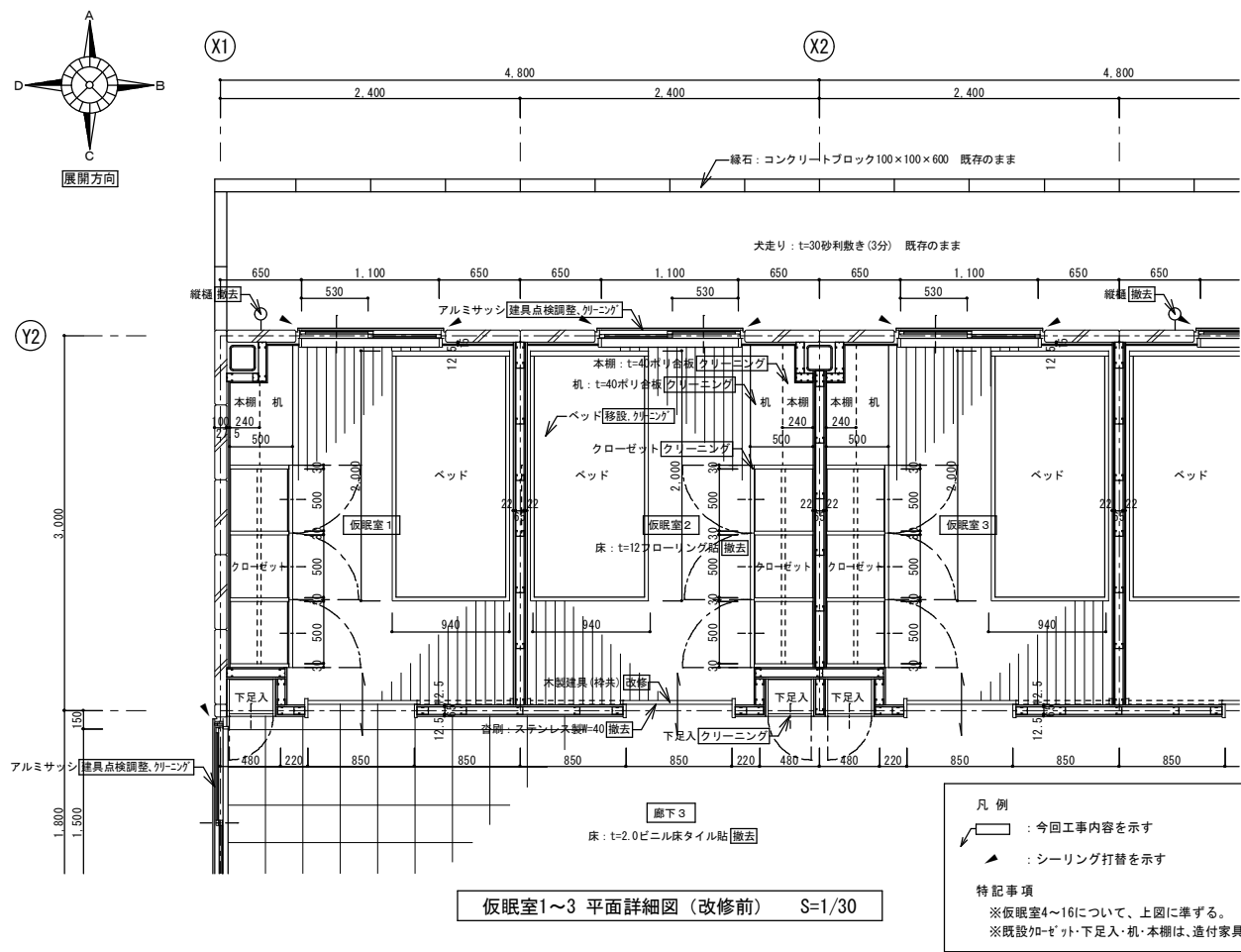
 : 今回工事内容を示す

特 記 事 項

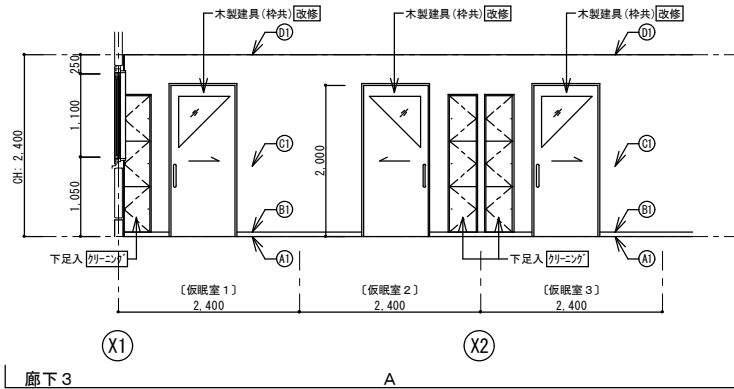
※トップライト、ヘリサインについて「屋上防水詳細図（2）」を参照すること。

	設計年月日	春日部市 消防本部 総務課	縮 尺	工 事 名 称	図 面 名 称	図面番号
	2025. 06		A1-1:50 A3-1:100	庄和消防署大規模改修工事	増築棟 屋根伏図（改修後）	A-50

改修前



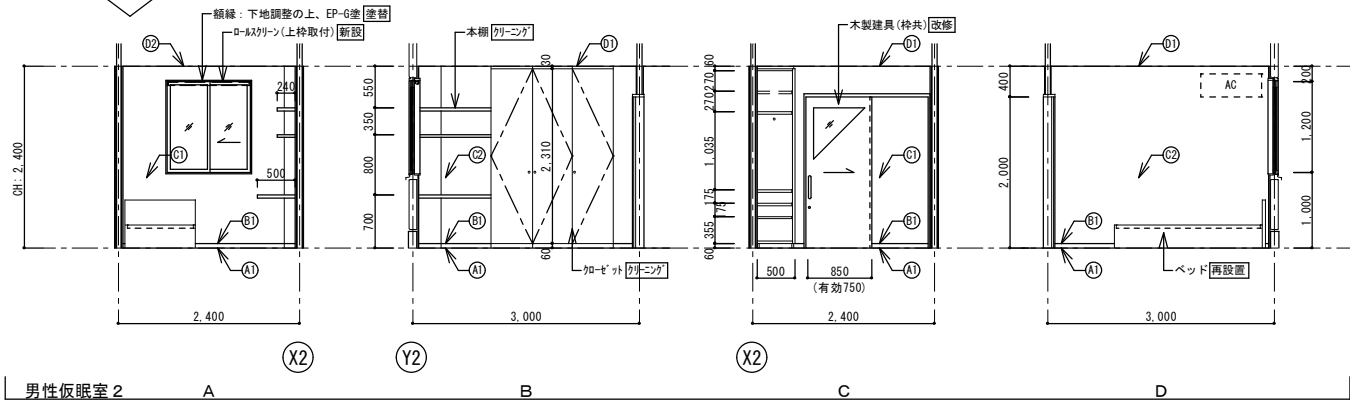
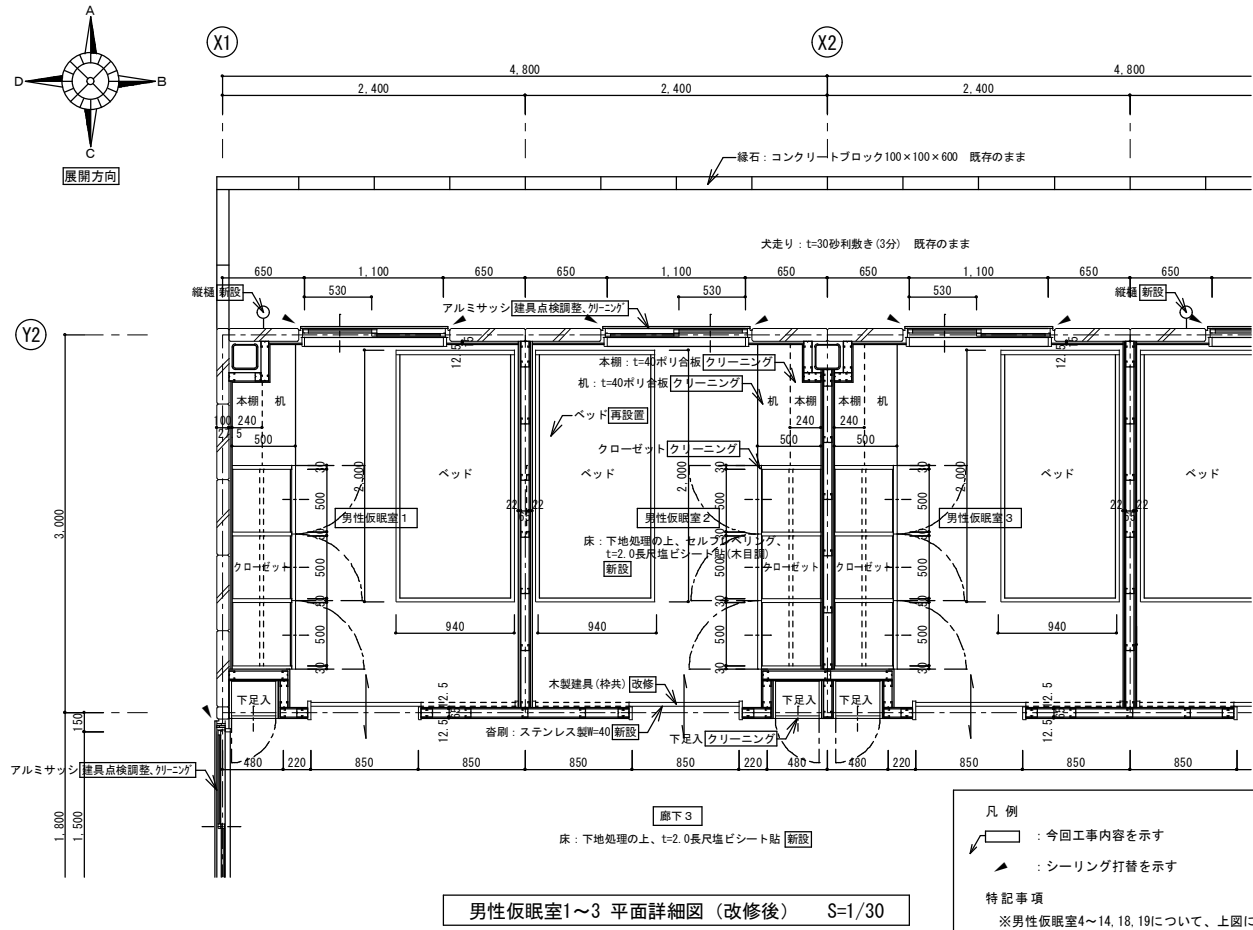
特記事項
※仮眠室1, 3, 4～14について、上図に準ずる。
※仮眠室15, 16について、ベッドおよび天井仕上材は撤去とする。



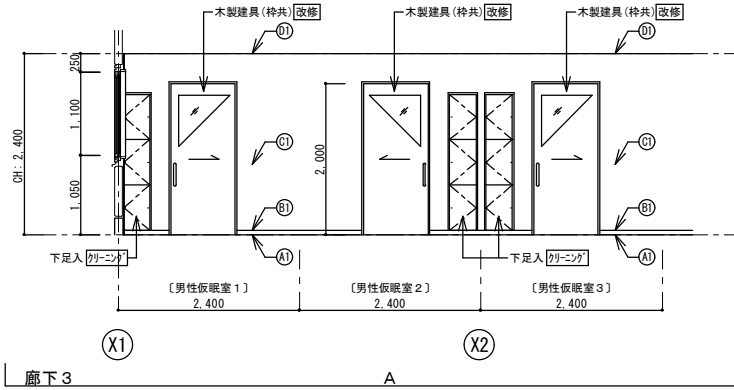
仮眠室1～3 (改修前)	
仕上表	
床	(A1) t=12フロアリング貼 撤去
巾木	(B1) ソフト巾木 H=60 【AS.LV3】 撤去
壁	(C1) t=12.5石膏ボード下地、t=12岩綿吸音板張 撤去
天井	(D1) t=9.5石膏ボード捨張、t=12岩綿吸音板張 撤去
備考	ベッド 移設、クリーニング クローゼット クリーニング 机、本棚 クリーニング ロールスクリーン 撤去

廊下3 (改修前)	
仕上表	
床	(A1) t=2.0ビニル床タイル貼 撤去
巾木	(B1) ソフト巾木 H=60 【AS.LV3】 撤去
壁	(C1) t=12.5石膏ボード下地、t=12岩綿吸音板張 撤去
天井	(D1) t=9.5石膏ボード捨張、t=12岩綿吸音板張 撤去
備考	下足入 クリーニング

改修後

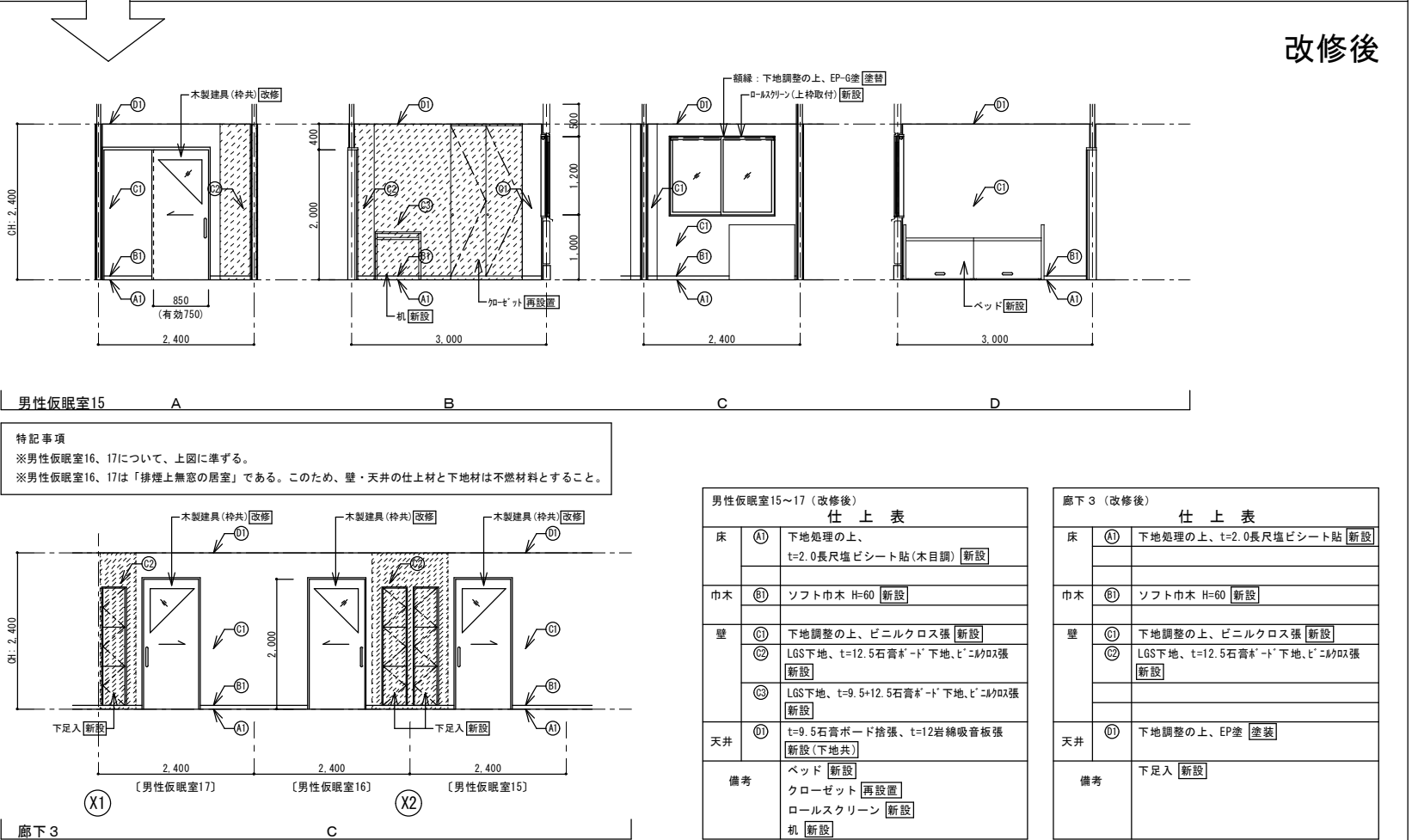
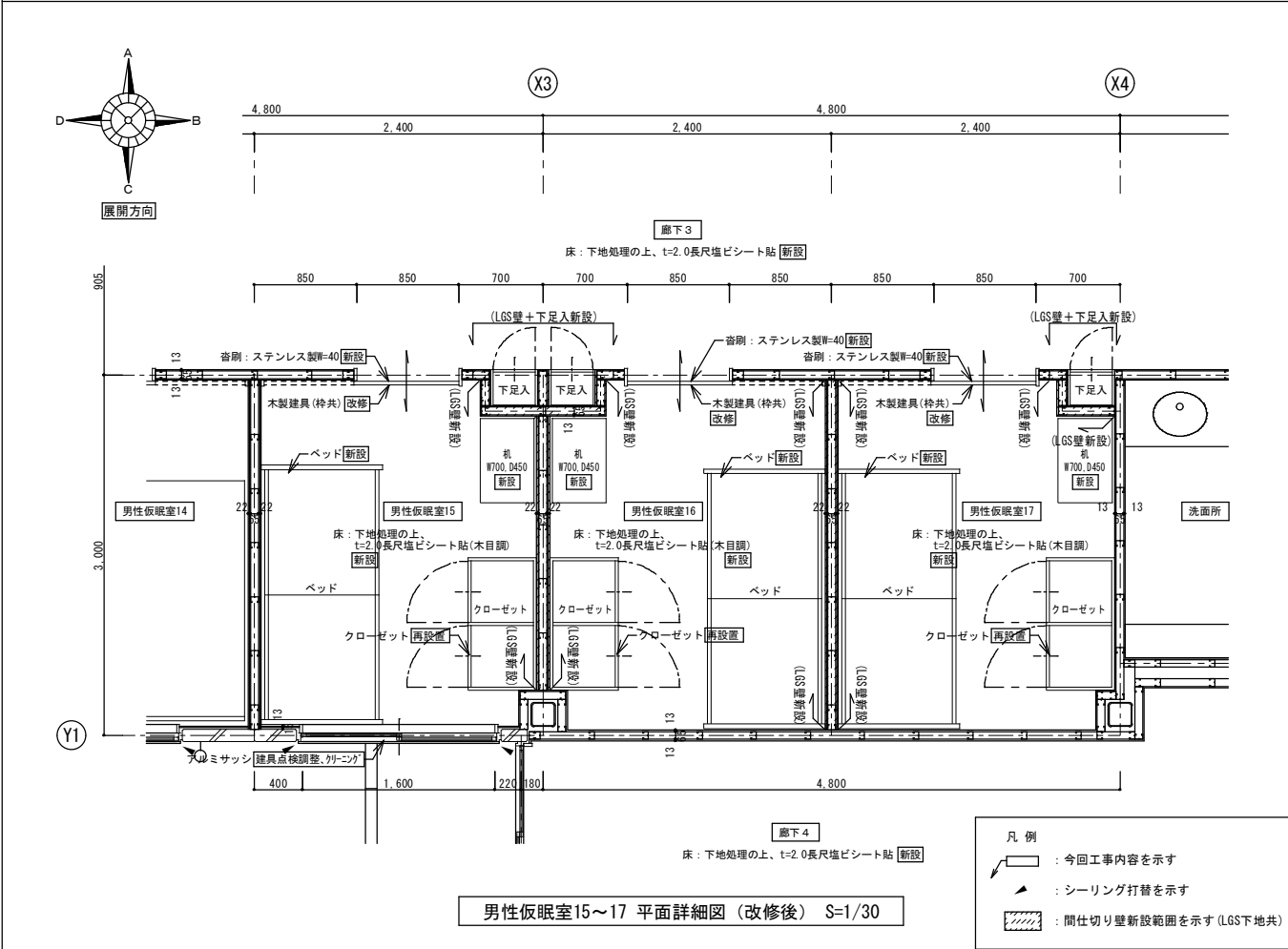
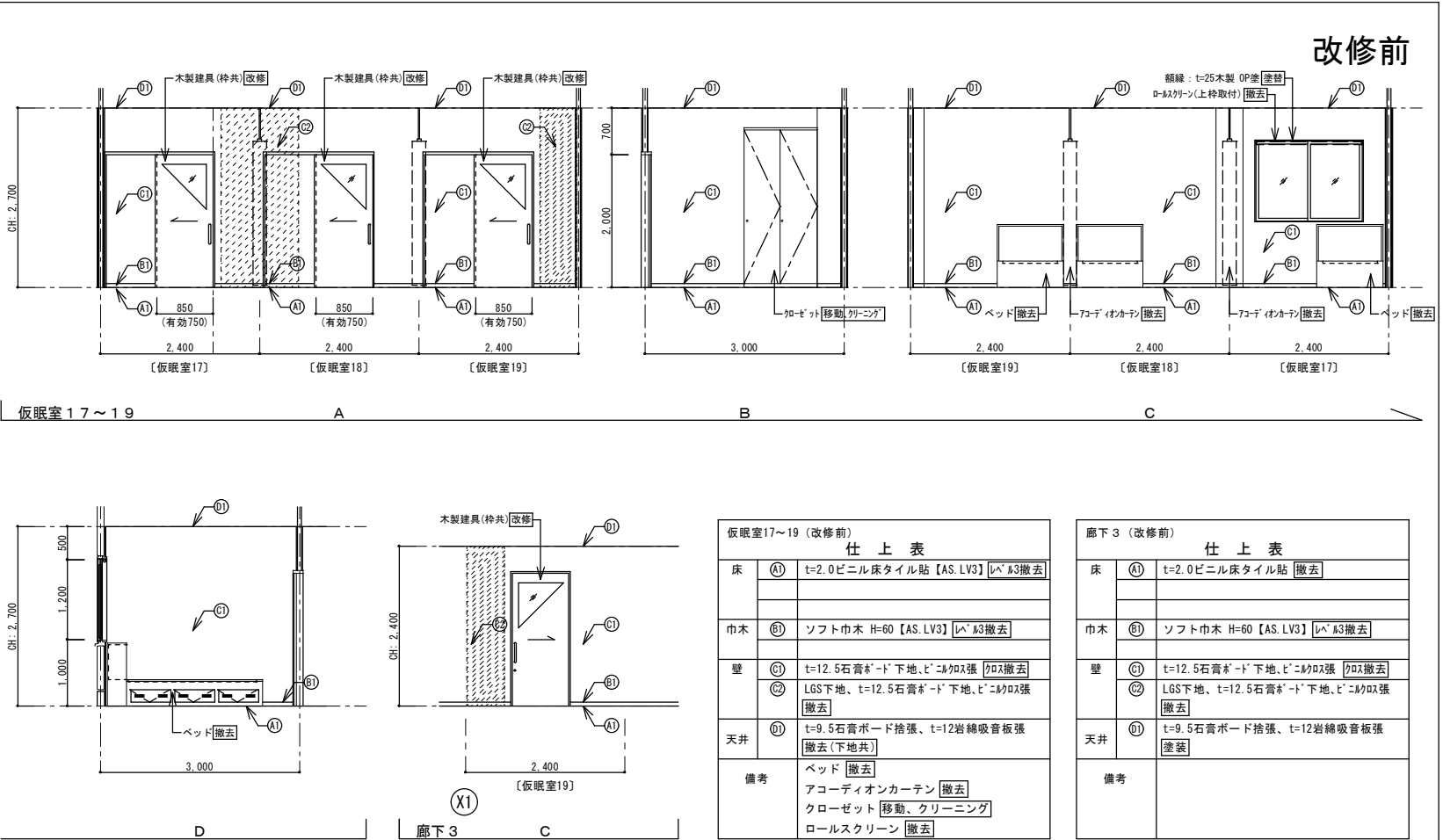
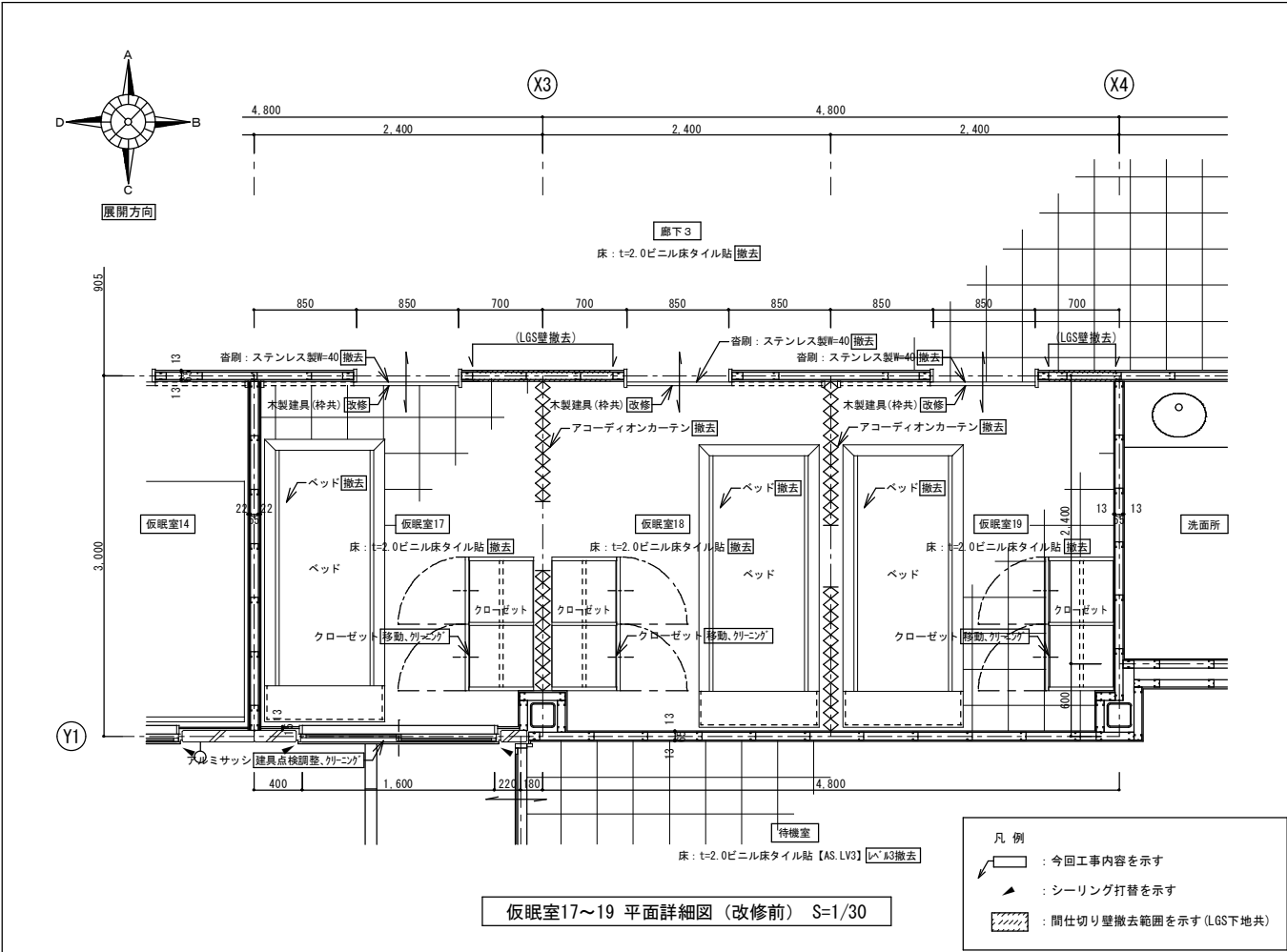


特記事項
※男性仮眠室1, 3～14, 18, 19について、上図に準ずる。
※男性仮眠室18, 19について、ベッドおよび天井仕上材は新設とする。

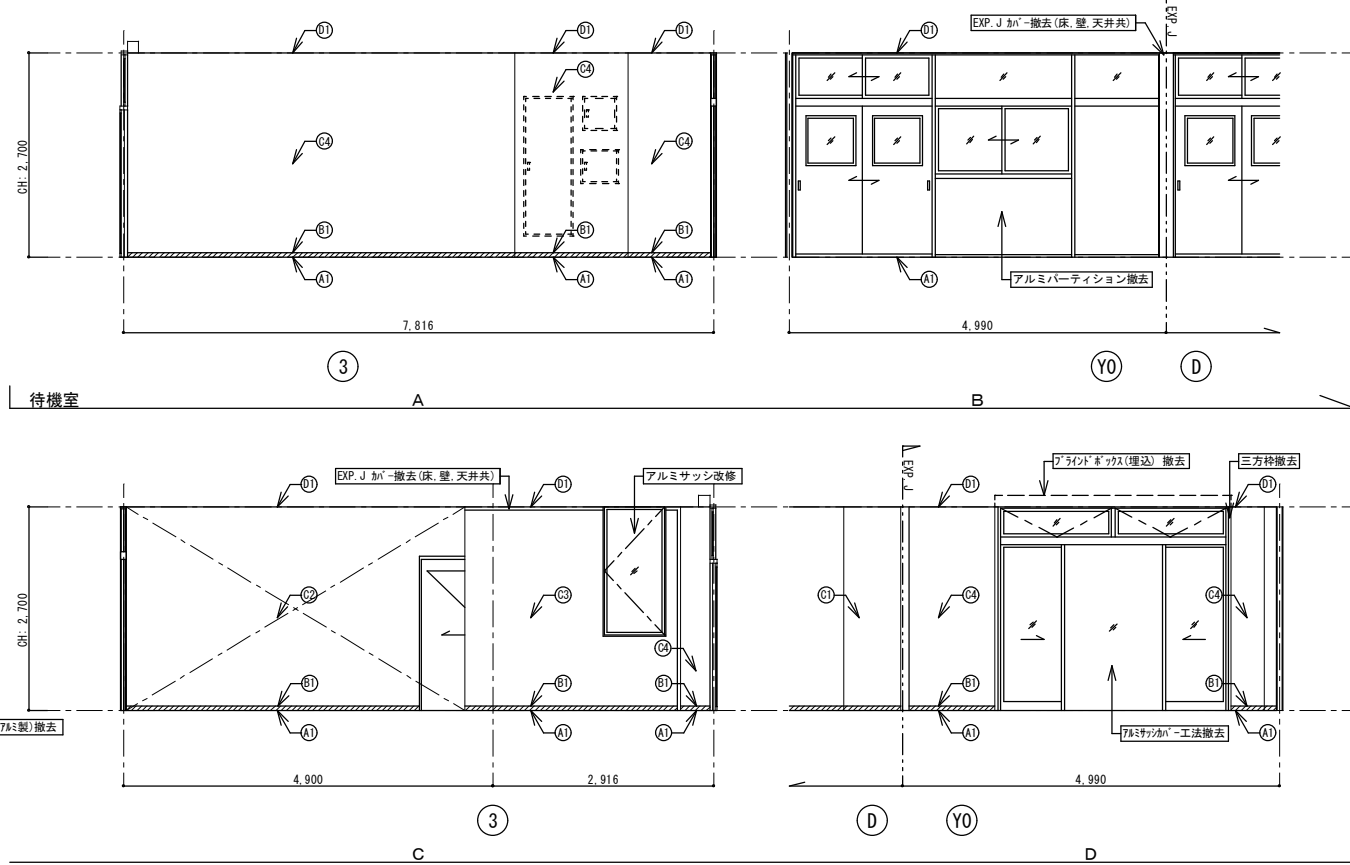
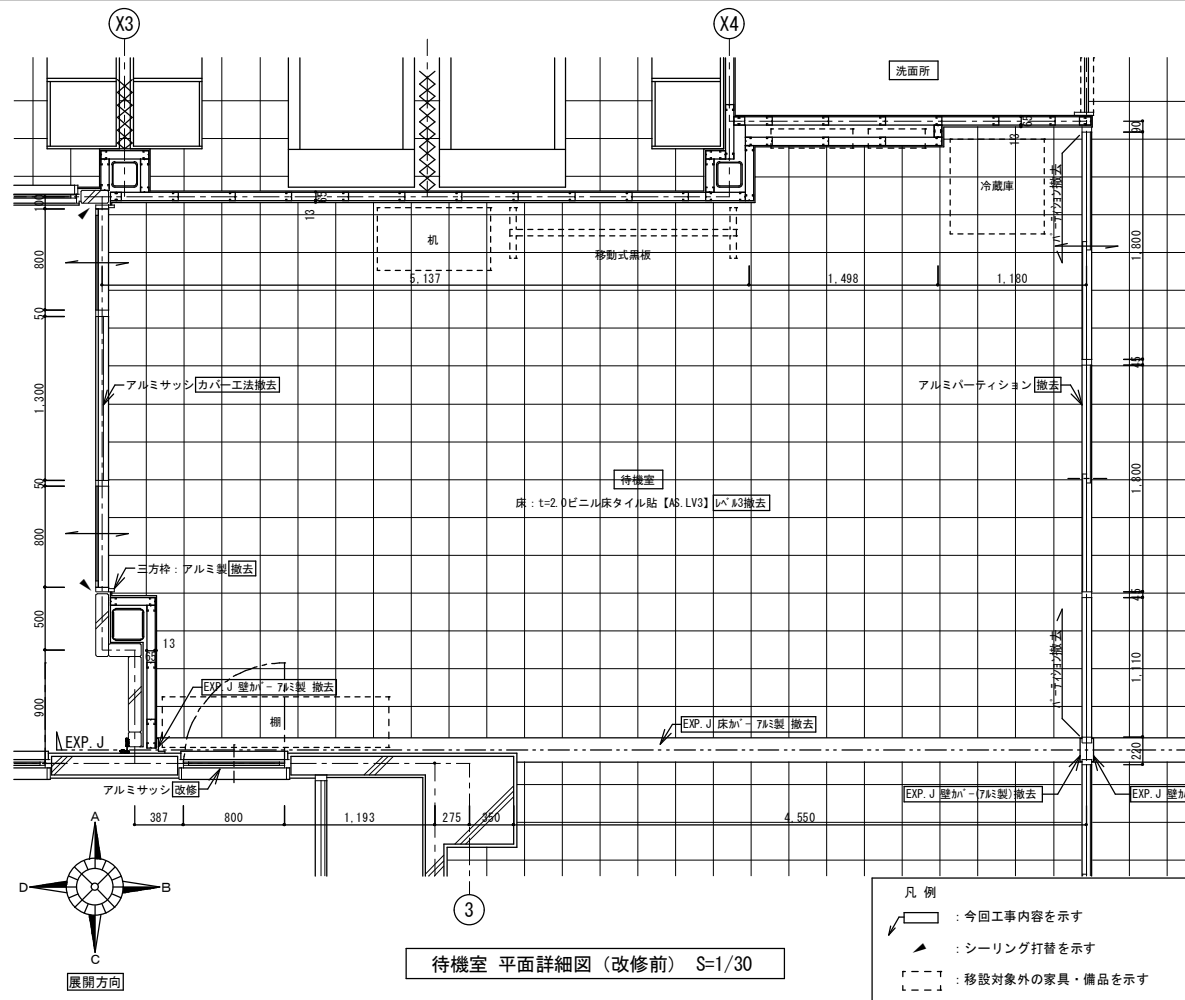


男性仮眠室1～3 (改修後)	
仕上表	
床	(A1) 下地処理の上、セルフレベリング、t=2.0長尺塩ビシート貼(木目調) 新設
巾木	(B1) ソフト巾木 H=60 新設
壁	(C1) 下地調整の上、ビニルクロス張 新設
天井	(D1) 下地調整の上、EP塗 塗装
備考	ベッド 再設置 クローゼット クリーニング 机、本棚 クリーニング ロールスクリーン 撤去

廊下3 (改修後)	
仕上表	
床	(A1) 下地処理の上、t=2.0長尺塩ビシート貼 新設
巾木	(B1) ソフト巾木 H=60 新設
壁	(C1) 下地調整の上、ビニルクロス張 新設
天井	(D1) 下地調整の上、EP塗 塗装
備考	下足入 クリーニング

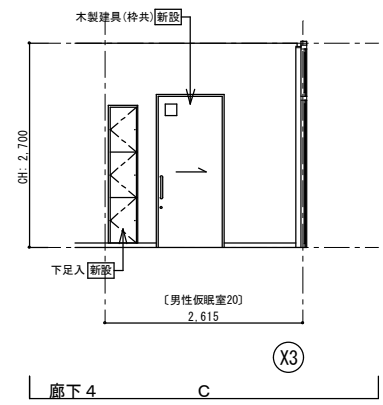
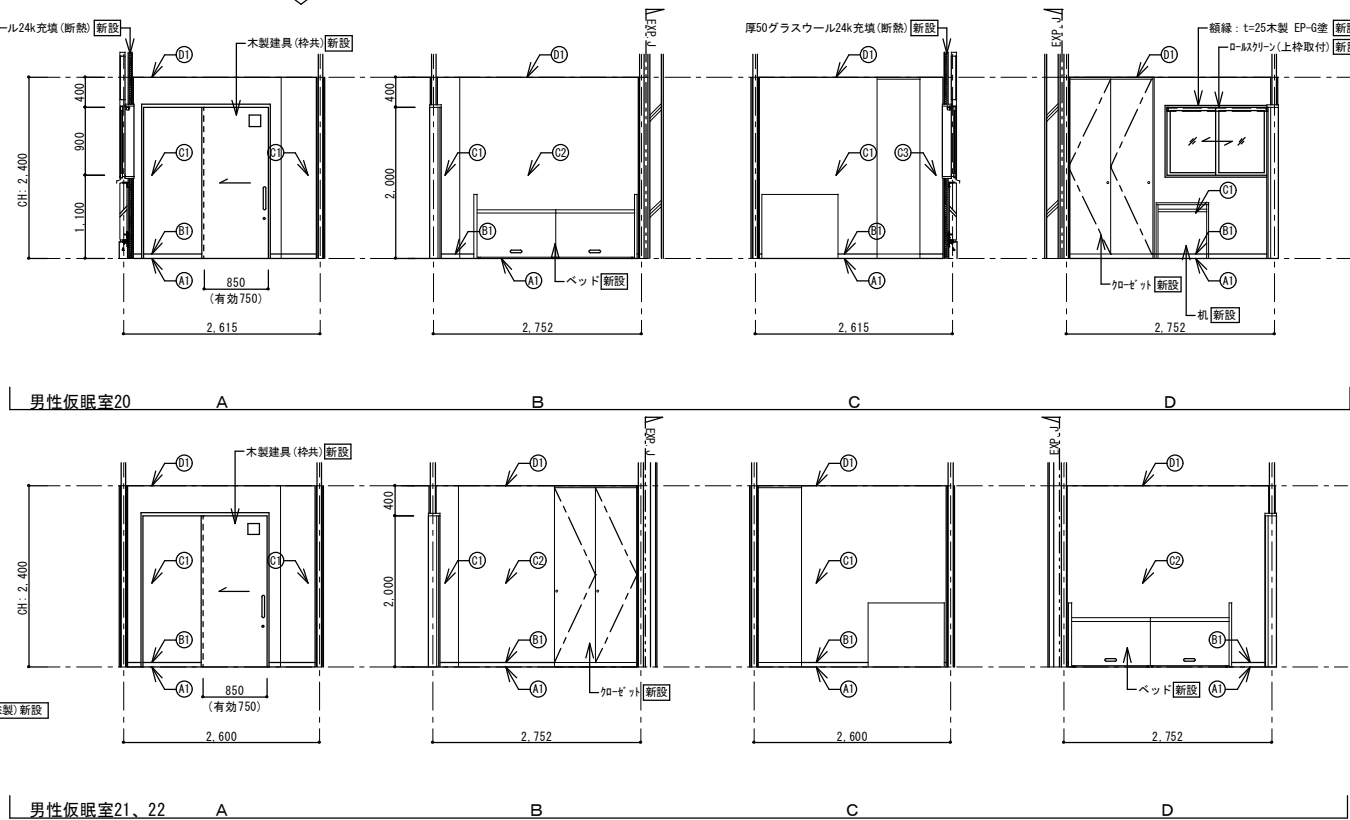
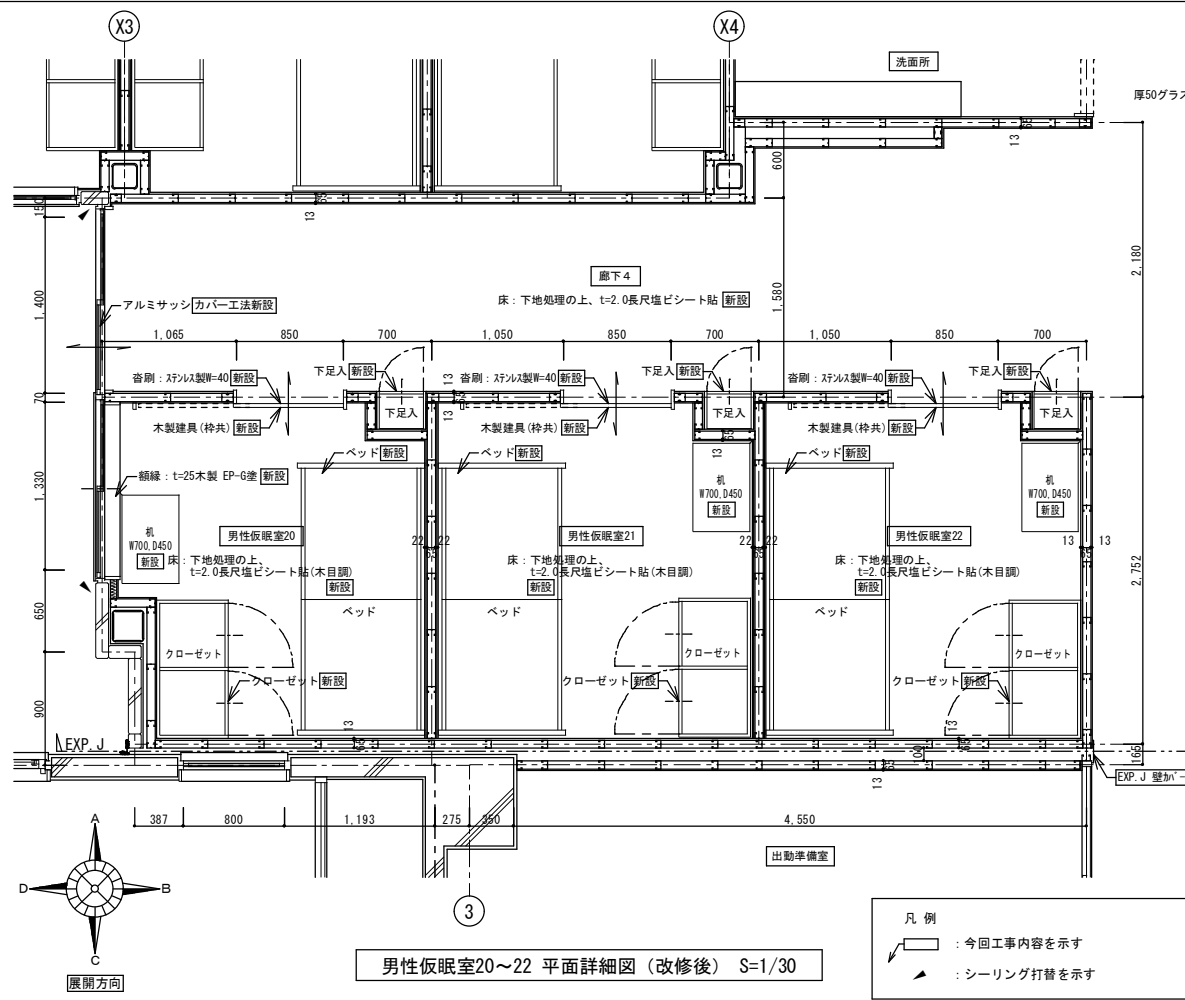


改修前



待機室（改修前） 仕 上 表		
床	①	t=2.0ビニル床タイル貼【AS.LV3】 レベリング撤去
巾木	②	ソフト巾木 H=60【AS.LV3】 レベリング撤去
壁	③	t=25モルタル金「下」押え【AS.LV3】EP塗 塗替
	④	t=12.5石膏ボード張 EP塗 塗替
	⑤	モルタル刷毛引き、吹付タイル 既存のまま
	⑥	t=12.5石膏ボード下地、ビニルクロス張 クロス撤去
天井	⑦	t=9.5石膏ボード 捨張、t=12岩綿吸音板張 撤去（下地共）
備考		

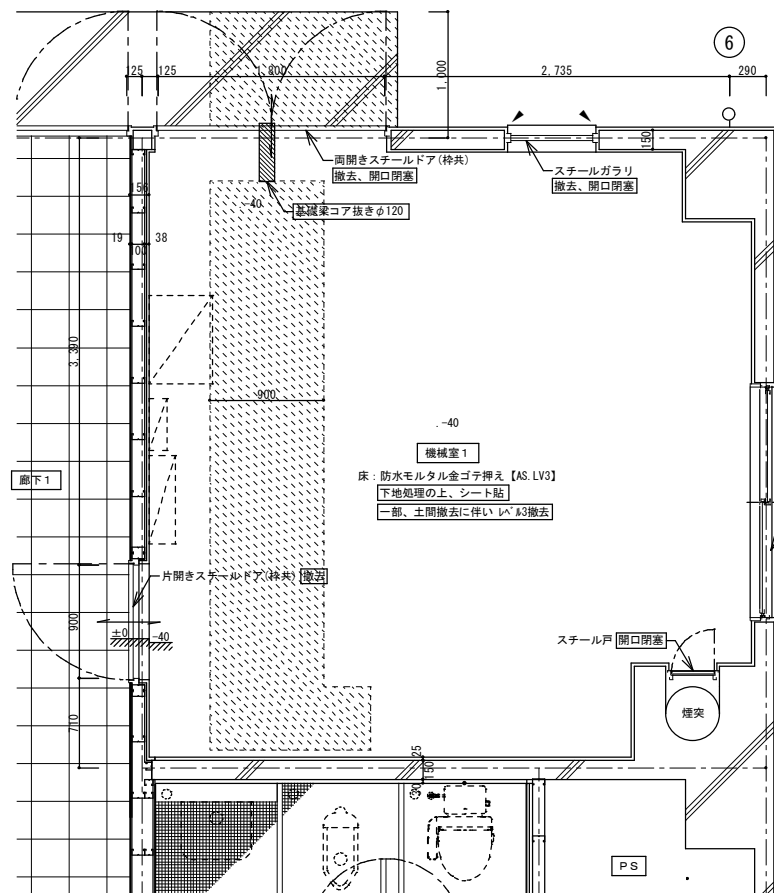
改修後



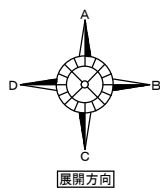
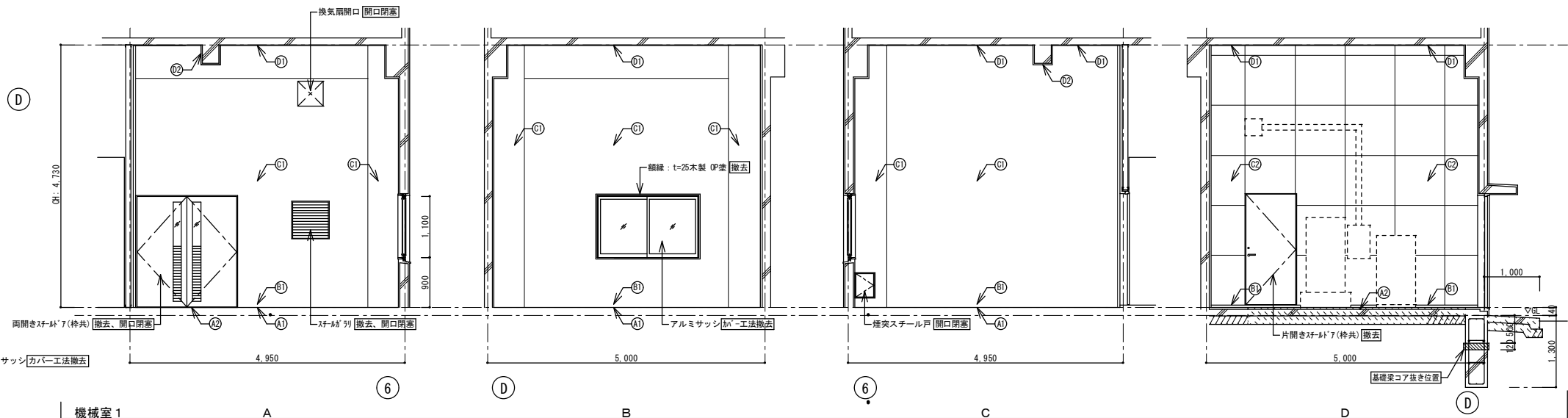
男性仮眠室20～21（改修後） 仕 上 表		
床	①	下地処理の上、 t=2.0長尺塩ビシート貼（木目調） 新設
巾木	②	ソフト巾木 H=60 新設
壁	③	LGS下地、t=12.5石膏ボード下地、ビニルクロス張 新設
	④	LGS下地、t=9.5+12.5石膏ボード下地、ビニルクロス張 新設
	⑤	下地調整の上、ビニルクロス張 新設
	⑥	t=9.5石膏ボード 捨張、t=12岩綿吸音板張 新設（下地共）
天井	⑦	t=9.5石膏ボード 捨張、t=12岩綿吸音板張 新設（下地共）
備考	ベッド 新設 クローゼット 新設 ロールスクリーン 新設 机 新設	

特記事項
※廊下4について、「展開図（4）（改修後）」を参照すること。
※男性仮眠室20について、「雑詳細図（2）壁壁A L C版張」を参照すること。
※出勤準備室、男性仮眠室21・22は「排煙上無窓の居室」である。このため、壁・天井の仕上材と下地材は不燃材料とすること。

改修前



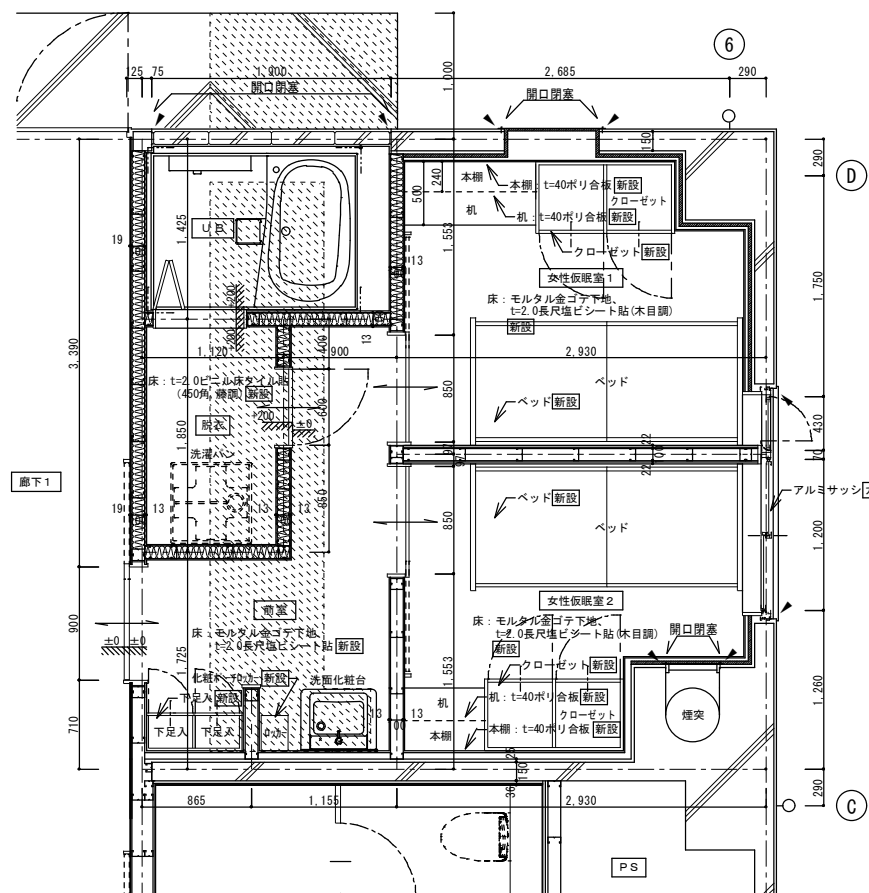
機械室1 平面詳細図 (改修前) S=1/30



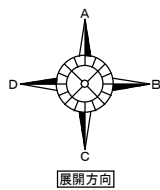
- 凡 例
- 今回工事内容を示す
 - 設備機器撤去を示す (設備工事)
 - シーリング撤去を示す
 - 土間コンクリート研り撤去範囲を示す

機械室1 (改修前)		仕 上 表	
床	① 防水モルタル金ゴテ押え【AS. LV3】 ② 防水モルタル金ゴテ押え【AS. LV3】撤去	備考	片開きスチールドア (枠共) 撤去 両開きスチールドア (枠共) 撤去、開口閉塞 換気扇開口 開口閉塞 スチールガラリ 撤去、開口閉塞 アルミサッシ カバー工法撤去 煙突スチール戸 開口閉塞
巾木	③ 防水モルタル金ゴテ押え【AS. LV3】		
壁	④ t=25防水モルタル金ゴテ押え【AS. LV3】 AEP塗 ⑤ t=12.5石膏ボード 捨張、t=25ロックウール MG 化粧吸音材張 撤去		
天井	⑥ t=15木毛セメント板打込 白セメント吹付		
梁型	⑦ t=25防水モルタル金ゴテ押え【AS. LV3】 AEP塗		

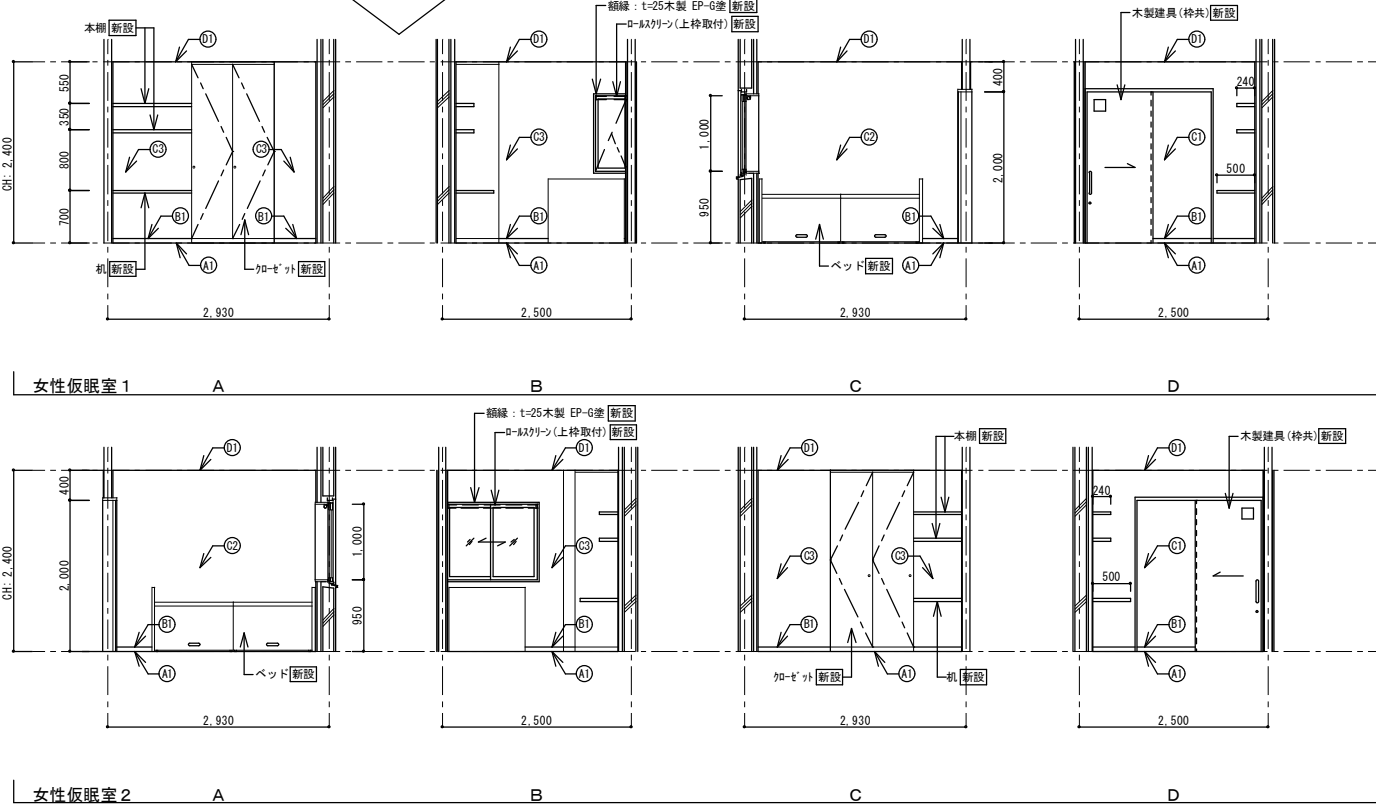
改修後



女性仮眠室1、2 平面詳細図 (改修後) S=1/30

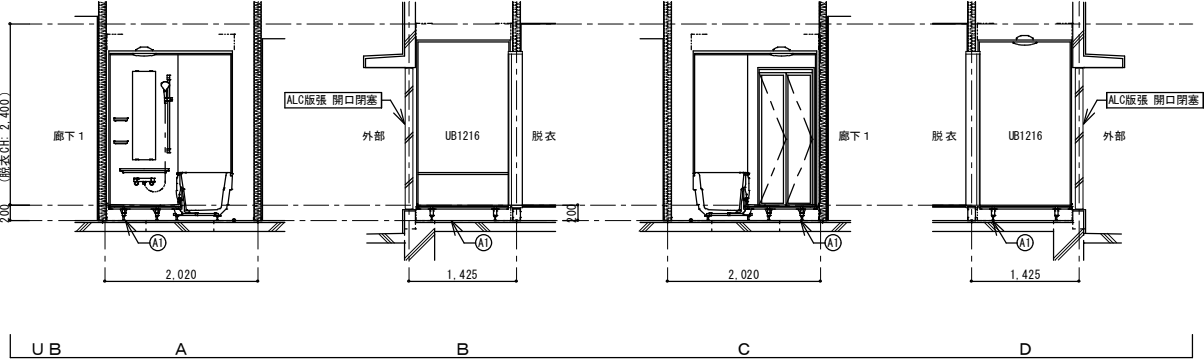
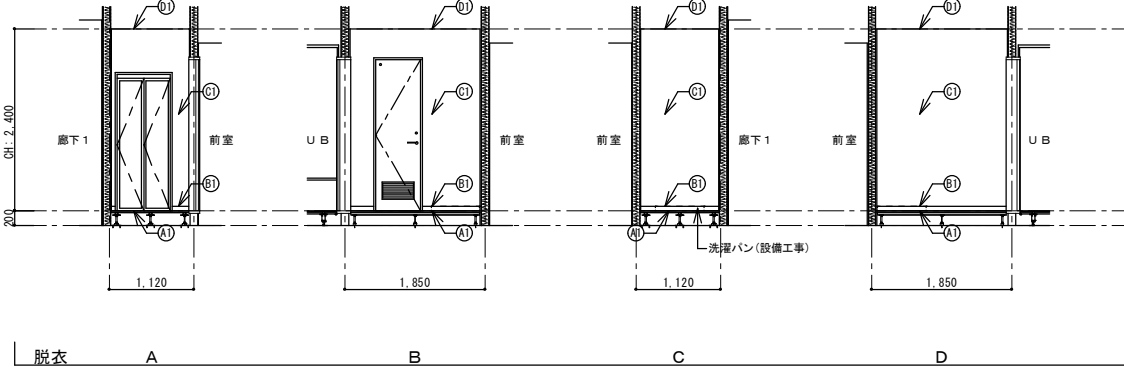
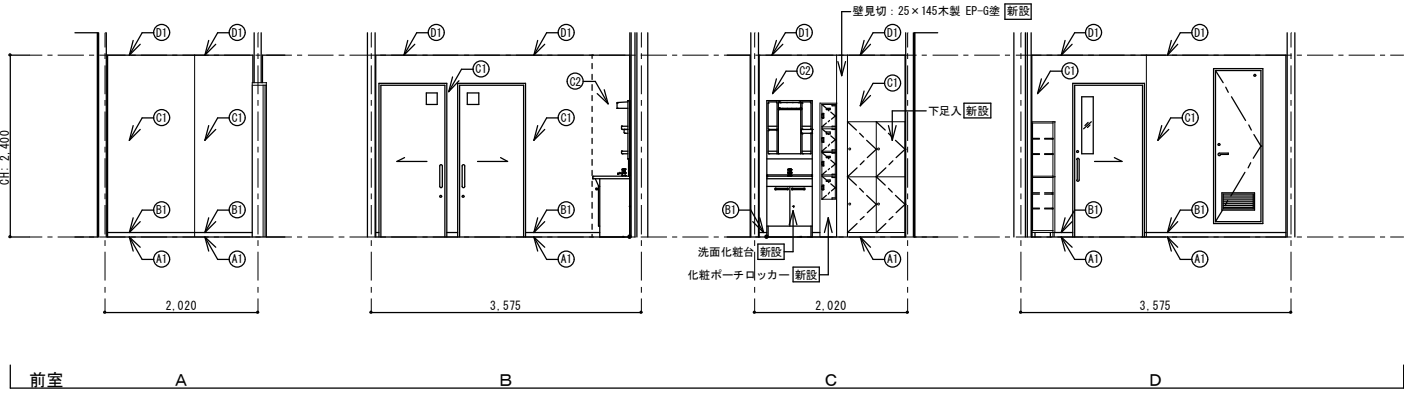


- 凡 例
- 今回工事内容を示す
 - 間仕切り壁内 t=100グラスウール24k充填 (断熱、遮音)
 - 外壁廻り t=25発泡ウレタン吹付 (断熱) を示す
 - シーリング新設を示す
 - 土間コンクリート新設 (復旧) 範囲を示す



特記事項
※廊下4について、「展開図(4) (改修後)」を参照すること。
※開口閉塞について、「詳細図(3)」を参照すること。
※女性仮眠室1・2は「排煙上無窓の居室」である。このため、壁・天井の仕上材と下地材は不燃材料とすること。

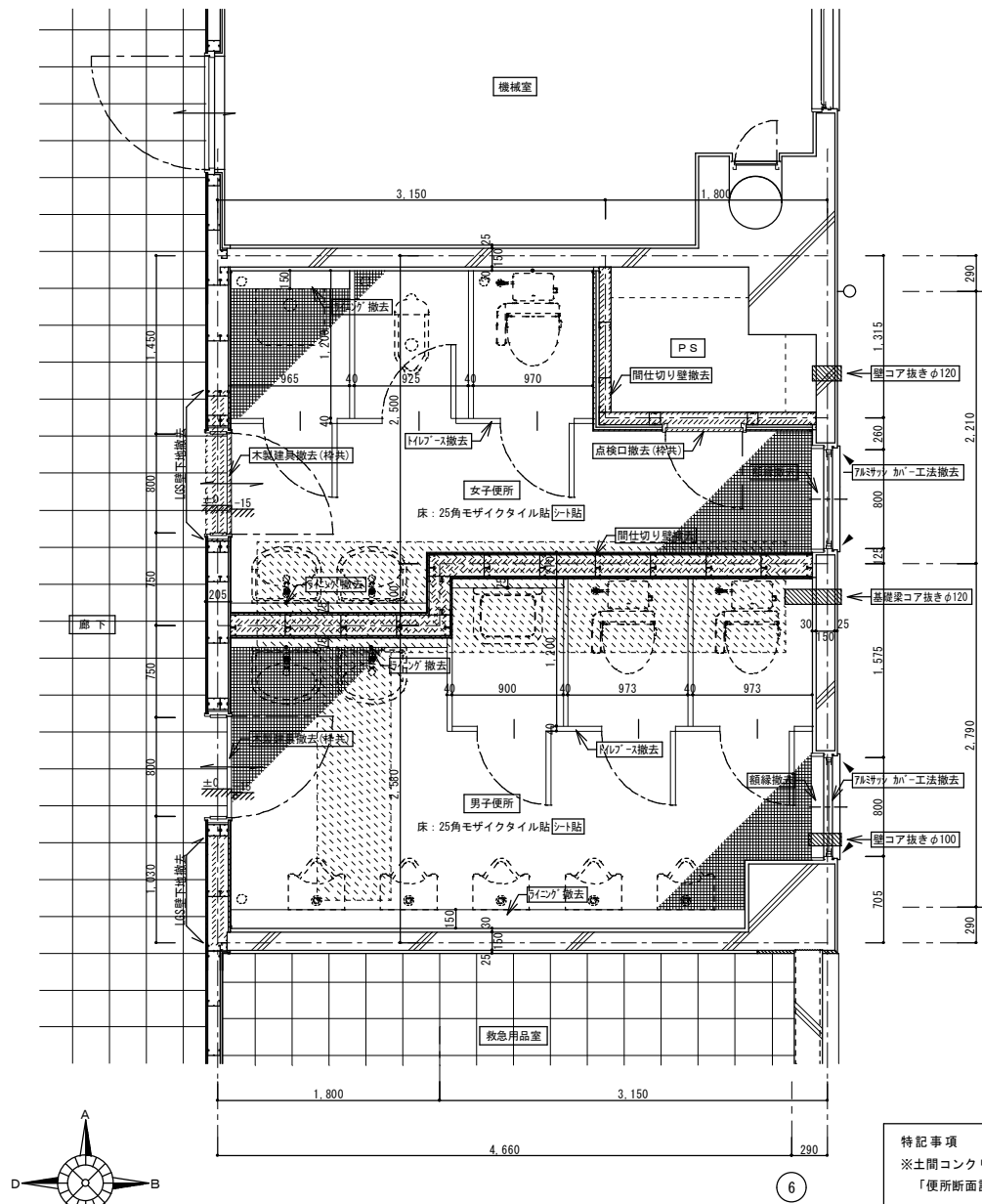
女性仮眠室1、2 (改修後) 仕 上 表	
床	① モルタル金ゴテ下地、 t=2.0長尺塩ビシート貼 (木目調) 新設
巾木	② ソフト巾木 H=60 新設
壁	③ LGS下地、t=12.5石膏ボード下地、ビニルクロス張 新設 ④ LGS下地、t=9.5+12.5石膏ボード下地、ビニルクロス張 新設 ⑤ t=25発泡ウレタン吹付、t=12.5石膏ボード下地 (GL工法)、 ビニルクロス張 新設
天井	⑥ t=9.5石膏ボード捨張、t=12岩綿吸音板張 新設 (下地共)
備考	ベッド 新設 クローゼット 新設 ロールスクリーン 新設 机、本棚 新設



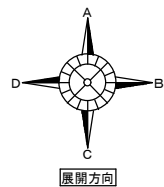
前室 (改修後)		
仕 上 表		
床	①	モルタル金ゴテ下地、t=2.0長尺塩ビシート貼 新設
巾木	②	ソフト巾木 H=60 新設
壁	③	LGS下地、t=12.5石膏ボード下地、ビニルクロス張 新設
天井	④	LGS下地、t=12.5耐水石膏ボード下地、ビニルクロス張 新設
天井	⑤	t=9.5石膏ボード捨張、t=12岩綿吸音板張 新設(下地共)
備考		洗面化粧台 新設 化粧ポーチロッカー 新設 下足入 新設

脱衣 (改修後)		
仕 上 表		
床	①	銅製床下地、t=12×12耐水合板、t=2.5ビニル床タイル貼 (450角、藤調) 新設
巾木	②	ソフト巾木 H=60 新設
壁	③	LGS下地、t=12耐水石膏ボード下地、防湿シート、t=9樹脂製バスパネル張 新設
天井	④	防湿シート、t=9樹脂製バスパネル張 新設(下地共)
備考		

UB (改修後)		
仕 上 表		
床	①	下地処理および不陸調整の上、U6設置 新設
巾木	②	—
壁	③	—
天井	④	—
備考		

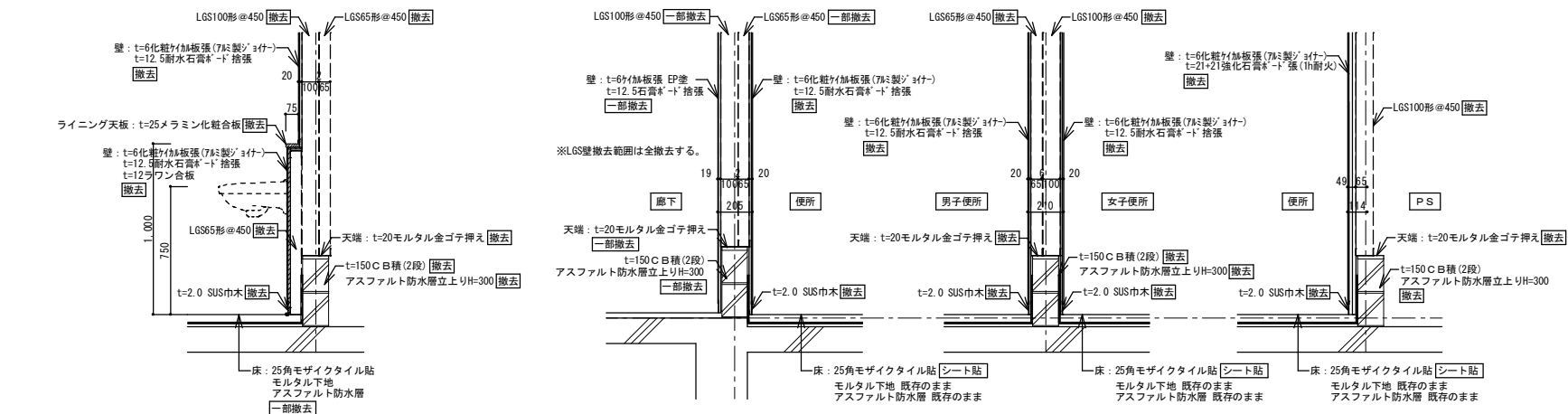


1階 便所平面詳細図 (改修前) S=1/30



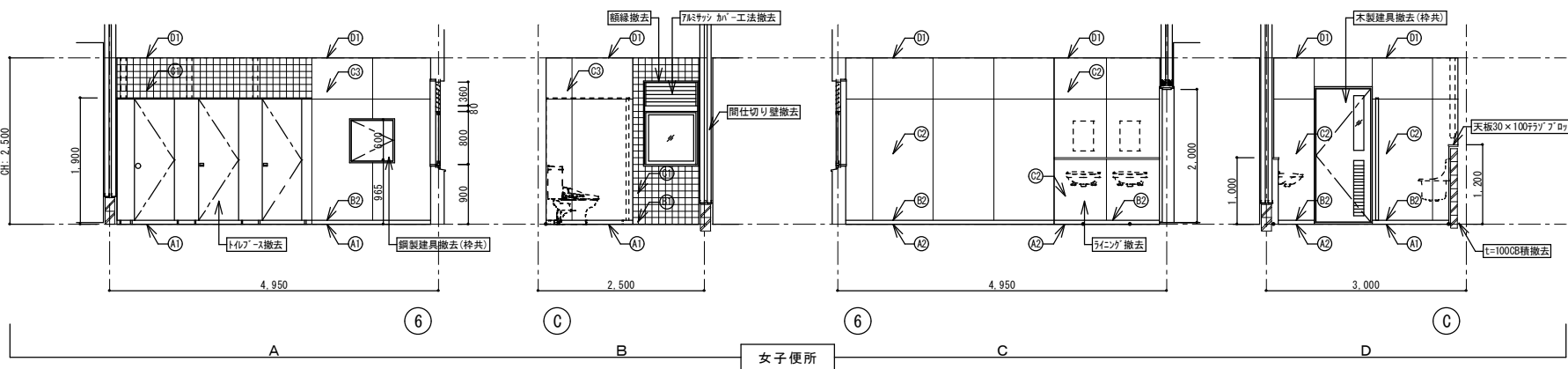
特記事項
※土間コンクリート研り撤去範囲 および コア抜き位置について、
「便所断面詳細図 (改修前・後)」を参照すること。

凡 例	
	: 今回工事内容を示す
	: シーリング打替を示す
	: 間仕切り壁撤去範囲を示す (LGS下地共)
	: 土間コンクリート研り撤去範囲を示す



手洗いライニング詳細図 (改修前) S=1/20

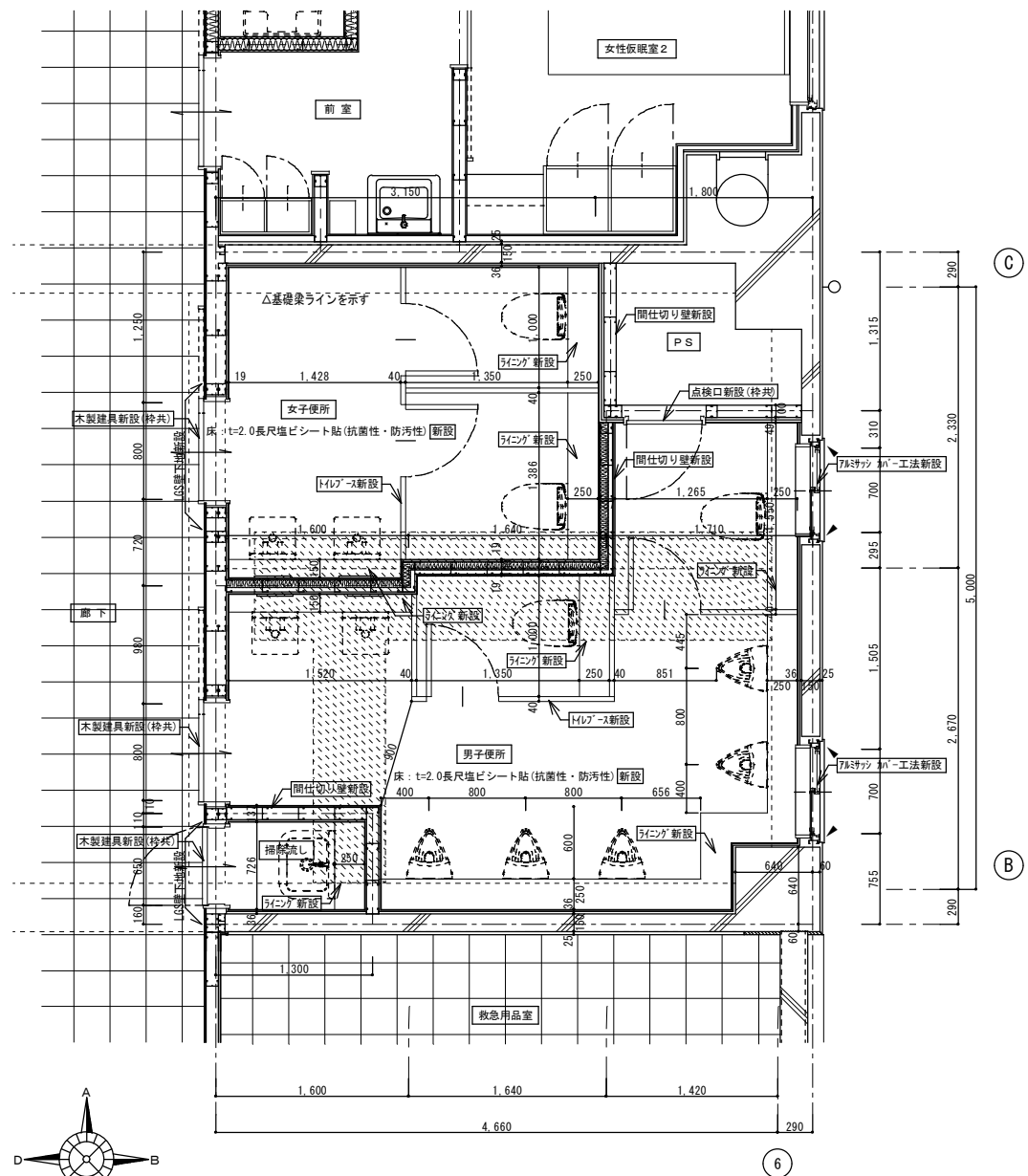
間仕切り壁詳細図 (改修前) S=1/20



1階 便所展開図 (改修前) S=1/50

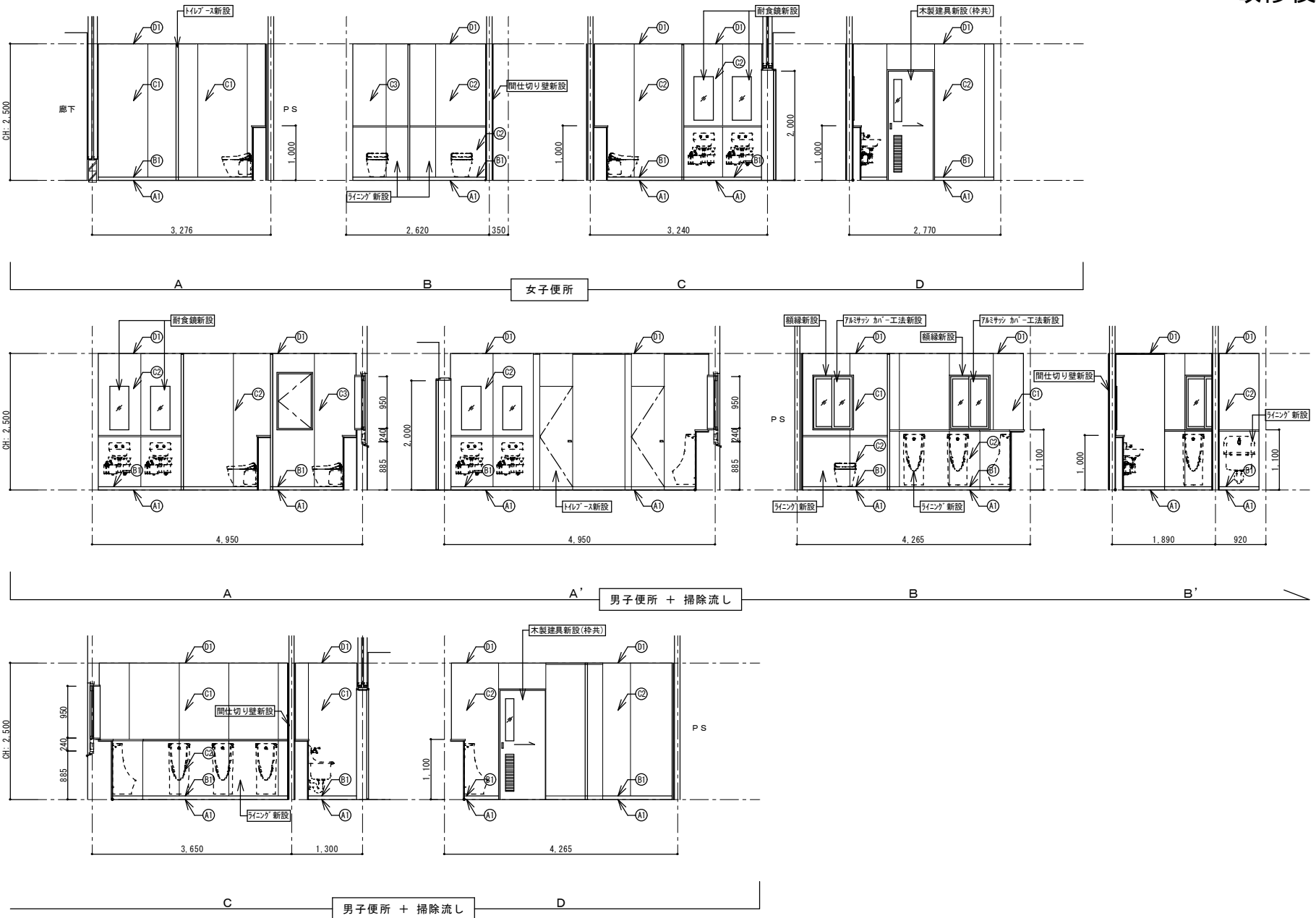
女子便所 (改修前)		
仕 上 表		
床	①	モルタル下地、25角モザイクタイル貼 [シート貼]
	②	モルタル下地、25角モザイクタイル貼 撤去
巾木	⑥	モルタル下地、100角カラータイル張 撤去
	⑦	t=2.0 SUS巾木 撤去
	⑧	モルタル下地、100角カラータイル張 撤去
	⑨	t=12.5耐水石膏ボード張、t=6化粧材貼張 (7mm製ジョイナー) 撤去
壁	⑩	t=21+21強化石膏ボード張、t=6化粧材貼張 (7mm製ジョイナー) 撤去
	⑪	t=9.5化粧石膏ボード張 撤去 (下地共)
天井	⑫	t=9.5化粧石膏ボード張 撤去 (下地共)
備考		

男子便所 (改修前)		
仕 上 表		
床	①	モルタル下地、25角モザイクタイル貼 [シート貼]
	②	モルタル下地、25角モザイクタイル貼 撤去
巾木	⑥	モルタル下地、100角カラータイル張 撤去
	⑦	t=2.0 SUS巾木 撤去
	⑧	モルタル下地、100角カラータイル張 撤去
	⑨	t=12.5耐水石膏ボード張、t=6化粧材貼張 (7mm製ジョイナー) 撤去
壁	⑩	t=21+21強化石膏ボード張、t=6化粧材貼張 (7mm製ジョイナー) 撤去
	⑪	t=9.5化粧石膏ボード張 撤去 (下地共)
天井	⑫	t=9.5化粧石膏ボード張 撤去 (下地共)
備考		

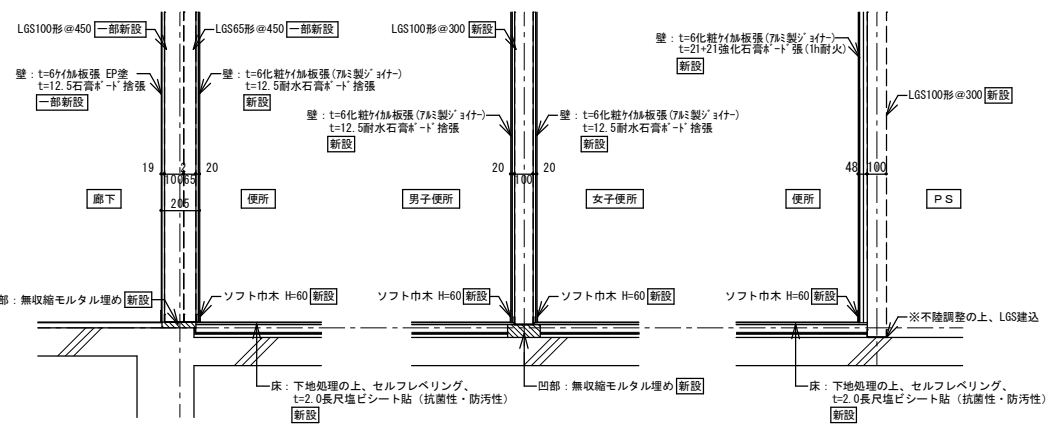


1階 便所平面詳細図 (改修後) S=1/30

- 凡 例
- 今回工事内容を示す
 - 間仕切り壁内 t=65グラスウール24k充填 (遮音)
 - シーリング打替を示す
 - 土間コンクリート新設(復旧)範囲を示す



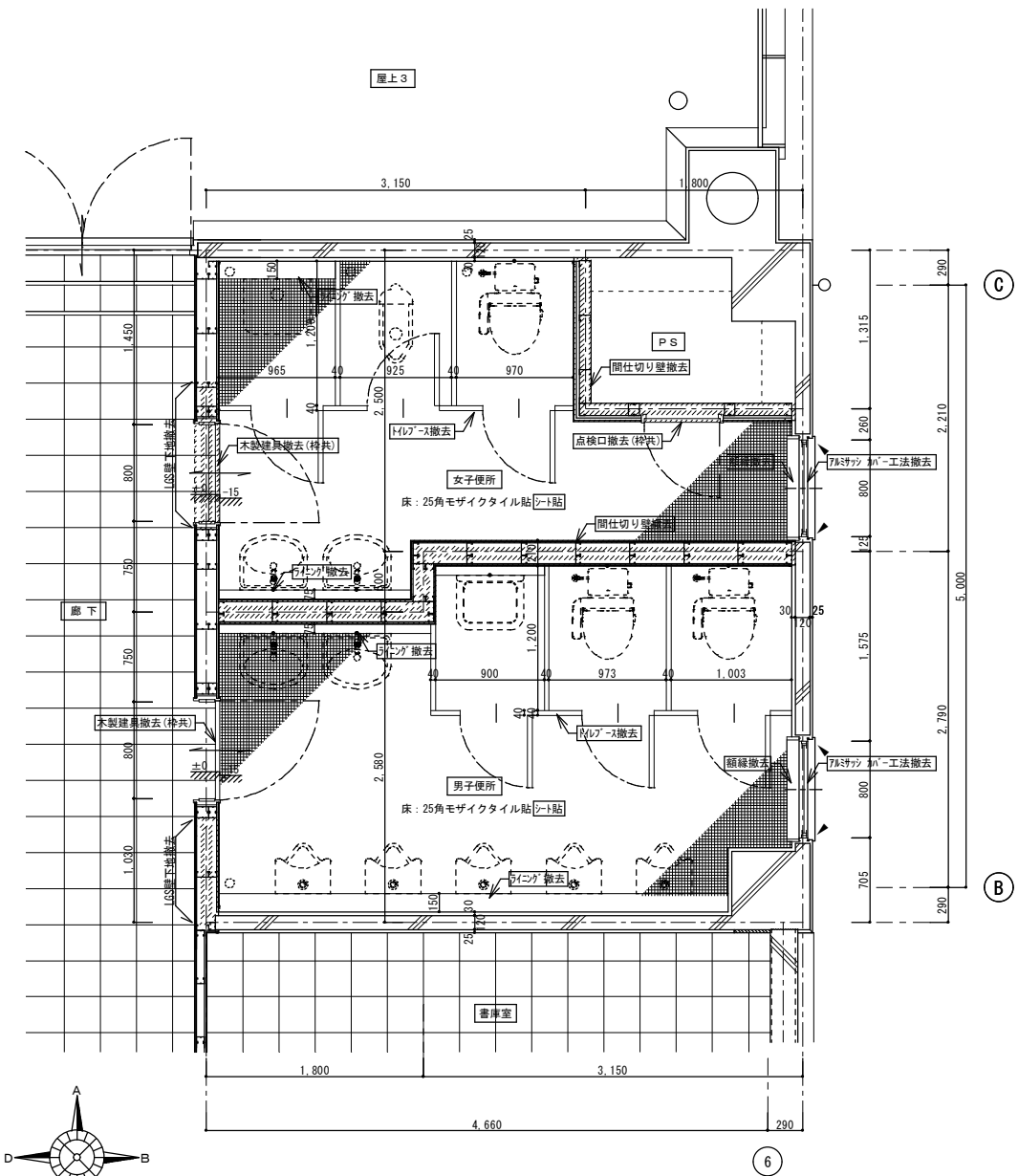
1階 便所展開図 (改修後) S=1/50



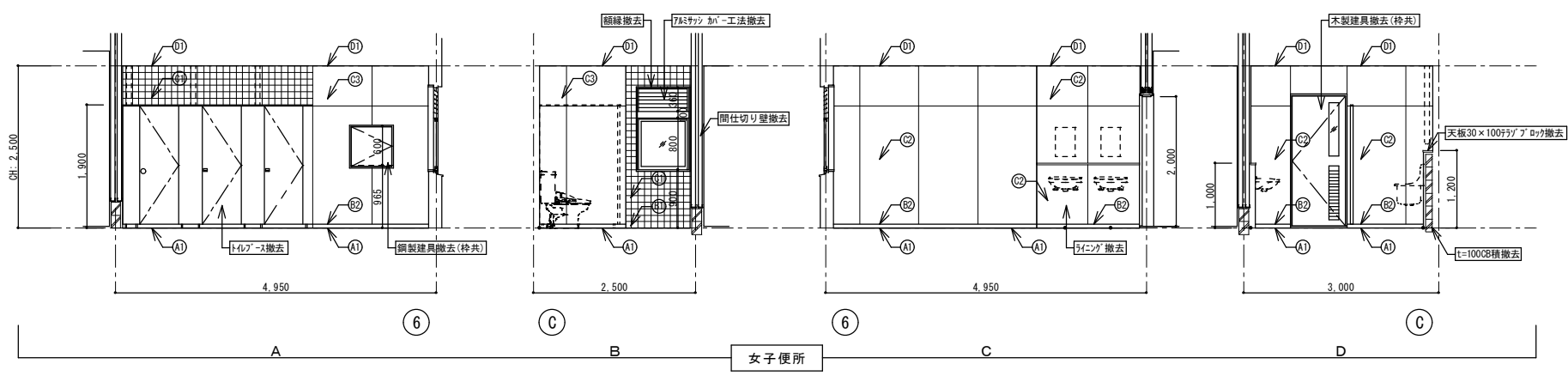
間仕切り壁詳細図 (改修後) S=1/20

女子便所 (改修後)	
仕 上 表	
床	(A) 下地処理の上、セルフレベリング、 t=2.0長尺塩ビシート貼 (抗菌性・防汚性) 新設
巾木	(B) ソフト巾木 H=60 新設
壁	(C) t=12.5耐水石膏ボード 捨張 (GL工法)、t=6化粧珪藻土板張 (7&I製ジョイナー) 新設 (D) t=12.5耐水石膏ボード 捨張、t=6化粧珪藻土板張 (7&I製ジョイナー) 新設 (E) t=21+21強化石膏ボード 張、t=6化粧珪藻土板張 (7&I製ジョイナー) 新設
天井	(F) t=9.5化粧石膏ボード 張 (新設(下地共))
備考	耐食鏡 (W350×H800、面取りタイプ) 新設

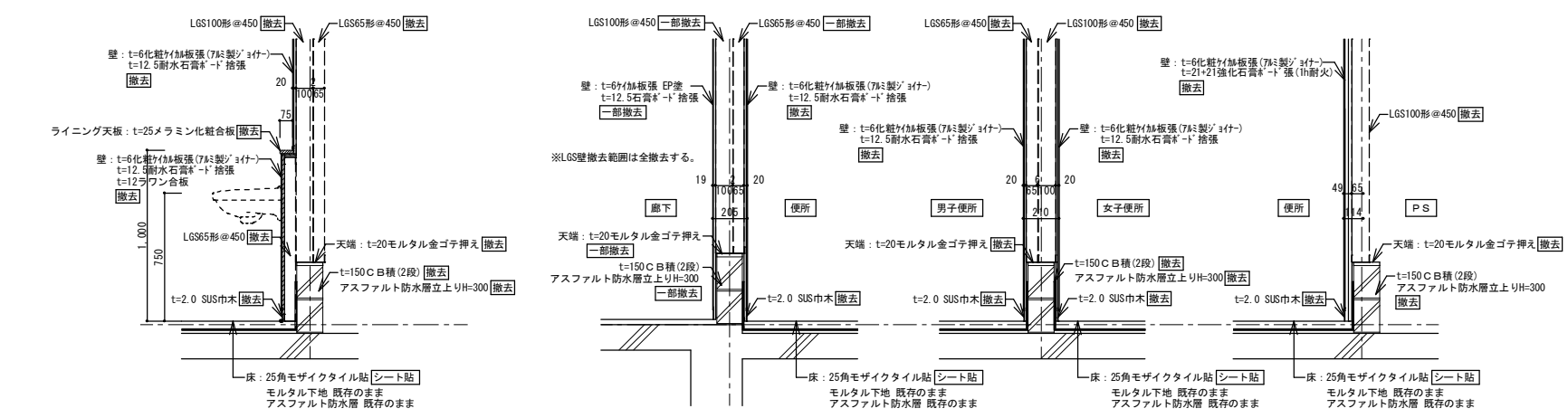
男子便所 + 掃除流し (改修後)	
仕 上 表	
床	(A) 下地処理の上、セルフレベリング、 t=2.0長尺塩ビシート貼 (抗菌性・防汚性) 新設
巾木	(B) ソフト巾木 H=60 新設
壁	(C) t=12.5耐水石膏ボード 捨張 (GL工法)、t=6化粧珪藻土板張 (7&I製ジョイナー) 新設 (D) t=12.5耐水石膏ボード 捨張、t=6化粧珪藻土板張 (7&I製ジョイナー) 新設 (E) t=21+21強化石膏ボード 張、t=6化粧珪藻土板張 (7&I製ジョイナー) 新設
天井	(F) t=9.5化粧石膏ボード 張 (新設(下地共))
備考	耐食鏡 (W350×H800、面取りタイプ) 新設



2階 便所平面詳細図 (改修前) S=1/30



2階 便所展開図 (改修前) S=1/50



手洗いライニング詳細図 (改修前) S=1/20

間仕切り壁詳細図 (改修前) S=1/20

女子便所 (改修前)	
仕 上 表	
床	① モルタル下地、25角モザイクタイル貼 [シート貼]
巾木	② モルタル下地、100角カラータイル張 [撤去] ③ t=2.0 SUS巾木 [撤去]
壁	④ モルタル下地、100角カラータイル張 [撤去] ⑤ t=12.5耐水石膏ボード張、t=6化粧珪藻板張 (7mm製ジョイナー) [撤去] ⑥ t=21+21強化石膏ボード張、t=6化粧珪藻板張 (7mm製ジョイナー) [撤去]
天井	⑦ t=9.5化粧石膏ボード張 [撤去 (下地共)]
備考	

男子便所 (改修前)	
仕 上 表	
床	① モルタル下地、25角モザイクタイル貼 [シート貼]
巾木	② モルタル下地、100角カラータイル張 [撤去] ③ t=2.0 SUS巾木 [撤去]
壁	④ モルタル下地、100角カラータイル張 [撤去] ⑤ t=12.5耐水石膏ボード張、t=6化粧珪藻板張 (7mm製ジョイナー) [撤去] ⑥ t=21+21強化石膏ボード張、t=6化粧珪藻板張 (7mm製ジョイナー) [撤去]
天井	⑦ t=9.5化粧石膏ボード張 [撤去 (下地共)]
備考	